

2019年度前期 開設講座・ワークショップ (WS) 一覧			2019年4月～8月
No.	講座・WS名	テーマ	講師名(敬称略)
1	美術 I	近代日本の美術をたどる	多摩美術大学講師 赤松祐樹
2	自然 I (川崎学)	イベントということ、あるいは天変地異という名の荒ぶる自然 I	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか
3	現代事情	A I とロボット—人間はいらなくなる？	東京大学教授、情報学専長 佐倉 統ほか
4	エクセレントⅢ	ユダヤ人、ユダヤ教、イスラエル (第1部)	東京大学教授 市川 裕ほか
5	国際関係	ロシアから世界を考える	法政大学教授 下斗米 伸夫ほか
WS-1	国際関係	国際秩序の変動とロシア	法政大学教授 下斗米 伸夫ほか
6	いのちの科学	広がる生命科学の世界	東京大学名誉教授、元岐阜大学学長 黒木登志夫ほか
WS-2	科学	生物学を基礎から学ぶ	元お茶の水女子大学大学院講師 滝澤公子ほか
7	日本の伝統芸能	伝統芸能を未来へつなぐ(前期) 古代、中世編	洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長 森重行敏ほか
8	新しい科学の世界	新しい科学の世界	東京大学大学院理学系研究科教授 井出 哲ほか
9	自然Ⅱ(川崎学)	川崎の自然Ⅱ—生き物や地形地質の変化を探る 3	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 松島義章ほか
10	日本史	近世社会の宗教と信仰	明治大学名誉教授 圭室文雄ほか
WS-3	日本史	江戸時代とはどんな時代か？考えてみませんか	成城大学民俗学研究所研究員 小沢 詠美子
11	みどり学Ⅰ	みどり学Ⅰ—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井 誠治ほか
12	みどり学(フレッシュ)	みどり学(フレッシュ)	樹木医 石井 誠治ほか
13	文学	林京子の文学世界—原爆と植民地から「戦後」を再考する	東京大学教授 小森陽一ほか
WS-4	文学	第三の新人を読む	文芸評論家 尾形明子
14	エクセレントⅠ	世界を旅する②スイス・ツアー	津田塾大学教授 新本史齊ほか
15	建築と都市	ヨーロッパの都市と建築	久留米工業大学建築・設備工学科/特任講師 福益祐太ほか
16	学び・歩く(川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び、歩いて再発見してみよう⑦	産業考古学会理事 伊東 孝ほか
WS-5	まち歩き(川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—二ヶ領用水 再検証・その1	日本地名研究所研究員 菊地恒雄ほか
17	政治・社会	ローカルから政治を考える—地方自治の制度・歴史・現在	東京大学教授 宇野重規ほか
18	音楽Ⅲ	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part26	東京交響楽団メンバーほか
WS-6	芸術	油絵を描く—技法を基本から学ぶ	NHK文化センター講師 佐藤道子
19	環境とみどり	私たちの暮らしと環境・みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
WS-7	環境とみどり	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
20	人間学	人間学再論—生老病死の思想	鎌倉女子大学教授 竹内整一ほか
WS-8	人間学	『説経節』を読む	都留文科大学名誉教授 鳥居明雄
21	音楽Ⅰ	モーツァルトの傑作室内楽曲を映像で楽しむ	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏ほか
22	音楽Ⅱ	音楽鑑賞をめぐる12の小話。	音楽評論家 丹羽正明
WS-9	音楽・芸能	『平家物語』と浄瑠璃・歌舞伎	白百合女子大学講師 安富 順ほか
23	宮前	現代経済学—日本の現状を理解し、将来を展望するために	法政大学名誉教授 柳沼 壽
24	世界史	メキシコ史—多様性の光と影、対米関係の苦悩	中央大学名誉教授 国本伊代ほか
25	みどり学Ⅱ	みどり学Ⅱ—木や草が生活とつながる面白さを極める	樹木医 石井誠治ほか
26	山の自然学	山の自然学	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄ほか
27	美術Ⅱ	現代アートほど面白いものはない	武蔵野美術大学教授 田中正之ほか
WS-10	美術Ⅰ・Ⅱ	パリとウィーンの世紀末モダニズム	元平成帝京大学教授 隠岐 由紀子
28	エクセレントⅡ	飛鳥・白鳳・天平の文化	筑波大学名誉教授 根本誠二ほか
29	経済	西暦末尾が「9」の年には歴史的大事件が頻発！	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
WS-11	経済	経済大国「中国」の実態—脅威なのか？崩壊に向かうのか？	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
30	映像・メディア	懐かしの名作を語る	元NHKプロデューサー 林 勝彦ほか
WS-12	政治・社会	人物で見る戦後政治	法政大学教授 山口二郎
31	歴史(川崎学)	いま問い直す、地域再発見Ⅲ—多摩川と川崎の人々	戦国史研究会会員 中西望介ほか
101	短期集中	水の未来—環境から政治経済まで	東京大学生産技術研究所教授 沖 大幹
102	短期集中	レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500年—その実像に迫る	東京造形大学教授 池上英洋
201	交流館協力	日本の災害史をかえりみる—江戸から平成まで	名古屋大学教授 武村雅之ほか
202	子育て支援	0歳～6歳 子育ての輪 (パートⅡ)『子どもが豊かに育つ環境をつくらう』	子ども相談室「モモの部屋」主宰・心理カウンセラー 内田良子ほか
301	大学連携	イタリア ロマン主義オペラの黎明～ドニゼッティとヴェリニ～	昭和音楽大学教授 小畑恒夫ほか

2019年度後期 開設講座・ワークショップ (WS) 一覧			2019年9月～2020年3月
No.	講座・WS名	テーマ	講師名(敬称略)
1	美術Ⅰ	戦後から現代へ 日本の美術の流れをたどる	多摩美術大学講師 赤松祐樹
2	自然Ⅰ(川崎学)	イベントということ、あるいは天変地異という名の荒ぶる自然Ⅱ	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか
3	現代事情	東アジア情勢と日本の針路—米中関係を背景に	東京大学教授 川島 真ほか
4	エクセレントⅢ	ユダヤ人、ユダヤ教、イスラエル (第2部)	東京大学名誉教授 市川 裕ほか
5	国際関係	核不拡散条約発効50年—核兵器はなくなるか？	NPO法人ピースデポ特別顧問 梅林宏道
WS-1	国際関係	中止	
6	いのちの科学	広がる生命科学の世界	東京大学名誉教授、元岐阜大学学長 黒木 登志夫ほか
WS-2	科学	生物学を基礎から学ぶ(その2)	元放送大学客員教授 室伏 擴ほか
7	日本の伝統芸能	伝統芸能を未来へつなぐ(後期) 近世・近代編	洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長 森重行敏ほか
8	新しい科学の世界Ⅰ	新しい科学の世界	国立天文台教授、水沢 VLBI 研究所長 本間希樹ほか
9	自然Ⅱ(川崎学)	川崎の自然Ⅱ—生き物や地形地質の変化を探る 4	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間友博ほか
WS-3	社会福祉	社会福祉入門	明治学院大学教授 武川正吾ほか
10	日本史	近代日本の宗教と思想	早稲田大学教授 大日方 純夫ほか
WS-4	日本史	外国人から見た日本の近代	杏林大学大学院客員教授 楠家重敏
11	みどり学Ⅰ	みどり学Ⅰ—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井誠治ほか
12	みどり学(フレッシュ)	みどり学(フレッシュ)	樹木医 石井誠治ほか
13	文学	中上健次の小説世界	東京大学名誉教授 小森陽一ほか
WS-5	文学	女性作家の小説を読む—「官能」(記憶)(老境)を生きる—	法政大学講師 伊藤 博
14	建築と都市	大正・昭和の都市と建築	東海大学教授 小沢朝江ほか
15	学び・歩く(川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び、歩いて再発見してみよう⑧	産業考古学会理事 伊東 孝ほか
WS-6	まち歩き(川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—二ヶ領用水 再検証・その2	日本地名研究所研究員 菊地恒雄ほか
16	政治・社会	欧州政治思想の巨人たち—社会契約論を中心に	東京大学教授 宇野重規ほか
WS-7	政治・社会	民主主義とは何か	東京大学教授 宇野重規
17	エクセレントⅠ	世界を旅する(22) ギリシャ・ツアー	東洋大学教授 村田 奈々子ほか
18	音楽Ⅲ	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part27	東京交響楽団メンバーほか
WS-8	芸術	水彩画を描く—技法を基本から学ぶ	NHK文化センター講師 佐藤道子
19	環境とみどり	私たちの暮らしと環境・みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
WS-9	環境とみどり	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
20	人間学	人間学再論—生老病死の思想	東京大学名誉教授 竹内整一ほか
WS-10	人間学	『平家物語』の人間像	東京大学名誉教授 竹内整一
21	音楽Ⅰ	モーツァルトのピアノ曲を楽しむ	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏ほか
22	音楽Ⅱ	世界音楽の今昔を楽しむ—人は音楽に何を託すのか	国立音楽大学教授 横井雅子ほか
WS-11	音楽・芸能	昭和の思い出の名優その2—2代目尾上松緑	白百合女子大学講師 安富 順ほか
23	宮前	現代経済学—より良き社会に向けて—	法政大学名誉教授 柳沼 壽
24	世界史	ドイツ現代史100年、1919～2019—動乱の震源地から安定の根拠地へ？	神奈川大学名誉教授 山田 徹ほか
25	みどり学Ⅱ	みどり学Ⅱ—木や草が生活とつながる面白さを極める	樹木医 石井誠治ほか
26	山の自然学	山の自然学	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
27	美術Ⅱ	イタリア・ルネサンス美術の「奇想の系譜」—マニエリスムを楽しもう	多摩美術大学教授 諸川春樹
WS-12	美術Ⅰ・Ⅱ	ロマネスクの美術と建築—教会堂を「読む」方法	玉川大学教授 小倉康之
28	エクセレントⅡ	平安時代の社会と文化	京都造形芸術大学講師 佐々木 創ほか
29	経済	2019年の世界情勢を深読みする—底流にある経済的要因をとおして	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
WS-13	経済	米中衝突と世界経済の行方	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
30	映像・メディア	懐かしの名作を語る	元NHKプロデューサー 林 勝彦ほか
31	新しい科学の世界Ⅱ	未知に挑んだ科学者たち	元朝日新聞科学部長 柴田鉄治ほか
32	歴史(川崎学)	いま問い直す、地域再発見Ⅳ—自然と人間の関係「川崎の丘陵部・谷戸」を中心に	戦国史研究会会員 中西望介ほか
101	短期集中	アガサ・クリスティの英国	昭和女子大学名誉教授 平井杏子
102	短期集中	いま、海で何が起きているか	山梨県富士山世界遺産センター所長 秋道智彌ほか
201	交流館協力	歴史から読み解く万葉集の謎	早稲田大学講師 松尾 光
202	子育て支援	小学生から思春期 子どもに時間を返そう パートⅡ	子ども相談室「モモの部屋」主宰・心理カウンセラー 内田良子ほか
301	連携(昭和音大)	イタリア・オペラの巨人ヴェルディ～ドラマと音楽の融合	昭和音楽大学教授 小畑恒夫ほか
302	連携(アジア航測)	生物から自然を診る—環境を指標する生物たち	アジア航測(株) CSR 推進室 松沢孝晋ほか

前期

講座 1	近代日本の美術をたどる			
	【定員】200名 【受講料】2年会員 9,040円 1年会員 10,120円 聴講生 13,360円 (資料代 400円を含む)			
概要	美術 I 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回) 明治以降、日本に西洋美術の考えが導入されて以来、さまざまな作品が制作されてきました。ここでは、明治から昭和戦中期までの時期を対象に、芸術家たちは何を考え、作品を制作してきたのか、その前後の動向や同時代の思潮などをふまえて解説します。なお、以下に挙げた内容については都合により変更がある場合もあります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/1(月)	高津市民館大会議室(Nocty 2 12階)	はじめに (高橋由一ほか)	多摩美術大学講師 赤松祐樹
2	4/8(月)		近代以前の日本画	
3	4/22(月)		明治の美術 「洋画」と「日本画」(明治美術会/日本美術院)	
4	5/13(月)		歴史画と裸体画 (黒田清輝ほか)	
5	5/27(月)		モダニズムの誕生 (高村光太郎「緑色の太陽」ほか)	
6	6/3(月)		岸田劉生「内なる美」	
7	6/10(月)		萬鐵五郎「内的必然性」	
8	6/24(月)		明治・大正期の日本画 (日本美術院、国画創作協会ほか)	
9	7/1(月)		大正期の前衛芸術 (マヴォ、三科ほか)	
10	7/8(月)		写真・建築・映画(新興写真、分離派、表現主義映画)	
11	7/29(月)		シュルレアリスムと抽象(瀧口修造、長谷川三郎、吉原治良ほか)	
12	8/5(月)		戦争画	

受講登録者 112名 (男性 43名 女性 69名) 出席者総数 1139名

後期

講座 1	戦後から現代へ 日本の美術の流れをたどる					
	【定員】200名 【受講料】2年会員 9,200円 1年会員 10,300円 聴講生 13,600円 (資料代 400円を含む)					
概要	美術 I 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回) 「戦後」の美術はいつに形成されたのか、現在の芸術作品とどう関わるのか、歴史的展開を作品とともに整理しながら現代日本の美術と文化について見てゆきます。一見不可解に見える現代美術も、時代が抱える問題に対する真摯な回答として展開してきました。ともに歩んだ同時代の美術についてわかりやすく紹介するとともに、我々はいかに現代を生きてきたのか、どのように問題に対処してきたのか 美術を起点にあらためて考えます。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	9/30(月)	高津市民館大会議室(Nocty 2 12階)	はじめに (土方定一とリアリズム論争) 戦後の「リアル」とは何か?	多摩美術大学講師 赤松祐樹		
2	10/7(月)		1950年代の美術1 (実験工房、ルポルターージュ絵画) 新たな時代の新たな挑戦			
3	10/28(月)		1950年代の美術2 (具体美術協会) 「人のまねをするな! 誰もやらないことをやれ!」			
4	11/11(月)		1960年代の前衛芸術1 (反芸術) これははたして芸術なのか...			
5	11/25(月)		1960年代の前衛芸術2 (ハイレッド・センター) 型破りのパフォーマンスの実践			
6	12/2(月)		岡本太郎「芸術は爆発だ」			
7	12/9(月)		戦後建築 (伝統論争とメタボリズム) 丹下健三から磯崎新まで			
8	1/27(月)		もの派 (1960年代末～70年代) 李禹煥、菅木志雄ほか 現代美術の新たな流れの創出			
9	2/3(月)		美共闘、ポストもの派ほか (1960年代末～80年代) 戦後美術の深化。絵画とは?彫刻とは?			
10	2/10(月)		戦後を生きた作家たち 宮崎進、中西夏之 戦争の記憶/根拠なき根拠のなかで生きる			
11	3/2(月)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
12	3/9(月)					

受講登録者数 81名 (男性 29名 女性 52名) 出席者総数 680名

前期

講座 2	イベントということ、あるいは天変地異という名の荒ぶる自然 I			
	【定員】50名【受講料】2年会員 9,890円 1年会員 10,970円 聴講生 14,210円 (資料代 450円、野外学習安全費用 800円を含む)			
概要	自然 I (川崎学)【時間】座学は 10時30分～12時00分、野外学習は 10時00分～12時00分予定、4/22は 8時00分～18時00分予定 (計12回) 地震、火山噴火、洪水、崩壊などを地質学ではイベントといいます。自然も人も、イベントすなわち荒ぶる自然によって鍛えられ、蘇りをはかります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(月)	川崎市生涯学習プラザ	この崩れこの荒れは、いつかわが山河になっている(幸田文『崩れ』) 荒ぶる自然と、蘇り(更新)	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
2	4/15(月)	多摩川上流河原	攪乱に生きる植物たち	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
3,4	4/22(月)	那須野原、高原火山山麓、大谷資料館	関東北部における破局的噴火活動と人の営み (バス利用)	矢板市役所 弦巻賢介 多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
5	5/13(月)	川崎市生涯学習プラザ	崩れとは弱いから?、母なる大地は動く、崩壊とは何か	帝京平成大学准教授 理学博士 小森次郎
6	5/20(月)	生田緑地	多摩丘陵の崩壊地形と丘陵の自然の更新	
7	5/27(月)	大磯小海綾浜	浜砂は相模トラフ。海岸侵食の実態と漂着物、砂丘海浜植物等の観察	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
8	6/10(月)	鎌倉	大正関東地震に襲われた鎌倉	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 理学博士 島島義章
9	6/17(月)	川崎市川崎区(川崎大師、石観音、汐留稲荷、塩釜神社等)	人為がイベントを引き起こす。人為を中心に多摩川下流部の変化を歩く	多摩川流域自然史研究会代表 増淵 和夫
10	6/24(月)	川崎市生涯学習プラザ	海岸を襲う自然 (台風、津波) とその対策	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
11	7/1(月)		川崎を中心に臨海部のイベントと、人為によるイベント	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
12	7/8(月)	洪水氾濫、何故、大規模洪水が発生するのか		

※4/22(月)はバスの借り上げ費用等で別途 7,000円程集金 (バスの手配は富士急トラベル)。
受講登録者 55名 (男性 30名 女性 25名) 出席者総数 544名

後期

講座 2	イベントということ、あるいは天変地異という名の荒ぶる自然 II			
	【定員】50名【受講料】2年会員 10,050円 1年会員 11,150円 聴講生 14,450円 (資料代 450円、野外学習安全費用 800円を含む)			
概要	自然 I (川崎学)【時間】座学は 10時30分～12時00分、野外学習は 10時00分～12時00分予定、11/18は 8時00分～18時00分予定(計12回) 荒ぶる自然と、荒ぶる自然に鍛えられ、備え、立ち向かい、蘇り(復旧)を図る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(月)	川崎市生涯学習プラザ	始めに、地球史上のイベントを概観する	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
2	10/7(月)		荒ぶる自然にどう備えるか ハザードマップ、洪水を中心に	早稲田大学教授 理学博士 久保純子
3	10/14(月)	東京臨海広域防災公園	荒ぶる自然に備えて	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
4	10/21(月)	川崎市生涯学習プラザ	ダムの役割と限界—防災機能と災害リスク	帝京平成大学准教授 理学博士 小森次郎
5	10/28(月)	多摩川永田橋上流	攪乱に生きる植物たち 秋編	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
6	11/11(月)	川崎市生涯学習プラザ	関東大震災による丹沢の荒廃と復旧	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
7,8	11/18(月)	神奈川県内最大のダム「宮ヶ瀬ダム」とその周辺	ダムの役割と限界 (バス利用)	帝京平成大学准教授 理学博士 小森次郎
9,10	11/25(月)	横浜市泉区弥生台	箱根火山大噴火と横浜まで達した火砕流	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
11	12/9(月)	横浜(砂州) - 中華街(スワンブ) - 元町(中村川、百段) - 山手(プラフ、外人墓地) - 山下公園(フランス波止場)	関東大震災による横浜の土砂災害地をたどる	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
12	12/16(月)	川崎市生涯学習プラザ	短いまとめ	

※11/18(月)はバスの借り上げ費用等で別途 7,000円程集金 (バスの手配は富士急トラベル)。
受講登録者数 53名 (男性 30名 女性 23名) 出席者総数 525名

前期

講座 3	AIとロボット—人間はいらなくなる？			
	【定員】144名 【受講料】2年会員 4,820円 1年会員 5,360円 聴講生 6,980円 (資料代 500円を含む)			
	現代事情 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計6回)			
概要	AIとロボットの時代を迎えつつある。人間がやることは、どんどん減ってきつつある。とはいえ、人間の役割も存在しよう。AIとロボットについて総合的に考えてみる			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	ロボットは人間にとって何なのか？—敵か味方か、鏡か窓か	東京大学教授、情報学環長 佐倉 統
2	4/15(月)		愛玩ロボットのはしり『アイボ』の開発	ソニー AIロボティクスビジネスグループ SR 事業室統括部長 松井直哉
3	4/22(月)		AIによる翻訳・通訳	国立情報通信研究機構 (NICT) フェロー 隅田 英一郎
4	5/13(月)		囲碁・将棋とAI—人間はAIに負けるのか	日本将棋連盟棋士六段、東京大学客員教授 勝又 清和
5	5/27(月)		宇宙探査ロボットのAI技術	JAXA宇宙探査イノベーション・ハブ長 久保田 孝
6	6/10(月)		車の自動運転、これからの課題	大正大学客員教授、元NHK解説委員 (科学担当) 室山哲也

受講登録者数 104名 (男性 82名 女性 22名) 出席者総数 553名

後期

講座 3	東アジア情勢と日本の針路—米中関係を背景に			
	【定員】144名 【受講料】2年会員 4,900円 1年会員 5,450円 聴講生 7,100円 (資料代 500円を含む)			
	現代事情 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計6回)			
概要	現在、世界は転換期にある。自由貿易、デモクラシーへの疑義の中で、中国は世界2位の経済大国に躍進し、新たな政治秩序を構想している。アメリカがこれまでの役割を果たし続けられなくなる中、私たちは米中関係と新しい秩序に照らし、東アジアと日本の将来を考えねばならない。近年の中国とアメリカ相互の動き、その影響下での東アジア情勢、日本の今後について議論する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	世界のなかの中国と日本—習近平外交の秩序と一帯一路	東京大学教授 川島 真
2	10/7(月)		アメリカから見た中国—テクノロジー、知財、人権、軍事	東京大学准教授 佐橋 亮
3	10/21(月)		朝鮮半島非核化、日韓関係のゆくえ	南山大学教授 平岩俊司
4	10/28(月)		経済から見る米中関係と日本への影響	国際経済研究所主席研究員 伊藤信悟
5	11/11(月)		台湾政治の現在、台湾問題と米中関係	法政大学教授 福田 円
6	11/18(月)		世界秩序の転換と東アジアの中での日本の針路	東京大学教授 川島 真

受講登録者数 149名 (男性 122名 女性 27名) 出席者総数 781名

前期

講座 4	ユダヤ人、ユダヤ教、イスラエル (第1部)			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,240円 1年会員 10,320円 聴講生 13,560円 (資料代 600円を含む)			
	エクセレントⅢ 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	かつて、「流浪の民」、「離散の民」と言われたユダヤ人は、現在イスラエルという国を作って、600万人もの人口を擁するまでに拡大しました。しかし現在でも世界にはそれ以上のユダヤ人が住んでいます。彼らは、2000年も昔に祖国を追われながら民族の絆を守り続けてきました。その秘密はどこにあるのでしょうか。教育に秀でて、交易と金融に力を発揮してきたユダヤ人の生き残りの秘密を、彼らの歴史を通して学んでいきたいと思います。それは、世界史を見直すことでもあります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	序論 —「ユダヤ人」とは誰のことか—	東京大学教授 市川 裕
2	4/15(月)		旧約聖書の世界(1) —「旧約聖書」とはどのような書物か—	立教大学准教授 長谷川 修一
3	4/22(月)		旧約聖書の世界(2) —ヘブライ人の世界像、歴史観、メシアニズム—	
4	5/6(月)		アレクサンドロス大王からローマ帝国へ：イエス時代のユダヤ世界	東京大学教授 市川 裕
5	5/13(月)		「ユダヤ教」とはどのような宗教か：キリスト教と異なる道を歩んだユダヤ教	立教大学講師 嶋田英晴
6	5/20(月)		イスラーム世界の形成とユダヤ人の繁栄：地中海とインド洋交易	
7	5/27(月)		中世キリスト教世界のユダヤ人：共生と対抗	東京工科大学講師 志田雅宏
8	6/10(月)		「ヴェニス商人」の舞台とその周辺：ルネサンス時代のユダヤ人	東京理科大学講師 山本伸一
9	6/17(月)		オスマン帝国のユダヤ人とユダヤ神秘主義：ユダヤ社会の変容	
10	6/24(月)		近代西欧社会へ参入するユダヤ人：ドイツ・ユダヤ人が見た光と影	東京大学大学院博士課程 青木良華
11	7/1(月)		近代東欧のユダヤ人：「屋根の上のバイオリン弾き」にみるイディッシュ文学の世界	東京外国語大学講師 鴨志田 聡子
12	7/8(月)		ユダヤ人、アメリカに渡る：アメリカ移民の20世紀	東京大学准教授 鶴見太郎

受講登録者数 156名 (男性 102名 女性 54名) 出席者総数 1,621名

後期

講座 4	ユダヤ人、ユダヤ教、イスラエル (第2部)			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,400円 1年会員 10,500円 聴講生 13,800円 (資料代 600円を含む)			
	エクセレントⅢ 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	前期でユダヤ人の歴史を通覧したのを受けて、後期では、激動の近現代を生きたユダヤ人の足跡をたどります。近代主権国家は、科学技術と資本主義の発展を通して、強大な勢力を誇示するようになりました。それは、まさに「西欧列強」の時代から始まります。その時、その繁栄に大きく貢献したのがユダヤ人です。フランス革命を経て、欧米で市民権を取得し、ヨーロッパ社会に参入したユダヤ人は、なぜかとも繁栄し、なぜか全体主義の標的になってしまったのか。ホロコーストの辛さをなめながら、しかし、ユダヤ人は20世紀の後半に、イスラエルの建国とアメリカ合衆国での興隆によって蘇ります。ユダヤ人の経験を深刻に受け止めることによってこそ、21世紀の人類の歩むべき道が開けてくるのではないのでしょうか。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	日本におけるユダヤ人論の系譜、ユダヤ人・イメージの変遷	東京理科大学講師 山本伸一
2	10/7(月)		資本主義経済興隆と成熟においてユダヤ人の果たした役割	学習院大学准教授 竹原有吾
3	10/21(月)		近現代の政治的イデオロギー・運動としての反ユダヤ主義	早稲田大学名誉教授 大内宏一
4	10/28(月)		ナチスの時代のユダヤ人	学習院女子大学教授 武井彩佳
5	11/11(月)		ホロコーストを巡る戦後の言論と歴史の記憶	
6	11/18(月)		イスラエル国家の建設、数次の中東戦争とイスラエルの膨張	東洋英和女学院大学学長 池田明史
7	11/25(月)		ソ連におけるユダヤ人の生き方	東京大学准教授 鶴見太郎
8	12/23(月)		現在のイスラエル①—国制、軍事、外交を中心に—	東洋英和女学院大学学長 池田明史
9	12/9(月)		現在のイスラエル②—文化、文学、パレスチナとの関係を中心に—	東京外国語大学特任助教 細田和江
10	12/16(月)		現代アメリカとユダヤ人—米国ユダヤ社会とイスラエルとの関係を軸に—	防衛大学校名誉教授 立山良司
11	1/20(月)		21世紀の世界でユダヤ人とイスラエル国家はどう生きるのか (総まとめ)	東京大学名誉教授 市川 裕
12	1/27(月)		両大戦間期バリの芸術とユダヤ社会—「エコール・ド・パリ」の画家たち—	東京理科大学教授 菅野賢治

受講登録者数 151名 (男性 98名 女性 53名) 出席者総数 1,546名

前期

講座 5	ロシアから世界を考える			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 8,990円 1年会員 10,070円 聴講生 13,310円 (資料代 350円を含む)			
国際関係		【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	20世紀最大のグローバル政治の変動要因となったのは、1917年のロシア革命と91年ソ連崩壊でしたが、現在のロシアをさらに歴史的かつ現代的に考えるとどうなるのでしょうか。特に21世紀政治はグローバルに宗教と地政学の角度から考える必要があります。2014年以降、多極世界を構成するプーチン・ロシアは、インド、中国とともに国際秩序最大の変動要因となっています。ユーラシアの新しい時代をロシアを中心に考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	ロシアの起源となったクリミア受洗からクリミア紛争まで、ロシアを議論します	神奈川大学特別招聘教授 下斗米 伸夫
2	4/15(月)		宗教と地政学で読み解くロシア、ロシア理解に必要な宗教を考えます	
3	4/22(月)		「モスクワは第三のローマ」、ロシアの世界観の特殊性を考えます	
4	5/13(月)		ロシア革命からスターリンまで、20世紀最大の事件を考察します	
5	5/20(月)		スターリン批判からソ連崩壊まで、20世紀後半の冷戦とソ連崩壊を考えます	
6	5/27(月)		ソ連からロシアへ、なぜソ連は崩壊したか、そのインパクトを考えます	
7	6/10(月)		シベリア抑留とは何だったのか	多摩大学経営情報学部専任講師 小林昭菜
8	6/17(月)		ロシアとウクライナの関係は、世界秩序のありかたとなぜ関係するのか	神奈川大学特別招聘教授 下斗米 伸夫
9	6/24(月)		プーチンと保守的ロシア、エリツィン体制後の内政変動を考察します	
10	7/1(月)		21世紀の新しい東西関係、核問題など米欧日関係を考えます	
11	7/8(月)		ロシアとアジア(中国、北朝鮮)について議論します	
12	7/29(月)		日ロ関係、北方領土問題を中心に考えます	

受講登録者数 81名 (男性 63名 女性 18名) 出席者総数 825名

後期

講座 5	核不拡散条約発効50年—核兵器はなくなるか？			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,150円 1年会員 10,250円 聴講生 13,550円 (資料代 350円を含む)			
国際関係		【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	2020年3月、核不拡散条約(NPT)の発効から50年を迎える。この条約下で、核保有国は核兵器の全廃を約束したが、いまだに地球上には14,000発の核弾頭がある。核兵器をめぐる国際政治はどうなっているのか？現状と背景を学ぶ。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	核兵器とは何か	NPO 法人ピースデポ 特別顧問 梅林宏道
2	10/7(月)		ヒロシマ、ナガサキの意味	
3	10/21(月)		核兵器をめぐる法的枠組み	
4	10/28(月)		世界の核兵器の概観	
5	11/11(月)		核抑止論と核の傘	
6	11/18(月)		米国の核兵器政策	
7	11/25(月)		ロシア、中国の核兵器政策	
8	12/9(月)		フランス、英国、インド、パキスタンの核兵器政策	
9	12/16(月)		被曝国日本と新アジア連合	
10	12/23(月)		非核兵器地帯とは何か	
11	1/20(月)		北朝鮮の核兵器と北東アジア非核兵器地帯	
12	1/27(月)		市民運動と核兵器廃絶	

受講登録者数 25名 (男性 19名 女性 6名) 出席者総数 242名

前期

WS 1	国際秩序の変動とロシア			
	※輪読形式・発表あり			
【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに 14,460円 聴講生 15,540円 (資料代 1,500円を含む)		【ワークショップ】国際関係		
		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)		
概要	20世紀最大のグローバル政治の変動要因となった、ロシア革命とソ連崩壊。21世紀もロシアは世界経済の地位はともかく、世界政治の重要国であり、宗教と地政学からその存在を考えることが特に重要です。多極世界を構成し、インド、中国とともに国際秩序の基軸であるプーチン・ロシア。ユーラシア新時代をロシアを中心に、皆さんとともにいろいろな角度から議論します。(演習形式で進めます。)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	ロシアとは何か—クリミア受洗から同紛争まで	神奈川大学特別招聘教授 下斗米 伸夫
2	4/15(月)		宗教と地政学から読むロシア—正教を中心に	
3	4/22(月)		ロシア人の選民観、世界観の特殊性	
4	5/13(月)		レーニンからスターリンまで—20世紀最大の事件の再考	
5	5/20(月)		スターリン批判からソ連崩壊—アジア中心に見る冷戦とソ連崩壊	
6	5/27(月)		ソ連からロシアへ—ソ連崩壊の国際的衝撃	
7	6/10(月)		シベリア抑留とは何だったのか	多摩大学経営情報学部専任講師 小林昭菜
8	6/17(月)		ロシアとウクライナ—その異同と世界秩序との関係	神奈川大学特別招聘教授 下斗米 伸夫
9	6/24(月)		プーチンとは誰か—エリツィン体制後の内政変動	
10	7/1(月)		21世紀の東西関係—ロシアから考える米欧日関係(核問題など)	
11	7/8(月)		ロシアとアジア—中国、北朝鮮に関する議論	
12	7/29(月)		今後の日ロ関係、北方領土問題	

※テキスト：『宗教・地政学から読むロシア—「第3のローマ」をめざすプーチン』、下斗米伸夫・著、日本経済新聞出版社、2016、2,800円(税別) 受講登録者数 22名 (男性 18名 女性 4名) 出席者総数 247名

後期

中止しました。

前期

講座 6		広がる生命科学の世界		
【定員】72名		【受講料】2年会員 9,240円 1年会員 10,320円 聴講生 13,560円 (資料代 600円を含む)		
いのちの科学		【時間】毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要 19世紀は化学、20世紀は物理、21世紀は生命科学の時代だといわれています。医学・薬学・生命科学・生物学・生命倫理など「いのち」に関わる科学の多様な世界を、今期もさまざまな角度から多彩に展開します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(月)	川崎市生涯学習プラザ	世界最長寿命・日本 —もし『寿命パスポート』があればその有効期限は？	東京大学名誉教授、元・岐阜大学学長 黒木 登志夫
2	4/15(月)		人と動物 —その関係について考える	国立科学博物館館長 林 良博
3	4/22(月)		日本人の動物観について	東京理科大学基礎工学部生物工学科教授 田村浩二
4	5/13(月)		生命の起源と遺伝暗号	科学ジャーナリスト 大江秀房
5	5/20(月)		バイオテクノロジー—1000年の歩み	日本歯内療法学会専門医・事務局長 西野博喜
6	5/27(月)		歯を守る科学	東京大学理事・副学長 福田裕穂
7	6/3(月)		植物の「生き方」について	朝日新聞編集委員 上田俊英
8	6/10(月)		『人類にとって最大の恩恵をもたらした研究』 —最近のノーベル賞から	弁護士、日本科学技術ジャーナリスト会議理事 横浜国立大学講師 中道 徹
9	6/17(月)		いのちの法律、いのちの裁判	理化学研究所・環境資源科学研究センター 高橋史憲
10	6/24(月)		世界的な食糧問題—植物は劣悪環境にどう向き合っているか？	第60次南極観測隊副隊長 原田尚美
11	7/8(月)		南極は今	東京大学名誉教授、元・岐阜大学学長 黒木 登志夫
12	7/29(月)		ノーベル賞受賞者は多いが、日本の科学政策の実態は？	

受講登録者数 72名 (男性 47名 女性 25名) 出席者総数 763名

後期

講座 6		広がる生命科学の世界		
【定員】72名		【受講料】2年会員 9,400円 1年会員 10,500円 聴講生 13,800円 (資料代 600円を含む)		
いのちの科学		【時間】毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要 19世紀は化学、20世紀は物理、21世紀は生命科学の時代だといわれています。医学・薬学・生命科学・生物学・生命倫理など「いのち」に関わる科学の多様な世界を、今期もさまざまな角度から多彩に展開します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(月)	川崎市生涯学習プラザ	ウイルスの脅威—虫刺されで発症する病気から肝炎まで	国立感染症研究所ウイルス第二部第五室 室長、東京理科大学客員教授 鈴木亮介
2	10/7(月)		ノーベル医学・生理学賞と日本	名古屋大学国際機構特任教授 辻 篤子
3	10/21(月)		生命の『編集』はどこまで許されるか	毎日新聞論説委員、前科学環境部長 元村 有希子
4	10/28(月)		「伝える」と「届ける」の違い—科学コミュニケーションの役割	元読売新聞科学部長 小出重幸
5	11/11(月)		ゲノムとは何か—ゲノム編集の最前線	東京大学講師、工学院大学前特任教授 水島純子
6	11/18(月)		法律から見た命の終焉	弁護士、日本科学技術ジャーナリスト会議理事 横浜国立大学講師 中道 徹
7	11/25(月)		『人間拡張工学』とは何か？	東京大学先端科学技術研究センター教授 稲見昌彦
8	12/2(月)		健康長寿のための知恵—免疫力について	東京大学講師、工学院大学前特任教授 水島純子
9	12/9(月)		STAP 細胞事件の驚くべき真相	東京大学名誉教授、元岐阜大学学長 黒木 登志夫
10	12/23(月)		がん研究の開発者たち	日本歯内療法学会理事、専門医、事務局長 西野博喜
11	1/20(月)		科学的な根拠がある歯磨きのルール	元NHKエグゼクティブプロデューサー/科学ジャーナリスト 林 勝彦
12	1/27(月)		脳低温療法の衝撃	

受講登録者数 77名 (男性 49名 女性 28名) 出席者総数 765名

前期

WS 2		生物学を基礎から学ぶ		※実験あり			
【定員】40名		【受講料】2年・1年会員ともに 12,960円 聴講生 14,040円		(資料代は実費徴収)			
【ワークショップ】科学		【時間】1回～9回：座学 15時00分～17時00分、10回～12回：実験 10時00分～16時00分 (計12回)					
概要 高等学校の生物に準じた内容を、丁寧に講義いたします。また、細胞を形作る細胞膜と細胞骨格の構造と機能について易しくお話しします。さらに、お茶の水女子大学において、培養細胞の細胞骨格の抗体染色の実験を行います。							
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)			
1	4/8(月)	川崎市生涯学習プラザ 15:00～17:00	生命の誕生 生物を特徴づけるもの	元お茶の水女子大学大学院 講師 滝澤公子			
2	4/15(月)		生命現象と物質				
3	4/22(月)		生命活動のためのエネルギーと呼吸				
4	5/20(月)		遺伝子の働き 遺伝情報の発現と調節				
5	5/27(月)		遺伝情報の伝達 生物の生殖と配偶子の形成				
6	6/10(月)		バイオテクノロジーと生命の操作				
7	6/17(月)		生命倫理				
8	6/24(月)		細胞膜の構造と機能			元放送大学客員教授 室伏 擴	
9	7/1(月)		細胞骨格の構造と機能				
10	7/25(木)	お茶の水女子大学 10:00～16:00	培養細胞に対する抗がん剤の作用と細胞の抗体染色	A班実施・B班休み			
12	8/1(木)			B班実施・A班休み			

参考：今回は『高校生物基礎 新訂版 実教出版』 受講登録者数 24名 (男性 14名 女性 10名) 出席者総数 219名

後期

WS 2		生物学を基礎から学ぶ(その2)		※実験あり		
【定員】40名		【受講料】2年・1年会員ともに 13,200円 聴講生 14,300円		(資料代は実費徴収)		
【ワークショップ】科学		【時間】1回～8回：座学 15時00分～17時00分、9回～12回：実験 10時00分～14時00分 (計12回)				
概要 神経の情報伝達という観点から脳のはたらきについて解説します。脳の中の神経回路とそれを伝える信号について学び、外部の刺激に対する応答や運動、記憶や言語のしくみについてお話しします。また、酵素の構造と機能について概説し、お茶の水女子大学においてタンパク質と酵素に関する実験を行います。						
回	月/日(曜)	会場・時間	学習内容	講師名(敬称略)		
1	10/7(月)	川崎市生涯学習プラザ 15:00～17:00	脳のかたちと構成	お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系助教 毛内 拡		
2	10/28(月)		神経細胞と信号の伝導			
3	11/11(月)		シナプス伝達			
4	11/18(月)		外部環境と脳			
5	11/25(月)		記憶のしくみ			
6	12/2(月)		脳の働きと役割分担			
7	12/9(月)		脳と喜怒哀楽			
8	12/16(月)		酵素の構造と機能			元放送大学客員教授 室伏 擴
9~12	12/25(水)	お茶の水女子大学 10:00～14:00	タンパク質と酵素に関する実験	A班実施・B班休み		
	12/26(木)			B班実施・A班休み		
	1/8(水)					
	1/9(木)					

受講登録者数 37名 (男性 22名 女性 15名) 出席者総数 360名

前期

講座 7	伝統芸能を未来へつなぐ(前期) 古代、中世編			
	【定員】200名 【受講料】2年会員 10,950円 1年会員 12,030円 聴講生 15,270円 (資料代 150円を含む)			
概要	日本の伝統芸能 【時間】 毎回 13時 30分～15時 00分 (計 12回) 今期より一年間のテーマを前後に分けて実施します。前期は芸能の始原から雅楽、能楽、祭礼などの伝統芸能と音楽をとり上げます。これらの芸能の持つ特質を知るとともに、文字通りの世界遺産として、未来にどうつないでいくべきかの課題も考察します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/1(月)	高津市民館 大会議室 (NOCTY2 12階)	芸能の始原を探る・日本人にとっての芸能とは	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	4/8(月)		神事芸能の世界・国風歌舞における楽器と歌	
3	4/22(月)		外来芸能の受容・雅楽の国際性 【演奏:中村仁美ほか】 **1	
4	5/13(月)		復元楽器の試み・失われた音を求めて	
5	5/27(月)		仏教音楽の世界・仏事は鑑賞するもの?	
6	6/3(月)		日本語の「うた」を考える・歌、唄、謡、詠の多様性	
7	6/10(月)		中世芸能の概観・日本的美意識の成立	
8	6/24(月)		能・狂言の世界・あの世とこの世を結ぶ橋	
9	7/1(月)		囃子の誕生・能と歌舞伎の楽器たち 【ゲスト:望月太左衛社中】 **2	
10	7/8(月)		語り物の世界・日本人が愛した物語とは?	
11	7/29(月)		庶民のパワー・民俗芸能のエネルギー	
12	8/5(月)		争の歴史と発展 【ゲスト:吉原佐知子、野澤佐保子】 **3	

*1,*2,*3の回は演奏会(左記演奏会は講座の受講生以外の方も資料代として1,000円で参加できる公開演奏会)。
受講登録者数 59名 (男性 28名 女性 31名) 出席者総数 576名

後期

講座 7	伝統芸能を未来へつなぐ(後期) 近世・近代編					
	【定員】200名 【受講料】2年会員 11,150円 1年会員 12,250円 聴講生 15,550円 (資料代 150円を含む)					
概要	日本の伝統芸能 【時間】 毎回 13時 30分～15時 00分 (計 12回) 前期から引き続き、伝統芸能の現在と再生、未来を見つめます。後期は衰退の危機にある平家琵琶の復興実演をはじめ、近代の日本音楽を再評価する試みも続けます。伝統をつなぐためには演奏者だけでなく、社会全体そして私たち一人ひとりの理解や支援が何より必要です。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	9/30(月)	高津市民館 大会議室 (Nocty 2 12階)	近世芸能の始まり～洋楽との最初の出会いもあった	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏		
2	10/7(月)		平家復興の試み。研究と実演。 【ゲスト】解説: 藤田治子、琵琶: 日吉章吾 ***1			
3	10/28(月)		三味線音楽の誕生			
4	11/11(月)		琉球芸能と首里城			
5	11/25(月)		近世の舞台芸能をめぐって…歌舞伎、文楽、日本舞踊の三位一体			
6	12/2(月)		ことばと音楽～伝統芸能の文学性			
7	12/9(月)		江戸の浄瑠璃・常磐津 【ゲスト】常磐津紫緒、常磐津孝野(浄瑠璃) ***2			
8	1/27(月)		新春コンサート 【ゲスト】山口賢治(尺八)、野澤佐保子(箏、三絃)、吉原佐知子(箏) ***3			
9	2/3(月)		近代の始まり・明治期の芸能をめぐって			
10	2/10(月)		東西折衷文化の興隆～大正、昭和初期の音楽			
11	3/2(月)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
12	3/9(月)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			

1,2,***3,***4の回は演奏会(左記演奏会は講座の受講生以外の方も資料代として1,000円で参加できる公開演奏会)。
受講登録者数 57名 (男性 29名 女性 28名) 出席者総数 468名

前期

講座 8	新しい科学の世界			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,340円 1年会員 10,420円 聴講生 13,660円 (資料代 700円を含む)			
概要	新しい科学の世界 【時間】 毎回 10時 30分～12時 00分 (計 12回) 今期は特に宇宙探査と地球の科学を中心に幅広く展開します。日本の飛行士が宇宙滞在時間では米ソに次ぐ世界第3位に、小惑星から砂を持ち帰るような斬新な試みまで進んできたからです。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(火)	川崎市生涯学習プラザ	揺れない地震の話	東京大学大学院理学系研究科教授 井出 哲
2	4/16(火)		宇宙の扉を開こう—宇宙活動のさまざま	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 社友 柳川孝二
3	4/23(火)		有人探査の歴史と展望—人はなぜ宇宙をめざすのか	
4	5/14(火)		宇宙飛行士の資質と能力—滞在時間では世界3位に	
5	5/21(火)		開拓者のエピソードでたどるコンピューターの歴史	科学ジャーナリスト 大江秀房
6	6/4(火)		磁石・磁力・磁場—自然魔術から近代科学へ	日本学術振興会理事、東京大学名誉教授 家 泰弘
7	6/11(火)		物質科学のはじめの三歩	
8	6/18(火)		不思議な量子の世界	
9	6/25(火)		小惑星から砂、はやぶさ2プロジェクト	JAXA宇宙教育センター 清水幸夫
10	7/2(火)		電気ロケットの話	
11	7/9(火)		電子と光が織りなす波の世界	東京理科大学副学長 藤代博記
12	7/16(火)		新しい航空事業について	スカイマーク株式会社代表取締役社長 市江正彦

受講登録者数 76名 (男性 62名 女性 14名) 出席者総数 794名

後期

講座 8	新しい科学の世界			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,500円 1年会員 10,600円 聴講生 13,900円 (資料代 700円を含む)			
概要	新しい科学の世界I 【時間】 毎回 10時 30分～12時 00分 (計 12回) 今期も宇宙探査と地球の科学を中心に幅広く展開します。「人類が初めて目にした巨大ブラックホールの姿」をはじめ小惑星「リュウグウ」から砂を持ち帰る「はやぶさ2」のプロジェクトや北極へ行った女優さんなども登場します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(火)	川崎市生涯学習プラザ	人類が初めて目にした巨大ブラックホールの姿	国立天文台教授、水沢 VLBI 観測所長 本間希樹
2	10/15(火)		「はやぶさ2」の挑戦とこれまでの成果	JAXA「はやぶさ2」ミッション・マネージャー 吉川 真
3	10/29(火)		私が会った日本人ノーベル賞受賞者たち—物理学賞を中心に	元北海道大学客員教授、元朝日新聞科学部長 尾関 章
4	11/12(火)		「私の北極点」—女優の私がなぜ北極点を目指したのか	女優・探検家 和泉雅子
5	11/19(火)		オーロラから知る宇宙の環境	東北大学名誉教授、日本極地研究振興会常務理事 福西 浩
6	11/26(火)		中国経済の最新動向と日系企業	富士通総研 経済研究所 主席研究員 金 堅敏
7	12/3(火)		躍進する中国のG5技術と華為の運命	アジア通信社社長 徐 静波
8	12/10(火)		鉄と人類と超新星爆発	朝日新聞社教育コーディネーター、前論説副主幹 中島 泰
9	12/17(火)		『海のドローン』による離島火山活動の監視	神戸大学海洋底探査センター(東京大学名誉教授) 浜野洋三
10	1/14(火)		『宇宙を使う未来』について	JAXA 宇宙科学研究所研究基盤・技術統括付 技術領域主幹 香河英史
11	1/21(火)		地球内部の「地質図」発見	東京大学准教授 河合研志
12	1/28(火)		災害と復興を考える	日本科学技術ジャーナリスト会議会長 佐藤年緒

受講登録者数 75名 (男性 58名 女性 17名) 出席者総数 779名

前期

講座 9	川崎の自然Ⅱ—生き物や地形地質の変化を探る 3			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 (資料代は実費徴収)			
概要	自然Ⅱ(川崎学)【時間】毎回10時30分~12時00分、ただし野外学習は見学地の状況により多少時間が前後します。(計12回)			
	生きものや地形地質は時間と共に変化する。季節で変わる。地域の環境で変わる。年によって変わる。地球環境の変化によって変わる。地質年代によって変わる。この変化の事例を川崎市域から県域にかけて広げて探ってみる。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(火)	川崎市生涯学習プラザ	帰化植物と在来種 - 県内の動向と昆虫との関係など-	元東京大学大学院農学生命科学 特任研究員 北川淑子
2	4/23(火)	鶴見川中流域	鶴見川中流域の帰化植物の観察と調査(9時半~12時予定)	
3	5/14(火)	川崎市生涯学習プラザ	海岸に生息する昆虫について	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎
4	5/28(火)	三浦半島 和田長浜海岸	和田長浜海岸の岩礁域と砂浜に生息する昆虫観察 (10時半~12時予定)	
5,6	6/4(火)	三浦半島 荒崎海岸とその周辺	荒崎海岸周辺地域の地形と地質の観察 (バス利用)(8時~18時予定)	前神奈川県立生命の星・地球博物館 主任研究員 笠間友博
7	6/11(火)	川崎市生涯学習プラザ	海岸環境の違いと生き物の種類	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 海洋科学博士 村岡健作
8	6/18(火)	葉山芝崎海岸	芝崎海岸の岩場と転石地の生きものの観察 (9時半~12時予定)	
9	6/25(火)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川下流部における埋め立地の変遷	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
10	7/2(火)		酒匂川の流路の変遷と地形発達史	
11,12	7/9(火)	山北町谷峨周辺	山北町谷峨周辺の足柄層群上部の地質と化石、御殿場泥流の分布と段丘地形の観察(9時半~15時予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 理学博士 松島義章

※4/16(火)10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第5,6回6/4(火)はバス借り上げ代等が別途7,000円ほど集金。バスの手配は、富士急トラベルに委託。 受講登録者数 25名(男性16名 女性9名) 出席者総数 232名

後期

講座 9	川崎の自然Ⅱ—生き物や地形地質の変化を探る 4			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 9,250円 1年会員 10,350円 聴講生 13,650円 (資料代450円を含む)			
概要	自然Ⅱ(川崎学)【時間】毎回10時30分~12時00分、ただし野外学習は見学地の状況により多少時間が前後します。学習内容記載の時間を参考にさせていただきます。(計12回)			
	川崎周辺の多様な自然環境を学ぶ講座です。多摩丘陵周辺の多様な地形地質とそこに起きる様々な生物、それらと人との関わり、その媒体としての科学館の役割、そして災害を考えていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(火)	川崎市生涯学習プラザ	科学館の舞台裏(前編)	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎
2	10/8(火)	かわさき宙(そら)と緑の科学館	科学館の舞台裏(後編)(10:30~12:00予定)	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎 かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸担当 堀内慈恵
3	10/15(火)	川崎市生涯学習プラザ	きのこは「菌類の象徴」であり自然界で多大な役割を担っている。秋の発生最盛期に菌類別に生育環境の違いを調べよう	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 薬用植物ときのこの会世話人代表 生出智哉
4	10/29(火)	川崎市立早野聖地公園	早野聖地公園におけるきのこの分類(担子菌類と子のう菌類) - 食毒きのこの見分け方 - (10:00~12:00予定)	
5,6	11/5(火)	真鶴岬	箱根火山と海の接点、人との関わり(9:30~15:00予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間友博
7	11/19(火)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川デルタの地盤と地下水	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
8	11/26(火)		身近なシダ植物を知ろう(前編)	
9	12/3(火)	生田緑地	身近なシダ植物を知ろう(後編)(9:30~12:00予定)	元東京大学大学院農学生命科学研究科特任研究員 北川淑子
10	12/10(火)	川崎市生涯学習プラザ	神奈川の自然災害:洪水害の外水氾濫と内水氾濫を知る	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 理学博士 松島義章
11,12	2/18(火)	秦野市震生湖	土砂災害の現場を見る(9:30~15:00予定)	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫 神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間友博

※10/1(火)10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 受講登録者数 18名(男性10名 女性8名) 出席者総数 171名

前期

休止しました。

後期

WS 3	社会福祉入門				※講義形式
	【定員】30名 【受講料】2年会員 4,400円 1年会員 4,950円 聴講生 6,600円 (資料代は実費徴収)				
【ワークショップ】社会福祉 【時間】毎回10時30分~12時00分(計6回)					
概要					
福祉がもともとどのような意味をもっていて、現在どのように使われているかというところから始めて、子ども、障害のあるひと、高齢者に関する福祉の具体的な姿を見ていきます。また行政の役割と住民の役割についても考えます。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/29(火)	川崎市生涯学習プラザ	語源・日常会話・法令において福祉がどのように語られるか。	明治学院大学教授 武川正吾	
2	11/5(火)		子どもにとっての福祉とは一虐待や里親から捉え返す。	明治学院大学専任講師 三輪清子	
3	11/19(火)		障害のあるひとにとっての福祉とは一精神保健福祉を中心に	明治学院大学准教授 平澤恵美	
4	12/3(火)		サクセスフル・エイジングの光と影—サードステージの生き方	尚美学園大学専任講師 高橋幸裕	
5	12/17(火)		社会福祉を支える行政のあり方と計画づくり	明治学院大学教授 和気康太	
6	1/21(火)		地域における福祉コミュニティづくりの課題と実践を知る	東洋大学教授 加山 弾	

受講登録者数 14名(男性5名 女性9名) 出席者総数 78名

前期

講座 10	近世社会の宗教と信仰			
	【定員】144名 【受講料】2年会員 9,240円 1年会員 10,320円 聴講生 13,560円 (資料代 600円を含む)			
概要	日本史 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	序 江戸幕府の宗教政策と近世社会 1	明治大学名誉教授 圭室文雄
2	4/16(火)		序 江戸幕府の宗教政策と近世社会 2	
3	4/23(火)		富士講と富士登山と富士塚	東京家政学院大学名誉教授 西海賢二
4	5/14(火)		近世の修験と霞と御師	
5	5/21(火)		札所と霊場参り	
6	6/4(火)		旅と信仰～伊勢講とおかげ参り	
7	6/11(火)		徳川将軍家と信仰	武蔵大学・東京女子大学講師 滝口正哉
8	6/18(火)		寺社と開帳	
9	6/25(火)		江戸の祭礼	
10	7/2(火)		江戸の庶民信仰と流行神	
11	7/9(火)		浅草寺と境内と周辺地域～聖と俗の世界	淑徳大学客員教授 小澤 弘
12	7/16(火)		国学の隆盛と神道	神田神社権禰宜 岸川雅範

受講登録者数 140名 (男性 105名 女性 35名) 出席者総数 1,415名

後期

講座 10	近代日本の宗教と思想			
	【定員】144名 【受講料】2年会員 9,400円 1年会員 10,500円 聴講生 13,800円 (資料代 600円を含む)			
概要	日本史 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	明治日本の夜明けと国学	國學院大学教授 齊藤智朗
2	10/15(火)		明治維新と大教宣布	國學院大学 研究開発推進機構助教 武田幸也
3	10/29(火)		「国家神道」と神社非宗教行政	國學院大学教授 菅 浩二
4	11/12(火)		近代日本のキリスト教の伝播	淑徳大学学長 磯岡哲也
5	11/19(火)		外国人から見た神道-1874年の神道シンポジウム	杏林大学大学院客員教授 楠家重敏
6	11/26(火)		新宗教からみる「近代」	駒澤大学講師 永岡 崇
7	12/3(火)		西田幾多郎と鈴木大拙-その禅と思想	北海学園大学名誉教授 船岡 誠
8	12/10(火)		明治の「近代化」と対外政策の思想背景①-「近代」の始まり	日本大学講師 坂口太助
9	12/17(火)		明治の「近代化」と対外政策の思想背景②-対外政策の推進	
10	1/14(火)		明治維新の隠れた実相-新政府の情報活動と密偵たち	早稲田大学教授 大日方 純夫
11	1/21(火)		自由民権の国家像・社会像-小野梓の思想と実践から	
12	1/28(火)		大正デモクラシーの国家像・社会像-吉野作造の思想と実践から	

受講登録者数 129名 (男性 103名 女性 26名) 出席者総数 1,321名

前期

WS 3	江戸時代とはどんな時代か? 考えてみませんか			
	【定員】40名 【受講料】2年会員・1年会員ともに8,260円 聴講生 9,340円 (資料代 700円を含む)			
概要	【ワークショップ】日本史 【時間】毎回13時15分～15時15分(計7回)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	(総論) 江戸時代とはどんな時代か	成城大学民俗学研究所研究員 小沢 詠美子
2	4/23(火)		(課題1) 大名と旗本について	
3	5/14(火)		(課題2) いわゆる「鎖国」と呼ばれる制度について	
4	6/4(火)		(課題3) 「三大改革」について	
5	6/18(火)		(課題4) 江戸文化について	
6	7/2(火)		(課題5) 明治維新について	
7	7/16(火)		(総括) 「江戸」と江戸時代	

テキスト: 中公新書編集部編『日本史の論点』(中央公論新社、2018年、950円) / 参考図書: 竹内誠編『江戸文化の見方』(角川学芸出版、2010年、1,836円) 受講者による発表と質疑を取り入れたゼミ形式で実施。

受講登録者数 41名 (男性 31名 女性 10名) 出席者総数 247名

後期

WS 4	外国人から見た日本の近代			
	【定員】40名 【受講料】2年会員・1年会員ともに8,400円 聴講生 9,500円 (資料代 700円を含む)			
概要	【ワークショップ】日本史 【時間】毎回13時15分～15時15分(計7回)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス: それぞれの人物の経歴と日本観を概観する	杏林大学大学院客員教授 楠家重敏
2	10/29(火)		E.M.サトウ(イギリス外交官、『一外交官の見た明治維新』)	
3	11/12(火)		W.G.アストン(イギリス外交官、日本学者、『英訳日本紀』)	
4	11/26(火)		B.H.チェンバレン(帝国大学教授)とラフカディオ・ハーン(作家)	
5	12/10(火)		イザベラ・バード(イギリス人女性旅行家、『日本奥地紀行』)	
6	1/14(火)		E.S.モース(アメリカ人教師、大森貝塚発見、『日本その日の日』)	
7	1/21(火)		総評: 来日外国人にとって近代日本は何であったか、考える。	

受講生による発表と質疑を取り入れたゼミ形式で実施。

参考図書: 『外国人の見た日本』(中公新書)、楠家重敏『ジャパノロジー-ことばはじめ-日本アジア協会の研究』(晃洋書房)

受講登録者数 28名 (男性 20名 女性 8名) 出席者総数 165名

前期

講座 11	みどり学 I ー身近な自然に興味を持ち親しみを深める				
	【定員】90名 【受講料】2年会員 9,140円 1年会員 10,220円 聴講生 13,460円 (資料代 500円を含む)				
みどり学 I 【時間】講義:13時30分~15時00分、野外:10時30分~14時30分、4/16、4/23は8時00分~18時00分予定(計12回)					
概要 みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1	4/9(火)	川崎市生涯学習プラザ	玉川上水マップ作りの楽しみ	A・B班実施	元麻布大学教授 高槻成紀
2,3	4/16(火)	さくらの里 軽井沢植物園	群馬県妙義山さくらの里と軽井沢植物園 (バス利用)	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	4/23(火)			B班実施・A班休み	
4,5	5/14(火)	塩船観音寺、 吹上菖蒲園	ツツジとサツキが美しい塩船観音寺とアヤマ咲く吹上菖蒲園	A班実施・B班休み	
6	5/21(火)	川崎市生涯学習プラザ	世界の森林鉄道と周辺の林業	A・B班実施	東京大学教授 酒井秀夫
4,5	6/4(火)	吹上菖蒲園、 塩船観音寺	ハナショウブが美しい吹上菖蒲園と塩船観音寺	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
7	6/11(火)	川崎市生涯学習プラザ	寄生植物と根っこ	A・B班実施	樹木・環境ネットワーク 中西 由美子
8,9	6/18(火)	神代植物公園	世界で栽培されるバラの起源~現代バラの原種の観察~	A班実施・B班休み	森林インストラクター 武部 令
	6/25(火)			B班実施・A班休み	
10	7/2(火)	川崎市生涯学習プラザ	新しい植物の分類とDNAからわかる植物の進化	A・B班実施	横浜国立大学准教授 倉田薫子
11	7/9(火)		ヨーロッパの自然と森	A・B班実施	東京農工大学名誉教授 福嶋 司
12	7/16(火)		透明度、深さ、古き世界一は半端ない地球の深淵。バイカル湖のみどり学。	A・B班実施	樹木医 石井誠治

※4/9(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第2,3回4/16,4/23(火)は、バス借上げ代等が別途7,000円程集金。(バスの手配は、富士急トラベル)。 受講登録者数 95名 (男性 41名 女性 54名) 出席者総数 905名

後期

講座 11	みどり学 I ー身近な自然に興味を持ち親しみを深める				
	【定員】90名 【受講料】2年会員 9,300円 1年会員 10,400円 聴講生 13,700円 (資料代 500円を含む)				
みどり学 I 【時間】講義:13時30分~15時00分、野外:10時30分~14時30分、10/8、10/15は8時00分~18時00分予定(計12回)					
概要 みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	10/8(火)	箱根 湿生花園	箱根に湿生花園ができた理由を周囲の地形や植物から考える(バス利用)	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	10/15(火)			B班実施・A班休み	
3	10/29(火)	川崎市生涯学習プラザ	今年の干支・イノシシとブタ	A・B班実施	元麻布大学教授 高槻成紀
4,5	11/12(火)	平山 城址公園他	東京薬科大学薬用植物園で薬用植物に親しむ	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	11/19(火)			B班実施・A班休み	
6	11/26(火)	川崎市生涯学習プラザ	マツ林と不思議な生物マツタケ	A・B班実施	東京大学名誉教授 鈴木和夫
7,8	12/3(火)	小金井公園	紅葉が美しい小金井公園を楽しむ	A班実施・B班休み	樹木・環境ネットワーク 中西 由美子
	12/10(火)			B班実施・A班休み	
9	12/17(火)	川崎市生涯学習プラザ	“森林飽和”時代の森林管理	A・B班実施	東京大学名誉教授 太田猛彦
10	1/14(火)		年輪は語る ~桜並木で起こった数々のサスペンドラマ~	A・B班実施	樹木医 石井誠治
11	1/21(火)		ミクロの世界から見る植物と菌類	A・B班実施	東京農業大学教授 矢口行雄
12	1/28(火)		樹木とシカの関わり	A・B班実施	樹木医 石井誠治

※本講座は、みどり学の受講経験の浅い方が比較的多く受講。 ※10/1(火)13時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第1,2回10/8,10/15(火)は、バス借上げ代等が別途7,000円程集金(バスの手配は、富士急トラベル)。 受講登録者数 90名 (男性 39名 女性 51名) 出席者総数 885名

前期

講座 12	みどり学 (フレッシュ)				
	【定員】40名 【受講料】2年会員 8,640円 1年会員 9,720円 聴講生 12,960円 (資料代は実費徴収)				
みどり学 (フレッシュ) 【時間】講義:13時30分~15時00分、 野外:10時30分~14時30分、5/21は8時00分~18時00分予定(計12回)					
概要 みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的にした講座です。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/16(火)	川崎市生涯学習プラザ	コウモリの世界	コウモリ写真家 大沢夕志	
2	4/23(火)		食虫植物っておもしろい	樹木・環境ネットワーク 中西 由美子	
3	5/14(火)		日本の森は森林飽和状態です	東京大学名誉教授 太田猛彦	
4,5	5/21(火)	赤城自然園	ツツジ博覧会~日本の多様なツツジの観察~(バス利用)	森林インストラクター 武部 令	
6	6/4(火)	川崎市生涯学習プラザ	山の自然学最近の知見	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
7,8	6/11(火)	明治神宮	2020年に創建100年を迎える明治神宮の森を体感する	樹木医 石井誠治	
9	6/18(火)	多摩川 せせらぎ公園	多摩川せせらぎ公園で蜘蛛の生き様を体験する	日本蜘蛛学会 新井浩司	
10	6/25(火)	川崎市生涯学習プラザ	小笠原諸島の森林~その変化と人間との関わり~	宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫	
11,12	7/16(火)	林試の森公園	利用される樹木たち~珍しい外国産樹種と国産樹種の観察~	森林インストラクター 武部 令	

※本講座は、アカデミーで初めてみどり学を学ぶ方や、初心に帰って学び直しをしたい方に向けた内容。 ※4/16(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第4,5回5/21(火)は、バス借上げ代等別途約7,000円程集金(バスの手配は、富士急トラベル)。

受講登録者数 37名 (男性 13名 女性 24名) 出席者総数 355名

後期

講座 12	みどり学 (フレッシュ)				
	【定員】40名 【受講料】2年会員 9,100円 1年会員 10,200円 聴講生 13,500円 (資料代 300円を含む)				
みどり学 (フレッシュ) 【時間】講義:13時30分~15時00分、 野外:10時30分~14時30分、12/10は8時00分~18時00分予定(計12回)					
概要 みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的にした講座です。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/8(火)	川崎市 生涯学習プラザ	ドロマテの自然	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
2	10/15(火)		今年の干支・イノシシとブタ	元麻布大学教授 高槻成紀	
3,4	10/29(火)	大船 フラワーセンター	現代バラのルーツと多様な品種探索散策 ~野生のバラと園芸のバラの見比べ~	森林インストラクター 武部 令	
5	11/12(火)	川崎市 生涯学習プラザ	「万葉集」に歌われた植物	(公社)日本植物友の会副会長 山田隆彦	
6	11/19(火)		ミズの願い「もっと私を知ってほしい!」	ミズ研究家 石塚 小太郎	
7	11/26(火)	昭和記念公園	盆栽と紅葉の競演	樹木医 石井誠治	
8	12/3(火)	川崎市 生涯学習プラザ	アメリカのみどり事情 ~バタフライガーデンと17年ゼミ~	千葉大学准教授 野村昌史	
9,10	12/10(火)	熱海	来宮神社の大クスと日本一のヒマラヤザクラ探訪(バス利用)	樹木医 石井誠治	
11,12	12/17(火)	こどもの国	サザンカの花と色々な紅葉の散策 ~サザンカの花見と紅葉狩り~	森林インストラクター 武部 令	

※本講座は、アカデミーで初めてみどり学を学ぶ方や、初心に帰って学び直しをしたい方に向けた内容。 ※10/8(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第9,10回12/10(火)は、バス借上げ代等が別途7,000円程集金(バスの手配は、富士急トラベル)。 ※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。

受講登録者数 39名 (男性 14名 女性 25名) 出席者総数 348名

前期

講座 13	林京子の文学世界—原爆と植民地から「戦後」を再考する			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 8,890円 1年会員 9,970円 聴講生 13,210円 (資料代250円を含む)			
	文学 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	2017年2月17日に他界された林京子さんの追悼の思いを込めて、その文学の全体像をとらえ直していきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/17(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	林京子とは	日本女子大学教授 成田龍一
2	4/24(水)		林京子『祭りの場』を読み直す	
3	5/15(水)		林京子『谷間』を読み直す	
4	5/22(水)		林京子『三界の家』を読み直す	東京大学教授 小森陽一
5	5/29(水)		林京子と中国	
6	6/5(水)		林京子『ミッシェルの口紅』を読み直す	
7	6/19(水)		林京子『長い時間をかけた人間の経験』を読み直す	明治学院大学教授 篠崎 美生子
8	6/26(水)		林京子『再びルイへ』を読み直す	
9	7/10(水)		林京子の文学的位置	
10	7/17(水)			フェリス学院大学教授 島村 輝
11	7/31(水)			
12	8/7(水)			

*各回の作品を事前に読んで参加。

受講登録者数 36名 (男性 16名 女性 20名) 出席者総数 376名

後期

講座 13	中上健次の小説世界			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,050円 1年会員 10,150円 聴講生 13,450円 (資料代250円を含む)			
	文学 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	二十世紀末の現代日本文学の画期的水準を形成した中上健次のデビュー作『一番はじめの出来事』から、第七回芥川賞受賞作『岬』までを中上研究最前線の講師陣により講読します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	中上健次の文学的出発	東京大学名誉教授 小森陽一
2	10/23(水)		『一番はじめの出来事』	日本学術振興会特別研究員 亀有 碧
3	10/30(水)		『十九歳の地図』	亜細亜大学准教授 浅野 麗
4	11/13(水)		『補陀落』	
5	11/27(水)		『黄金比の朝』	
6	12/4(水)		『火宅』	東京大学准教授 村上克尚
7	12/18(水)		『浄徳寺ツアー』	
8	1/22(水)		中上健次文学と『路地』	東京大学名誉教授 小森 陽一
9	2/5(水)		『紀州 木の国・根の国物語』	静岡大学准教授 渡邊英理
10	2/12(水)		『熊野集』『喜き籠り』	
11	2/19(水)		『岬』(一)	東京経済大学 講師 須賀 真以子
12	2/26(水)		『岬』(二)	

*各回の作品を事前に読んで参加。

受講登録者数 35名 (男性 17名 女性 18名) 出席者総数 341名

前期

WS 4	第三の新人を読む			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに6,730円 聴講生 7,810円 (資料代250円を含む)			
	【ワークショップ】 文学 【時間】毎回 13時00分～15時00分 (計7回)			
概要	1953年から55年ごろにかけて文壇に登場した新人作家を山本健吉が「第三の新人」と命名しました。敗戦直後、政治と文学、戦争責任や主体性の問題を提起して創作を続けた「第一・第二の新人」に対して、もっと身近な現実生きる人間の心の状態を私小説風に描きました。思想的、観念的文学よりも、市井人の日常を等身大で描いたリアリズム文学といえるでしょう。芥川賞受賞作を中心に読んでいきたいと思います。日本近代文学に流れる私小説の伝統を感じるかもしれません。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	5/8(水)		小島信夫『アメリカン・スクール』第32回芥川賞 アメリカン・スクールの見学に来た教員たちの反応を内気な男性教員伊佐の視点で諧謔的、皮肉的に描く。	文芸評論家 尾形明子
3	5/22(水)		安岡章太郎『悪い仲間・陰気な愉しみ』第29回芥川賞 荷風文学の影響で浅草、玉の井を彷徨した青春の日々	
4	6/5(水)		吉行淳之介『驟雨』第31回芥川賞 女性関係を遊戯とみる青年と娼婦の交渉を描く。戦争で屈折した青春の虚無	
5	6/19(水)		庄野潤三『静物』家庭の危機をようやく脱し、子どもを中心とした家庭の喜びと持続の願いに貫かれた作品	
6	6/26(水)		遠藤周作『白い人』第33回芥川賞 ドイツ占領下のフランス・リヨンで友人の神学生をナチの拷問に委ねる青年を通して、善と悪の対立を追及	
7	7/10(水)		曾野綾子『遠来の客たち』第31回芥川賞候補 敗戦直後のとげとげしい世相の中で、アメリカ駐留軍を遠来の客とみる	

*ガイダンスには講師は欠席。

受講登録者数 22名 (男性 13名 女性 9名) 延べ人数 137名

後期

WS 5	女性作家の小説を読む—〈官能〉〈記憶〉〈老境〉を生きる—			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに6,850円 聴講生 7,950円 (資料代250円を含む)			
	【ワークショップ】 文学 【時間】毎回 13時00分～15時00分 (計7回)			
概要	女性作家の小説を取り上げる。主人公の生き方、考え方がどのように表現されているのか。この問題をジェンダー(男性性/女性性)を一つの手掛かりとしなが読み解いていく。受講者の問題意識が、取り上げる小説世界とどのように切り結ぶのか。受講者と共に、生きることと小説を読み解くことが決して無関係ではないことを改めて確認する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス：ワークショップの進め方について	運営世話人
2	10/23(水)		田村俊子『木乃伊の口紅』 —文学を希求しながら、生活面では困窮を強いられる夫婦。ふたりはどこに向かうのか。	法政大学講師 伊藤 博
3	11/13(水)		岡本かの子『鮎』 —主人公はなにに依拠して生きてきたのか。主人公にとって鮎が意味するものは。	
4	11/27(水)		平林たい子『こいう女』 —主人公の「私」の回想が「戦後」的であることを明らかにする。同じ時期に発表された坂口安吾『墮落論』にも言及する。	
5	12/4(水)		河野多恵子『蟹』—外房海岸を小学生の甥と蟹を求めて歩く女性。彼女の妖しい心理を読み解く。	
6	12/18(水)		幸田文『崩れ』(一～七) 老いていく主人公の「私」が山体崩壊現象に見て、感じたものとは。	
7	1/22(水)		幸田文『崩れ』(八～十四) 崩れという自然現象と「私」の自己認識の関係性の変化を追及する。	

*ガイダンスには講師は欠席。

受講登録者数 21名 (男性 11名 女性 10名) 延べ人数 123名

前期

講座 14	世界を旅する②スイス・ツアー			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,240円 1年会員 10,320円 聴講生 13,560円 (資料代 600円を含む)			
エクセレント I		【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	多言語、多宗派を抱えこみ、周囲を大國に囲まれながらも、歴史を通じて自由と独立を保ち続け、現代においても最先端の技術、最高度に洗練されたデザインを生み出し続けてきた不思議に満ちた国スイス。この連続講義では、そんな小さくて豊かな国スイスの謎を、言語、政治、経済、美術、音楽、文学とさまざまな角度から解き明かしていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(水)	川崎市生涯学習プラザ	概論 スイスという国：原初三州～連邦成立	東京学芸大学教授 若林 恵
2	4/17(水)		スイスの言語状況：4つの言語圏、言語圏間の関係など	
3	4/24(水)		スイスの政治状況：直接民主制、女性参政権、魔法の公式など	
4	5/15(水)		スイスと音楽―「理想郷スイス」の音楽的表現―	聖徳大学附属女子中学校・高等学校 常勤講師 音楽学博士 (ヘルリン芸術大学) 畑野 小百合
5	5/29(水)		スイスの美術と美術館 (アルプスからアート・バーゼルまで)	パウル・クレー・センター研究員 柿沼 万里江
6	6/5(水)		スイスの複数言語教育―バーゼル市州の政策を中心に―	慶應義塾大学教授 境 一三
7	6/12(水)		チューリッ劇場 (ナチス亡命者と精神的国土防衛)	津田塾大学ほか講師 松鶴功記
8	6/19(水)		スイスの産業・経済 1 産業立地にみられる「棲み分け」	国土館大学教授 加藤幸治
9	6/26(水)		スイスの産業・経済 2 第三次産業の立地と地域間格差	
10	7/3(水)		スイスとドイツ、スイスと EU―小さな国の大きな国との付き合い方	津田塾大学教授 新本史斉
11	7/10(水)		スイスの文学 ―小さな国から生まれる世界文学	京都大学准教授 川島 隆
12	7/17(水)		スイスから世界へ：『ハイジ』をめぐる文化現象	

受講登録者数 54名 (男性 27名 女性 27名) 出席者総数 540名

後期

講座 17	世界を旅する②ギリシャ・ツアー			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,400円 1年会員 10,500円 聴講生 13,800円 (資料代 600円を含む)			
エクセレント I		【時間】毎回 14時00分～15時30分 (計12回)		
概要	ギリシャといえばまず思い浮かぶのは、栄光の古代文明や青い空、白い壁の地中海の風景でしょう。一方で、今日のギリシャについて知られていることはあまり多いとはいえません。本講座では、古代以降のギリシャの歴史や文化、今日の社会経済状況についての知見を得ることを通じて、知られざる豊かで魅力あるギリシャの姿を学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	川崎市生涯学習プラザ	ギリシャ総説―地理、人々、言語と宗教	東洋大学教授 村田 奈々子
2	10/16(水)		ギリシャ史概説 (1) 古代ギリシャ世界	東洋大学名誉教授 高島純夫
3	10/23(水)		ギリシャ史概説 (2) 中世ビザンツ帝国	東京大学大学院 人文社会系研究科 博士課程 佐野大起
4	10/30(水)		ギリシャ史概説 (3) オスマン帝国時代から現代まで	東洋大学教授 村田 奈々子
5	11/13(水)		世界に散在するギリシャ人コミュニティ	
6	11/20(水)		観光大國ギリシャ―統計にみる現状と世界遺産	外務省大臣官房会計課福利厚生室 首席事務官 荒牧 拓
7	11/27(水)		近代オリンピックとギリシャ―クーベルタンはギリシャに何を見出したか	東洋大学教授 村田 奈々子
8	12/4(水)		ギリシャの食文化―地中海式食事様式とギリシャ料理の特徴・食材	早稲田大学スポーツ科学研究センター 招聘研究員 深澤朋子
9	12/11(水)		ギリシャ正教―知られざる東方キリスト教の世界	東洋大学教授 村田 奈々子
10	12/18(水)		映画のなかのギリシャと近現代ギリシャの文学	東洋大学教授 村田 奈々子
11	1/15(水)		政治と経済の現状―債務危機とギリシャ	
12	1/22(水)		ギリシャをとりまく世界―EU・バルカン諸国・中東	

受講登録者数 80名 (男性 45名 女性 35名) 出席者総数 777名

前期

講座 15	ヨーロッパの都市と建築			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,140円 1年会員 10,220円 聴講生 13,460円 (資料代 500円を含む)			
建築と都市		【時間】毎回 10時30分～12時00分、第11回目のみ 10時00分～11時30分 (計12回)		
概要	ヨーロッパの古い町並みやそこに建つ建築物。あるものは時代の輝きを放ち続け、またあるものはいくつもの時代の痕跡が重なりあって、様々な歴史や地域の文化を今に伝えています。本講座では気鋭の研究者達がヨーロッパ各地の都市や建築の魅力に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/17(水)	川崎市生涯学習プラザ	南イタリアの小都市	久留米工業大学建築・設備工学科/特任講師 稲益祐太
2	4/24(水)		水都ティヴォリ3時代の庭園比較	法政大学特任教授 陣内秀信
3	5/15(水)		近世フランスの宮廷都市ヴェルサイユ	工学院大学准教授 中島智章
4	5/29(水)		シチリアの都市と建築	久留米工業大学建築・設備工学科/特任講師 稲益祐太
5	6/5(水)		失われた水都―ポロニアとマントヴァ	法政大学特任教授 陣内秀信
6	6/19(水)		西洋の石造建築と時間変化―パルラを中心に	東京大学教授 加藤耕一
7	6/26(水)		近世イタリアの産業都市	久留米工業大学建築・設備工学科/特任講師 稲益祐太
8	7/3(水)		ヴェネツィア周辺の水の街	法政大学特任教授 陣内秀信
9	7/10(水)		ドイツの水都	久留米工業大学建築・設備工学科/特任講師 稲益祐太
10	7/17(水)		近世フランスの軍事計画都市	工学院大学准教授 中島智章
11	7/31(水)		サンティアゴ巡礼路の都市と建築	東海大学准教授 伊藤喜彦
12	8/7(水)		イスタンブルとトルコの都市空間	昭和女子大学准教授 鶴田佳子

受講登録者数 89名 (男性 45名 女性 44名) 出席者総数 924名

後期

講座 14	大正・昭和の都市と建築			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,300円 1年会員 10,400円 聴講生 13,700円 (資料代 500円を含む)			
建築と都市		【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	日本の建築界は、明治期には西欧の様式建築の学習を主眼としましたが、近代建築運動の勃興により、大正期以降は西欧と同時に歩む時代に入りました。産業・文化の成熟や災害を契機に、建築家の関心も個人や社会のあり方に広がりました。現代に直結する大正・昭和の建築界の動向を多角的に論じます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	川崎市生涯学習プラザ	明治から大正・昭和へ―日本建築界の動向	東海大学教授 小沢朝江
2	10/16(水)		日本民藝運動と住空間―「民家」へのまなざし	
3	10/23(水)		旧渡辺甚吉邸と旧足立正別邸―昭和初期のハーフィンバー住宅	神奈川大学特別助教 須崎文代
4	10/30(水)		台所の近代化と建築家たちの試み	
5	11/13(水)		近代建築思潮の導入と大正・昭和初期の建築	小山工業高等専門学校名誉教授 河東義之
6	11/20(水)		鉄骨造と鉄筋コンクリート造の導入と普及	
7	11/27(水)		山田守と分離派建築会・通信建築	東京家政学院大学助教 大宮司 勝弘
8	12/4(水)		アメリカのモダニズムとその影響	芝浦工業大学特任教授 田中厚子
9	12/11(水)		関東大震災と都市復興	
10	12/18(水)		近代日本におけるモダニズム建築の受容と形成	千葉工業大学准教授 藤木竜也
11	1/22(水)		自由学園明日館の建築と活用	
12	1/29(水)		少女歌劇と郊外住宅地―電鉄による都市開発	日本工業大学教授 安野 彰

受講登録者数 43名 (男性 28名 女性 15名) 出席者総数 445名

前期

講座 16	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑦			
	【定員】50名 【受講料】2年会員9,440円 1年会員10,520円 聴講生13,760円 (資料代500円、野外学習安全費用300円を含む)			
概要	学び・歩かわさき(川崎学) 【時間】座学は13時30分～15時00分、野外学習は13時30分～15時30分(計12回)			
	多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然科学的・人文的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。前期は、時代的には古代～近現代で、見学対象分野は貝塚、城下町、寺社、インフラ、交通施設などについて学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(水)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川流域の縄文貝塚	日本考古学協会会員 村田文夫
2	4/17(水)	野外学習	子母口貝塚と周辺の遺跡	
3	4/24(水)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川流域の縄文海進	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 理学博士 松島義章
4	5/8(水)	野外学習	多摩川河口でカキ礁観察	
5	5/15(水)	川崎市生涯学習プラザ	城下町の地名と景観-城下町小田原を歩く-	國學院大学講師 川名 禎
6	5/22(水)	野外学習		
7	6/12(水)	川崎市生涯学習プラザ	横須賀の産業土木・軍事遺産	日本ICOMOS「技術遺産小委員会」主査 産業考古学会理事(元会長) 伊東 孝
8	6/19(水)	野外学習	横須賀駅構内-ヴェルニ-記念館-旧海軍下士官集会所-ドブ板通り-三笠公園-第三海堡建造物(うみかぜ公園内)-旧横須賀鎮守府長官官舎	
9	6/26(水)	川崎市生涯学習プラザ	環東京湾都市交流の可能性-東京湾海堡-要塞と横須賀、富津、館山	元関東学院大学教授 昌子住江
10	7/3(水)	野外学習	横須賀の臨海工業地帯: 追浜 追浜駅-東京湾第三海堡展示場-貝山緑地-(日産自動車追浜工場、岡村製作所等を通る)-海軍航空技術廠本庁舎跡地-深浦漁港-深浦隧道-平六隧道-国道16号-追浜駅	
11	7/10(水)	川崎市生涯学習プラザ	港都川崎 幻の大運河計画と川崎運河の盛衰	法政大学文学部講師 産業考古学会理事 中川 洋
12	7/17(水)	野外学習	川崎河港水門、川崎運河跡 京急六郷土手駅-旧六郷橋遺構-六郷橋-六郷橋跡-六郷水門前(遠望)-川崎河港水門-川崎大師駅(京急開業の地碑、ループ線跡、三線軌道遺構)	

※4/10(水)講座開始前13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 受講登録者数 50名 (男性 38名 女性 12名) 出席者総数 508名

後期

講座 15	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑧			
	【定員】50名 【受講料】2年会員9,600円 1年会員10,700円 聴講生14,000円 (資料代500円、野外学習安全費用300円を含む)			
概要	学び・歩かわさき(川崎学) 【時間】座学は13時30分～15時00分、野外学習は2時間程度。(計12回)			
	多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然科学的・人文的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。後期は、時代的には中世～近現代で、見学対象分野は城下町、寺社、古民家、インフラ、交通施設などについて学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	野外学習	小田原城見学Ⅱ八幡山古郭東曲輪～小峰の大堀切(13:00集合予定)	國學院大学講師 川名 禎
2	10/16(水)	川崎市生涯学習プラザ	大本山總持寺の歴史と文化財について	
3	10/23(水)	野外学習	大本山總持寺の諸堂拝観(13:30集合予定)	大本山總持寺布教文化部参禅室長 花和浩明ほか
4	10/30(水)	川崎市生涯学習プラザ	横須賀-製鉄所から海軍工廠へ	
5	11/6(水)	野外学習	猿島(13:00集合)	日本ICOMOS「技術遺産小委員会」主査 産業考古学会理事(元会長) 伊東 孝
6	11/20(水)	川崎市生涯学習プラザ	「地域資源を生かすまちづくり エコミュージアムの試み」～館山・地域まるごと博物館を歩く～	
7	11/27(水)	野外学習	館山・地域まるごと博物館を歩く-まちなかエリア(産業振興と震災復興、医療伝道と転地療養)、赤山エリア(戦争遺跡と平和への願い)など(バス利用)	元関東学院大学教授 昌子住江
8	12/4(水)	野外学習	川崎市立日本民家園を訪ねる(13:00集合)	
9	12/11(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎周辺の中世城館について	日本考古学協会会員 坂本 彰
10	12/18(水)	野外学習	茅ヶ崎城を訪ねる(13:30集合)	
11	1/22(水)	川崎市生涯学習プラザ	「駅前団地」から多摩ニュータウン、多摩田園都市構想の実現へ -大規模宅地開発と鉄道ネットワークの形成-	法政大学講師 産業考古学会理事 中川 洋
12	1/29(水)	野外学習	【集合】登戸駅-南武線小田急線連絡線跡-向ヶ丘遊園モノレール駅跡-向ヶ丘遊園北口駅舎-百合ヶ丘駅-百合ヶ丘団地(遠望)-小田急線付け替え旧線跡-新百合ヶ丘【解散】(13:30集合)	

※10/2(水)13時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第7回11/27(水)は、バス借り上げ代等が別途7,000円程集金。 ※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。(バスの手配は富士急トラベル) 受講登録者数 50名 (男性 39名 女性 11名) 出席者総数 526名

前期

WS 5	街角の文化遺産に学ぶ-二ヶ領用水 再検証-その1 ※座学と野外学習			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに7,760円 聴講生8,840円 (資料代200円を含む)			
概要	【ワークショップ】まち歩き(川崎学) 【時間】毎回座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)			
	二ヶ領用水ができて400年が経過した。近年になって新たな二ヶ領用水の研究が進み提起されたが、その事が今後継承されていくことが重要である。そこで二ヶ領用水・大丸用水など川崎に関連する用水の再検証により、用水の役割や人々の願いを確かめる。今回は前期・後期の通年で二ヶ領用水をテーマに実施する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/17(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の用水研究を再検証する	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
2	4/24(水)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川の河床や流域の地形・地質	
3	5/15(水)	現地	二ヶ領用水の流れる低地の微地形	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
4	6/5(水)	川崎市生涯学習プラザ	大丸用水九ヶ村組について	
5	6/12(水)	現地	大丸用水取水口から各掘分水口へ	稲城市文化財協力員 横田泰次
6	6/26(水)	川崎市生涯学習プラザ	上河原(中野島)堰と宿河原堰の成立過程	
7	7/10(水)	現地	中野島堰から登戸小泉橋まで	日本地名研究所研究員 菊地恒雄

※4/17(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 受講登録者数 30名 (男性 14名 女性 16名) 出席者総数 183名

後期

WS 6	街角の文化遺産に学ぶ-二ヶ領用水 再検証-その2 ※座学と野外学習			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに7,900円 聴講生9,000円 (資料代200円を含む)			
概要	【ワークショップ】まち歩き(川崎学) 【時間】毎回座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)			
	二ヶ領用水に流入する河川の役割や分水口の変遷、六郷用水との対比を通して、二ヶ領用水の課題に迫る。前期に引き続き通年で二ヶ領用水をテーマに実施する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	川崎市生涯学習プラザ	平瀬川の役割	中原堰の会 朝山博史
2	10/16(水)	現地	二号五勾堰と中原堰	
3	11/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎掘と七堰	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
4	11/20(水)	現地	苅宿堰(大加佐)から鹿島田堰まで	
5	12/4(水)	川崎市生涯学習プラザ	もう一つの二ヶ領用水(六郷用水)	六郷用水の会代表 三橋 昭
6	12/11(水)	現地	丸子川(六郷用水)を歩く	
7	12/18(水)	川崎市生涯学習プラザ	私の考える二ヶ領用水の課題を語る(自由討議)	日本地名研究所研究員 菊地恒雄

※10/9(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 受講登録者数 24名 (男性 12名 女性 12名) 出席者総数 142名

前期

ローカルから政治を考える—地方自治の制度・歴史・現在				
講座 17	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,090円 1年会員 10,170円 聴講生 13,410円 (資料代 450円を含む)			
	政治・社会 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	私たちは地方自治について色々なことを知っているつもりで、実際にはその制度、歴史的な沿革、そして現在進行形の事態について十分に知らないのではないか。この講座では地方自治に関する多様な話題について、最先端を知る専門家に語っていただく。ローカルな視点から政治を捉える視点を見つけたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	オリエンテーション ローカルから政治を考える	東京大学教授 宇野重規
2	4/17(水)		日本の地方自治の制度と財政(概要)	首都大学東京教授 松井 望
3	4/24(水)		現場の実践を通じて地方自治を診る	早稲田大学教授 片山善博
4	5/15(水)		明治以降、近代日本の地方自治の歴史	慶應義塾大学准教授 松沢裕作
5	5/29(水)		地方分権改革以降の日本の地方自治の状況	首都大学東京教授 松井 望
6	6/5(水)		全国上位の学力を支える教育行政の現場—福井県の事例—	東京大学准教授・福井県庁 荒木一男
7	6/12(水)		希望学とは何か—釜石の事例から	東京大学教授 玄田有史
8	6/19(水)		日米地位協定と地方自治	法政大学教授 明田川 融
9	6/26(水)		オープンガバナンスでつくる地域コミュニティ	東京大学客員教授 奥村裕一
10	7/3(水)		政令指定都市制度	東京大学教授 金井利之
11	7/10(水)		住民参加の諸方策	
12	7/17(水)		海外の事例—ドイツの社会都市ハンブルグ(環境・住民参加)	東京大学教授 宇野重規

受講登録者数 71名 (男性 47名 女性 24名) 出席者総数 670名

後期

欧州政治思想の巨人たち—社会契約論を中心に				
講座 16	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,250円 1年会員 10,350円 聴講生 13,650円 (資料代 450円を含む)			
	政治・社会 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	ホブズ、ロック、ルソー。言うまでもなく欧州政治思想を築いた思想家であり、社会契約思想を核に戦後日本の民主主義を支えた思想家でもある。が、その知名度に比べ、思想内容がよく知られているとは言えない。近年注目を集める思想家トクヴィルとともに、最新の研究成果を踏まえて検討する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	オリエンテーション 社会契約論とは何か	東京大学教授 宇野重規
2	10/16(水)		ホブズの思想1:個人、自然権、戦争状態	
3	10/23(水)		ホブズの思想2:自然法、社会契約、国家と主権	慶應義塾大学准教授 川添 美央子
4	11/13(水)		ロックの思想1:思想世界の全体像	
5	11/20(水)		ロックの思想2:「政治的なもの」の特質	成蹊大学名誉教授 加藤 節
6	11/27(水)		ロックの思想3:「神の作品」の政治学	
7	12/11(水)		ルソーの思想1:『人間不平等起源論』自然状態と歴史	
8	12/18(水)		ルソーの思想2:『社会契約論』理論と現実のはざま	立教大学名誉教授 吉岡知哉
9	12/25(水)		ルソーの思想3:『エミール』人間と市民	
10	1/15(水)		トクヴィルの思想1:革命後の歴史世界とトクヴィル	
11	1/22(水)		トクヴィルの思想2:革命を考える	早稲田大学名誉教授 松本礼二
12	1/29(水)		トクヴィルの思想3:デモクラシーを考える	

受講登録者数 55名 (男性 42名 女性 13名) 出席者総数 536名

前期

WS 12		人物で見る戦後政治			※輪読形式・発表あり	
【定員】 35名		【受講料】 2年・1年会員ともに 11,100円 聴講生 12,180円 (資料代 300円を含む)				
【ワークショップ】 政治・社会		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計10回)				
概要	戦後政治を担った政治家、知識人の行動と主張をたどり、特に、様々な理念や思想の対立、交錯に注目しながら、戦後政治の展開を読み解く。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	4/5(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	序 戦後政治の流れと政治家像	法政大学教授 山口二郎		
2	4/19(金)		吉田茂と南原繁			
3	5/10(金)		石橋湛山と日本のリベラリズム			
4	5/17(金)		岸信介と河上丈太郎			
5	5/31(金)		池田隼人と江田三郎			
6	6/7(金)		佐藤栄作と沖縄返還			
7	6/21(金)		田中角栄と経済成長の終わり			
8	7/5(金)		大平正芳と福田赳夫			
9	7/12(金)		中曽根康弘と保守政治の現代化			
10	7/19(金)		宮澤喜一、村山富市と戦後政治の終わり			

*テキスト: 山口二郎・石川真澄「戦後政治史」(岩波新書、1,015円)、石川真澄著「人物戦後政治」(岩波現代文庫、1,080円)は各自用意。進め方は報告とディスカッション。 受講登録者数 24名 (男性 17名 女性 7名) 出席者総数 204名

後期

WS 7		民主主義とは何か			※報告・討論あり	
【定員】 30名		【受講料】 2年・1年会員 11,300円 聴講生 12,400円 (資料代 300円を含む)				
【ワークショップ】 政治・社会		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計10回)				
概要	日々、民主主義の危機が言われる今日、あらためて民主主義の意義を問い直すべきではないか。民主主義の思想と実践はどのようにして生まれ、変化してきたのか。その理念に照らして、今日の日本政治は民主的と言えるのか。民主主義とは何かを、じっくりと議論したい。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	10/9(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション—歴史から考える	東京大学教授 宇野重規		
2	10/16(水)		古代ギリシアにおける民主主義の誕生1			
3	10/23(水)		古代ギリシアにおける民主主義の誕生2			
4	11/13(水)		近代ヨーロッパにおける民主主義の継承と発展1			
5	11/20(水)		近代ヨーロッパにおける民主主義の継承と発展2			
6	11/27(水)		20世紀—民主主義の世紀1			
7	12/4(水)		20世紀—民主主義の世紀2			
8	12/11(水)		現代の民主主義1—ポピュリズムの時代			
9	12/18(水)		現代の民主主義2—民主主義は生き残れるか			
10	1/22(水)		まとめ—民主主義を自分たちのものに			

*テキスト『西洋政治思想史』、宇野重規・著、有斐閣

受講登録者数 32名 (男性 23名 女性 9名) 出席者総数 282名

前期

講座 18	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part26			
	【定員】150名	【受講料】2年会員 12,960円	1年会員 14,040円	聴講生 17,280円
概要	川崎市フランチャイズオーケストラである東京交響楽団による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラム（ソロ演奏や、アンサンブル演奏など）をお話しを交えて演奏します。また、普段公開していないオーケストラのリハーサル見学会を2回、それを聴くためのレクチャーを1回設けておりますので、コンサートの内容がより深く理解できることとします。ミュージアムシンフォニーホールでは客席からしか見ることの出来ない演奏家たちの演奏を間近で聴いてみませんか。楽団員と共に、音楽を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器① 弦楽五重奏-1	土屋杏子(東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者)、小寺麻由(ヴァイオリン)、鈴木まり奈(ヴィオラ)、寺田達郎(チェロ)、安田修平(東京交響楽団コントラバス奏者)
2	4/24(水)		オーケストラの楽器② 弦楽四重奏	中村楓子(東京交響楽団ヴァイオリン奏者)、鈴木浩司(東京交響楽団ヴァイオリン奏者)多井千洋(東京交響楽団ヴァイオリン奏者)、笠江慶行(東京交響楽団チェロ奏者)
3	5/15(水)	カルッツかわさき	オーケストラの公開リハーサルに向けて	榊原律子(音楽ライター・編集者)
4	5/16(木)		オーケストラの公開リハーサル①	指揮：ジョン・ノット、管弦楽：東京交響楽団
5	5/29(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器③ オーボエ	荒 絵理子(東京交響楽団首席オーボエ奏者)、松岡美絵(ピアノ)
6	6/5(水)	カルッツかわさき	オーケストラの楽器④ ヴァイオリン	土屋杏子(東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者)
7	6/14(金)		オーケストラの公開リハーサル②	指揮：ユーベル・スーダン(東京交響楽団桂冠指揮者)、ピアノ：菊池洋子、管弦楽：東京交響楽団
8	6/26(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器⑤ トランペット	佐藤友紀(東京交響楽団首席トランペット奏者)、大野 真由子(ピアノ)
9	7/10(水)		オーケストラの楽器⑥ フルート&ハーブ	濱崎 麻里子(東京交響楽団フルート&ピッコロ奏者)、景山梨乃(東京交響楽団首席ハーブ奏者)
10	7/24(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器⑦ チェロ	黄原亮司(東京交響楽団チェロ奏者)、水野ゆみ(ピアノ)
11	8/28(水)		オーケストラの楽器⑧ ピアノ	鐵 百合奈(ピアノ)

受講登録者数 157名 (男性 68名 女性 89名) 出席者総数 1,393名

後期

講座 18	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part27			
	【定員】150名	【受講料】2年会員 13,200円	1年会員 14,300円	聴講生 17,600円
概要	川崎市フランチャイズオーケストラである東京交響楽団による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラムをお話しを交えて演奏します。また普段公開していないオーケストラのリハーサル見学会を2回、それを聴くためのレクチャーを1回設けておりますので、コンサートをより深く理解できることとします。東京交響楽団の楽団員と共に、いろいろな音楽を学び、音を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器① 打楽器	新澤義美(東京交響楽団首席打楽器奏者)、武山芳史(東京交響楽団打楽器奏者)、齋藤美絵(打楽器奏者)
2	10/16(水)		オーケストラの楽器② ヴァイオリン	中村楓子(東京交響楽団第1ヴァイオリン奏者)、下田 絵梨花(ピアノ)
3	10/30(水)	ミュージアム シンフォニー ホール	オーケストラの楽器③ コントラバス	安田修平(東京交響楽団コントラバス奏者)、米山 多佳子(ピアノ)
4	11/8(金)		公開リハーサル① ユッセン兄弟(ピアノ)	11/10「名曲全集第151回」 指揮：沼尻竜典のリハーサル
5	11/20(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器⑤ ピアノ五重奏ほか	竹田詩織(東京交響楽団ヴァイオリン奏者)、河堀 あずさ(ヴァイオリン)、福井朗(ヴァイオリン)、福崎 茉莉子(チェロ)、守重結加(ピアノ)
6	11/27(水)		オーケストラの楽器⑥ トリオダンシユとピアノ	荒木奏美(東京交響楽団首席オーボエ奏者)、近藤 千花子(東京交響楽団クラリネット奏者)、依田晃宣(ファゴット)、宇根 美沙恵(ピアノ)
7	12/11(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器⑦ トランペットとピアノ	佐藤友紀(東京交響楽団首席トランペット奏者)、大室晃子(ピアノ)
8	12/18(水)		オーケストラの楽器⑧ ヴァイオリンとピアノ	森岡 ゆりあ(ヴァイオリン)、谷合千文(ピアノ)
9	1/15(水)	ミュージアム 市民交流室	オーケストラの楽器⑨ 無伴奏ヴァイオリン・デュオ	土屋杏子(ヴァイオリン)、河堀 あずさ(ヴァイオリン)
10	1/29(水)		オーケストラの楽器⑩	榊原律子(音楽ライター・編集者)
11	1/30(木)	ミュージアム シンフォニー ホール	公開リハーサル②	指揮：ヘルムート・ライヒェル・シルヴァ、トランペット：エリック・ミヤシロ、ギター：ラファエル・アギーレ

受講登録者数 156名 (男性 68名 女性 88名) 出席者総数 1,410名

前期

WS 6	油絵を描く一技法を基本から学ぶ		※実技が中心。第1回前半のみ講義	
	【定員】25名	【受講料】会員・聴講生ともに 18,360円	【ワークショップ】芸術 【時間】毎回18時00分～20時30分(計10回)	
概要	初心者から経験者も含めて、絵の具や溶き油など、絵画材料について理解しながら、1回ごとの描画プロセスを積み重ねて描き進めていきます。みずからの感性を生かして描きつづけることで、創造する楽しさを発見することとします。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物	絵画材料と用具の説明。木炭素描から始まる描画プロセス。(パワーポイント使用) 1 制作の開始 キャンバスに木炭素描と定着。構図を決定。
2	4/17(水)			2 イエローオーカーなどの土性絵具による下層描き。単色での明暗の観察。
3	4/24(水)			3 有彩色絵具による彩色。積極的に絵具を塗りながら調和を求める。
4	5/15(水)		人物A	1 木炭による下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による陰影。単色で明暗の観察。
5	5/29(水)			2 明部を白色絵具と有彩色絵具を厚塗りし、立体感や空間間を出す。
6	6/5(水)			3 これまでの下層描きに積極的に油絵具を重ね、色彩の観察と調和を試みる。
7	6/12(水)		人物B	1 木炭による下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による陰影。単色で明暗の観察。
8	6/19(水)			2 明部を白色絵具+有彩色絵具を厚塗りし、立体感や空間間を出す。
9	6/26(水)			3 これまでの下層描きに積極的に油絵具を重ね、色彩の観察と調和を試みる。
10	7/10(水)		講評会 自作品について受講生のスピーチと講師の講評	

* 静物画モチーフ、人物画モデル代として、4,000円程度集金。 受講登録者数 24名 (男性 12名 女性 12名) 出席者総数 220名

後期

WS 8	水彩画を描く一技法を基本から学ぶ		※実技が中心。第1回前半のみ講義	
	【定員】25名	【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 18,700円	【ワークショップ】芸術 【時間】毎回18時00分～20時30分(計10回)	
概要	水彩画は「描くこと」の親しみやすい入口です。制作を通して水彩画の基本的な技法と造形的なものの見方を理解し、自らのみずみずしい感性の発見と創造の楽しさを知ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物A	講義および制作 (1) 鉛筆による下素描。絵具によるキアロスクーロ(単色の明暗対比表現)
2	10/16(水)			(2) 固有色の注意深い観察。色調の調和と対比を試みる。
3	10/23(水)		静物B	(1) 鉛筆による下素描。絵具によるキアロスクーロ。空間の表現。
4	10/30(水)			(2) 固有色の観察。自分らしい調和と対比を試みる。
5	11/13(水)		人物A	(1) 鉛筆による下素描(人体の比例 動き 量感) 絵具によるキアロスクーロ(単色で大まかな明暗を施す)
6	11/20(水)			(2) 色彩と形態を観察し、感じたものを簡潔に表す。
7	12/11(水)		人物B	(1) 鉛筆または絵具による下素描。キアロスクーロ。
8	12/18(水)			(2) 色彩と筆致を生かし、自分らしい表現を試みる。
9	1/22(水)		人物C	水彩による速描。筆のタッチで動きやボリュームを的確にとらえる。
10	1/29(水)		講評会 これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評	

静物画モチーフ、人物画モデル代として、4,000円程度集金。 受講登録者数 28名 (男性 15名 女性 13名) 出席者総数 251名

● 2019年度 環境とみどり 講座日程表 ●

前期

講座 19	私たちの暮らしと環境・みどり・防災			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,490円 1年会員 10,570円 聴講生 13,810円 (資料代 850円を含む)			
概要	環境とみどり【時間】毎回10時15分～12時00分(計12回)但し、第6回野外学習(バス利用)は17時頃終了となることがあります。近年、地球温暖化がますます進行する中、大災害も頻発しています。私たちはどのようにして各種環境問題や自然災害を克服して住みよい社会を創り出していかばいいのか。この講座では持続可能な社会の創出に向けて、みどりの課題を中心に、環境学や防災学に関する最新の知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	4/18(木)		IPCC2018 最新報告書が警告する地球温暖化の現状	国立環境研究所地球環境研究センター長 江守正多
3	4/25(木)		都市交通の将来像	東京工業大学准教授 室町泰徳
4	5/16(木)		豊田市の森林政策	東京大学教授 蔵治 光一郎
5	5/23(木)		自然エネルギーは自然に優しいか	国際環境経済研究所 竹内純子
6	6/6(木)	大谷資料館 日光杉並木	★(合同講座)大谷石の採掘の歴史を学び、日光杉並木を歩く	東京大学名誉教授 太田猛彦
7	6/13(木)	川崎市生涯学習プラザ	神奈川県野生鳥獣管理の取り組みについて	神奈川県自然環境保全課技師 松本開地
8	6/20(木)		土-地球最後の謎に挑む	森林総合研究所主任研究員 藤井一至
9	6/27(木)		森林管理の現状-みえ森林アカデミーを開講して	東京大学名誉教授 太田猛彦
10	7/4(木)		山岳保護地域の森林管理の歴史と制度	東京大学教授 蔵治 光一郎
11	7/11(木)		黒潮と親潮	東京大学大気海洋研究所教授 伊藤進一
12	7/18(木)		前期のとりまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦

★は野外学習を実施。 ※第6回は講座とワークショップの合同講座。バス利用で費用を別途 6,000円程集金(バスの手配はオリエンタル観光)。受講登録者数 64名 (男性 39名 女性 25名) 出席者総数 669名

後期

講座 19	私たちの暮らしと環境・みどり・防災			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,650円 1年会員 10,750円 聴講生 14,050円 (資料代 850円を含む)			
概要	環境とみどり【時間】毎回10時15分～12時00分(計12回)ただし、第5回(バス利用)は17時頃終了となることがあります。近年、地球温暖化がますます進行する中、大災害も頻発しています。一方で ESG 投資や SDGs など、新しい取り組みも始まっています。私たちはどのようにして各種環境問題や自然災害を克服して住みよい社会を創り出していかばいいのか。この講座では持続可能な社会の創出に向けて、みどりの課題を中心に、環境学や防災学に関する最新の知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(木)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/17(木)		アジアモンスーンの変動と稲作-大洪水が育てるバングラデシュの農業	首都大学東京教授 松本 淳
3	10/24(木)		害情報の展開と課題	東京大学総合防災情報研究センター長 田中 淳
4	10/31(木)		水源の森林づくりガイドブック	東京大学教授 蔵治 光一郎
5	11/14(木)	静岡県静岡市	★(合同講座)「ふじのくに地球環境史ミュージアム」と東海大学「海洋科学博物館・自然史博物館」の見学	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	11/28(木)	川崎市生涯学習プラザ	100万種が絶滅危惧-生物多様性保全の現状	中央大学教授 鷲谷 いづみ
7	12/5(木)		都市の水循環を考える-墨田区の取り組みから	雨水まちづくりサポート理事 笹川 みちる
8	12/12(木)		SDGsを基礎から学ぶ	東京都市大学教授 佐藤真久
9	12/19(木)		日本林業のいま	森林総合研究所研究ディレクター 宇都木 玄
10	1/23(木)		地下水を巡る法制度	東京大学教授 蔵治 光一郎
11	1/30(木)		1年間の取りまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦
12	2/6(木)		マツ枯れ(マツ材線虫病)の防除	

★は野外学習を実施。 ※第5回は講座とワークショップの合同講座。バス利用で費用を別途 6,000円程集金(バスの手配はオリエンタル観光)。受講登録者数 62名 (男性 38名 女性 24名) 出席者総数 642名

● 2019年度 環境とみどり ワークショップ日程表 ●

前期

WS 7	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ			
	※グループ発表あり			
概要	【定員】40名【受講料】2年・1年会員ともに9,240円 聴講生 10,320円 (資料代 500円、野外学習安全費用 100円を含む) 【ワークショップ】環境とみどり【時間】毎回13時15分～15時15分(計12回)ただし、第1回・第12回および野外学習は16時頃終了。第4,5回(5/9)と第8回(6/6)は午前中スタートとなり、終了は17時頃。わたしたちの身近な、川崎市やその周辺地域で、また日常生活の中から、様々なテーマで持続可能な社会と環境を学習していくワークショップです。今期は、みどり(大都市の森)、材料(木材利用)、住環境(コミュニティ)、縄文よりの自然との共生(民俗学、考古学)等々、多彩な内容を受講生が協力して準備しました。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	4/18(木)	国立科学博物館 附属自然教育園	★大都市の「森」空間を体感する一森に吸い込まれる感覚?一	東京農業大学講師 支倉 千賀子
3	4/25(木)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市内施設の木材利用への普及と効果	川崎市まちづくり局総務部企画課
4,5	5/9(木)	国立歴史民俗博物館	★先史よりの自然との共生を考古学・民俗学・歴史学から学ぶ-①	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	5/16(木)	川崎市生涯学習プラザ	超高層マンションにおける住民意識と居住について	東京都市大学環境学部教授 室田昌子
7	5/23(木)		多摩川改修100周年-多摩川の浄化および洪水の歴史-	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 河川環境課長
8	6/6(木)	大谷資料館 日光杉並木	★(合同講座)大谷石の採掘の歴史を学び、日光杉並木を歩く	東京大学名誉教授 太田猛彦
9	6/13(木)	川崎市生涯学習プラザ	「脱使い捨て」に向けた社会のしくみづくりと「水 Do!」	水 Do ネットワーク 事務局長 瀬川亮子
10	6/20(木)	五反田川放水水路 広報センター	★五反田川放水水路で最新の治水対策を学ぶ	川崎市建設緑政局道路河川整備部 北部都市基盤整備事務所
11	7/4(木)	國學院大学博物館	★先史よりの自然との共生を考古学・民俗学・歴史学から学ぶ-②	國學院大学博物館 芸芸員
12	7/18(木)	川崎市生涯学習プラザ	グループ活動の発表	東京大学名誉教授 太田猛彦

★は野外学習。 ※第8回は講座とワークショップの合同講座。バス費用のため別途 6,000円程集金(バスの手配はオリエンタル観光)。受講登録者数 26名 (男性 15名 女性 11名) 出席者総数 273名

後期

WS 9	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ			
	※野外学習、グループ発表あり			
概要	【定員】40名【受講料】2年・1年会員ともに9,400円 聴講生 10,500円 (資料代 500円、野外学習安全費用 100円を含む) 【ワークショップ】環境とみどり【時間】毎回13時15分～15時15分(計12回)ただし、第1回・第12回および野外学習は16時頃終了。第5回(11/14)と第10・11回(1/16)は午前中スタートとなり、終了は17時頃。わたしたちの身近な、川崎市やその周辺地域で、また日常生活の中から、様々なテーマで持続可能な社会と環境を学習していくワークショップです。今期も、みどり(大都市の庭園・外来植物)、自然を中心とした各地の博物館見学、川崎市の様々な取り組みをはじめとして、多彩な内容を受講生が協力して準備しました。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/17(木)	川崎市生涯学習プラザ	水素社会実現に向けた川崎市の取り組み	川崎市臨海部国際戦略本部臨海部 事業推進部担当課長 間島哲也
3	10/24(木)	新宿御苑	★ アケボノスギとヌズギが生きて来た環境を考える	樹木医 石井誠治
4	10/31(木)	川崎市生涯学習プラザ	災害時の緊急廃棄物処理 ~ 緊急出動の現場から見たこと	川崎市環境局廃棄物政策担当担当課長 山本隆之
5	11/14(木)	静岡県静岡市	★(合同講座)「ふじのくに地球環境史ミュージアム」と東海大学「海洋科学博物館・自然史博物館」の見学	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	11/21(木)	川崎市生涯学習プラザ	鉄道貨物輸送の現状と今後の可能性	日本貨物鉄道株式会社 経営統括本部 人事総務部広報室 市川 寛
7	11/28(木)		身近に見られる外来植物について	多摩丘陵舎 北川淑子
8	12/5(木)	キングスカイフロント	★ 羽田空港と川崎市を結ぶ羽田連絡道路と世界初水素ホテル東急 REI ホテルの見学	川崎市建設緑政局広域道路整備室 羽田連絡道路建設担当
9	12/19(木)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市の SDGs への取り組み	川崎市総務企画局都市政策部 企画調整課 福島 聡
10,11	1/16(木)	神奈川県立歴史博物館 JICA 海外移住資料館	★「神奈川の文化と歴史」と「我が国の国際協力の歴史と現在」を知る	神奈川県立歴史博物館説明員 JICA 海外移住資料館説明員
12	1/30(木)	川崎市生涯学習プラザ	グループ活動の発表	東京大学名誉教授 太田猛彦

★は野外学習。 ※第5回は講座とワークショップの合同講座。バス利用で費用を別途 6,000円程集金(バスの手配はオリエンタル観光)。受講登録者数 20名 (男性 13名 女性 7名) 出席者総数 217名

前期

講座 20	人間学再論——生老病死の思想			
	【定員】72名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円 (資料代は実費徴収)			
人間学		【時間】毎回13時00分~14時30分(計12回)		
概要	われわれは、なにを願い、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのでしょうか。このような問いを、あらためて生老病死の思想という視点からそれぞれの分野の講師にじっくり語ってもらいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	「私か、私も折れまい」——正宗白鳥の臨終帰依	鎌倉女子大学教授 竹内整一
2	4/18(木)		日本の自然信仰から学ぶ①	哲学者 内山 節
3	4/25(木)		日本の自然信仰から学ぶ②	
4	5/16(木)		小津安二郎の世界	専修大学教授 伊吹克巳
5	5/23(木)		老いと死についての考え方——東西の思想史を踏まえて	聖学院大学教授 関根清三
6	6/6(木)		ともに悲嘆を生きる——日本人とグリーフケア	上智大学教授 島園 進
7	6/13(木)		和食の美学	料理家 土井善晴
8	6/20(木)		記憶をケアする——生老病死をつなぐ技法として	国際基督教大学教授 川本隆史
9	6/27(木)		「雷に打たれる前に」——看取り医と行動を共にして	映画監督 伊藤俊也
10	7/4(木)		人生の最終段階の医療について考える	東京大学特任教授 会田薫子
11	7/11(木)		往き生まれる世界——親鸞の浄土観	筑波大学教授 伊藤 益
12	7/18(木)		「あわい」の芸術——陶芸の世界	陶芸家 福本双紅

受講登録者数 91名 (男性 47名 女性 44名) 出席者総数 897名

後期

講座 20	人間学再論——生老病死の思想			
	【定員】100名 【受講料】2年会員8,800円 1年会員9,900円 聴講生13,200円 (資料代は実費徴収)			
人間学		【時間】毎回13時00分~14時30分(計12回)		
概要	われわれは、なにを願い、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのでしょうか。このような問いを、あらためて生老病死の思想という視点からそれぞれの分野の講師にじっくり語ってもらいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	やまと言葉で哲学する①——もてなす・なくさむ・いたはる、他	東京大学名誉教授 竹内整一
2	10/17(木)		やまと言葉で哲学する②——ほほえむ・いのる・さびし、他	
3	10/24(木)		人々は死後に何を感じてきたのか①	哲学者 内山 節
4	10/31(木)		人々は死後に何を感じてきたのか②	
5	11/14(木)		はたらく——言葉と体から考える①	評論家 芹沢俊介
6	11/21(木)		はたらく——言葉と体から考える②	
7	11/28(木)		向田邦子の描く「不道德」な生き方	鎌倉女子大学専任講師 伊藤 由希子
8	12/5(木)		「感動する」を考える	脚本家 相良敦子
9	12/12(木)		人はなぜ手を合わせるのだろうか?	西本願寺総合研究所所長 丘山 新
10	12/19(木)		Jポップ・ヒストリー——フォークからヒップホップまで	音楽評論家 富澤一誠
11	1/23(木)		近代日本の公と私——漱石の作品を通して	京都大学名誉教授 間宮陽介
12	1/30(木)		死生の物語り——小泉八雲・遠野物語など	青山学院大学講師 長谷川 徹

講登録者数 72名 (男性 36名 女性 36名) 出席者総数 716名

前期

WS 8	『説経節』を読む			
	※講義の後に討論あり			
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに12,960円 聴講生14,040円 (資料代は実費徴収)		
【ワークショップ】人間学		【時間】毎回15時00分~17時00分(計12回)		
概要	家族や英雄の流離・漂泊など人間の苦しみを鮮烈に語る説経は、濃厚な情念を放ち、我が国大衆芸能の元祖であります。安寿とつし王の苦難を描く「さんせう太夫」、再生と救済の物語「をぐり」、この二作品の全文を丁寧に読み進め、質疑討論を加え、説経語りの生命に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	説経世界の概観	都留文科大学名誉教授 鳥居明雄
2	4/18(木)		さんせう太夫① 家族の漂泊	
3	4/25(木)		さんせう太夫② 擬父さんせう太夫の深層	
4	5/16(木)		さんせう太夫③ 安寿の犠牲	
5	5/23(木)		さんせう太夫④ つし王の再生	
6	6/6(木)		さんせう太夫⑤ 森鳴外と柳田国男	
7	6/13(木)		をぐり① 小栗の誕生	
8	6/20(木)		をぐり② 小栗と照手の出会い	
9	6/27(木)		をぐり③ 小栗の死	
10	7/4(木)		をぐり④ 小栗と照手の流離	
11	7/11(木)		をぐり⑤ 小栗の再生	
12	7/18(木)		をぐり⑥ 折口信夫の説経論	

受講登録者数 15名 (男性 6名 女性 9名) 出席者総数 158名

後期

WS 10	『平家物語』の人間像			
	※講義の後に討論あり			
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに13,200円 聴講生14,300円 (資料代は実費徴収)		
【ワークショップ】人間学		【時間】毎回15時00分~17時00分(計12回)		
概要	「祇園精舎の鐘の音、諸行無常の響あり」で始まる『平家物語』は、平家一門の全盛から滅亡まで、多彩な人間像の葛藤と運命の物語を律動感あふれる文体で描いた古典の傑作です。1年をかけて全巻を丁寧に読み味わいます(今回は6巻まで)。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	『平家物語』入門 巻第一 平家の栄華① 祇園精舎など	東京大学名誉教授 竹内整一
2	10/17(木)		巻第一 平家の栄華② 清水寺炎上・俊寛の沙汰など	
3	10/24(木)		巻第二 平家打倒の企て① 座主流・大納言流罪など	
4	10/31(木)		巻第二 平家打倒の企て② 堂衆合戦・善光寺炎上など	
5	11/14(木)		巻第三 平家暗雲① 足摺・有王など	
6	11/21(木)		巻第三 平家暗雲② 大臣流罪・法皇被流など	
7	11/28(木)		巻第四 源氏の興隆① 敵島御幸・競など	
8	12/5(木)		巻第四 源氏の興隆② 橋合戦・三井寺炎上など	
9	12/12(木)		巻第五 源平合戦① 都遷・物怪の沙汰など	
10	12/19(木)		巻第五 源平合戦② 富士川・奈良炎上など	
11	1/23(木)		巻第六 義仲挙兵・清盛の死① 新院崩御・小督など	
12	1/30(木)		巻第六 義仲挙兵・清盛の死② 入道死去・横田河原合戦など	

参考テキスト: 新編 日本古典文学全集 45・平家物語 (1)

受講登録者数 31名 (男性 17名 女性 14名) 出席者総数 333名

前期

講座 21	モーツァルトの傑作室内楽を映像で楽しむ				
	【定員】300名 【受講料】2年会員 10,070円 1年会員 11,150円 聴講生 14,390円 (資料代 350円を含む)				
音楽 I		【時間】 毎回 10時40分～12時10分 (計12回)			
概要	前年度はモーツァルトの協奏曲と交響曲の世界を主に年代順に渉猟してみました。今度は彼の傑作ぞろいの室内楽(ピアノ独奏曲を除く)の世界をまた別のかたちで、今度もまたできるかぎり映像で、それが無い場合には歴史的な録音盤のCDを含めてお楽しみいただきます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/4(木)	新百合 21 ビル B2 多目的 ホール	軽やかなセレナードからの変身(ザルツブルク期)	日本モーツァルト研究所 所長 海老澤 敏	
2	4/11(木)		<冗談音楽>と<アイネ・クライネナハトムジーク>		
3	4/18(木)		古典派室内楽の典型としての弦楽四重奏曲の誕生		
4	5/9(木)		古典派室内楽の模範としての弦楽四重奏曲の完成<ハイドン・セット>		
5	5/16(木)		そして晩年の四重奏曲作家としてのモーツァルト		
6	5/23(木)		その他の編成の室内楽曲に耳を傾ける		
7	5/30(木)		ヴァイオリン・ソナタの世界 ①ザルツブルク期		
8	6/13(木)		ヴァイオリン・ソナタの世界 ②ウィーン期		
9	6/20(木)		ピアノ三重奏曲の楽しみ(他の三重奏曲も含む)		
10	7/11(木)		室内楽を実演で楽しむ *1 曲目: 弦楽四重奏曲 ト長調 K.80 より第1楽章 弦楽四重奏曲 変ロ長調 ((ハイドン四重奏曲)第4番「狩」) K.458 弦楽四重奏曲 二長調 ((プロイセン王四重奏曲)第1番) K.575 演奏者: ヴァイオリン:植村理葉、小林玉紀 ヴィオラ:武生直子 チェロ:渡邊辰紀 お話:海老澤 敏		
11	7/18(木)		晩年のモーツァルトの室内楽曲を聴く		
12	7/25(木)		クラリネット五重奏曲で聴きおさめ		

*1-有料公開コンサート。資料代として1,500円集金。 受講登録者数 116名 (男性 70名 女性 46名) 出席者総数 1,156名

後期

講座 21	モーツァルトのピアノ曲を楽しむ				
	【定員】300名 【受講料】2年会員 10,250円 1年会員 11,350円 聴講生 14,650円 (資料代 350円を含む)				
音楽 I		【時間】 毎回 10時40分～12時10分 (計12回)			
概要	モーツァルトのピアノ(当時の言葉ではチェンバロ、クラヴィコード、そしてフォルテピアノ等複数の楽器でした)のための作品はとりわけ多様で古いバロック時代の名残から19世紀を先取りするほど新しい響きをひびかせます。そのすべてをお話しいたしましょう。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/26(木)	新百合 21 ビル B2 多目的 ホール	プレリュード :モーツァルトが弾いたクラヴィア楽器とその音楽の多様性をまず知ろう	日本モーツァルト研究所 所長 海老澤 敏	
2	10/3(木)		ザルツブルク時代のソナタの名品を聴こう		
3	10/17(木)		マンハイム・パリ旅行で先人たちに追いつき、超える		
4	10/24(木)		ウィーン時代のフォルテピアノで新しい響きの世界を開拓する		
5	11/14(木)		ウィーン時代のピアノ曲様々(多様なジャンル)		
6	11/21(木)		2台のピアノ、そして連弾の曲も沢山		
7	11/28(木)		ピアノ変奏曲いろいろ(その1)		
8	12/12(木)		ピアノ変奏曲いろいろ(その2)		
9	12/19(木)		各種鍵盤楽器の小品を楽しむ		
10	1/23(木)		モーツァルト、北方ドイツの各地にて		
11	1/30(木)		コンサート:モーツァルトのクラヴィア曲を現代ピアノで楽しむ *1 曲目: ソナタ イ短調 K.310(300d) / サルティのオペラ《他人のけんかで得を掬う》のミンゴーネのアリア (仔羊のごとく)による8つの変奏曲 イ長調 K.460(454a) / ロンド イ短調 K.511/ 四手のためのソナタ 変ロ長調 K.358(186c) 演奏者: ピアノ:小川京子, ピアノ:今道 まさみ お話:海老澤 敏		
12	2/6(木)		コーダにひとこと		

*1-有料公開コンサート。資料代として1,500円集金。 受講登録者数 125名 (男性 63名 女性 62名) 出席者総数 1,193名

前期

講座 22	音楽鑑賞をめぐる12の小話。			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 8,790円 1年会員 9,870円 聴講生 13,110円 (資料代 150円を含む)			
音楽 II		【時間】 毎回 13時30分～15時00分 (計12回)		
概要	コンサートホールやオペラハウスに出掛けて行くと、長年の間に積み重ねられた様々な決まり事や、聴衆に求められるマナーなどがあつたりする。そうした慣習の由来を吟味しながら、音楽文化の変遷を辿り、音楽鑑賞の場の在り方を、改めて見直してみたいと思う。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/4(木)	新百合 21 ビル B2 多目的 ホール	公開コンサートの誕生。19世紀における市民社会の成立。	音楽評論家 丹羽正明
2	4/11(木)		オーケストラの話。コンサートマスター。指揮者。舞台上の楽器配列法さまざま。	
3	4/18(木)		演奏家のステージ衣装。燕尾服は宮廷楽師の制服だった。	
4	5/9(木)		オペラの話。16世紀末の誕生。1600年10月6日。ギリシア悲劇の復興を画策。	
5	5/16(木)		多目的ホールと音楽専用ホール。戦後復興期の文化会館、市民会館の建設。	
6	5/23(木)		コンサートホールとオペラハウス。構造。音響条件。	
7	5/30(木)		残響2秒。ホール音響の話。	
8	6/13(木)		ステージの上手(カミテ)と下手(シモテ)。演奏は上手(じょうず)か下手(へた)か。	
9	6/20(木)		客席の照明。日本では演奏中に何故暗くするのか? 明るいままではいけないのか?	
10	7/11(木)		音楽用語はイタリア語。芸術音楽の先進国イタリア。音楽家の業界用語。隠語。	
11	7/18(木)		名演奏家の思い出。A. ルービンシュタインの来日。	
12	7/25(木)		音楽批評の話。私(丹羽)は音楽批評家にならなかった。	

受講登録者数 93名 (男性 59名 女性 34名) 出席者総数 921名

後期

講座 22	世界音楽の今昔を楽しむ一人は音楽に何を託すのか			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 10,600円 1年会員 11,700円 聴講生 15,000円 (資料代 150円を含む)			
音楽 II		【時間】 毎回 14時00分～15時30分 (計12回)		
概要	地域、時代を問わず人の生活を彩ってきた音楽。ある民族、技術の発達、環境との関わり、声の持つ無限の可能性、都市が育む音楽文化という複数の側面から人が音楽に託してきたものを探ります。伝統音楽のユニークな活動を繰り広げる演奏家の実演も交えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(木)	新百合 21 ビル B2 多目的 ホール	華僑の芸能を知る① 日本のチャイナタウン3題	国立音楽大学教授 横井雅子
2	10/3(木)		華僑の芸能を知る② 芸能と音楽で繋がる華人たち	
3	10/17(木)		楽譜のない古典音楽、インド音楽ラーガの世界 【ゲスト】寺原太郎(パーンスリー)他 **1	
4	10/24(木)		音楽と技術① 自動演奏楽器の魅力的な世界	
5	11/14(木)		音楽と技術② 電気的な楽器の始まりと広がり	
6	11/21(木)		音楽と技術③ 映像と音の不可分な世界	
7	11/28(木)		自然を表象する音楽	
8	12/12(木)		声・言葉・歌 声の豊穡な世界を旅する	
9	12/19(木)		津軽三味線の現在を聴く 【ゲスト】輝&輝 **2	
10	1/23(木)		中欧の都市と音楽① クラクフ	
11	1/30(木)		中欧の都市と音楽② プラハ	
12	2/6(木)		中欧の都市と音楽③ ブダペスト	

**1 **2 -有料公開コンサート。資料代として1,000円集金。

受講登録者数 63名 (男性 35名 女性 28名) 出席者総数 632名

前期

WS 9	『平家物語』と浄瑠璃・歌舞伎			
	【定員】44名 【受講料】2年・1年会員 13,260円 聴講生 14,340円 (資料代300円を含む)			
	【ワークショップ】音楽・芸能 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	昨年2018年は平清盛(1118～81)の生誕900年に当たりました。清盛一門の栄枯盛衰をテーマとした『平家物語』は不朽の古典名作品の地位を得ています。また『平家物語』は能・浄瑠璃・歌舞伎等の題材ともなっています。今回は1年遅れではありますが、『平家物語』を題材とする浄瑠璃・歌舞伎作品の講読・鑑賞から、近世演劇『平家物語』にどのようなアプローチを試みたかを探ってみようと考えています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	麻生市民館視聴覚室	『壇浦兜軍記』阿古屋琴責	白百合女子大学講師 安富 順
2	4/25(木)	麻生市民館第1会議室	『ひらかな盛衰記』(1) 源太勘当	
3	5/16(木)	麻生市民館視聴覚室	『平家物語』と舞踊(1)	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ
4	5/23(木)	麻生市民館第1会議室	『平家物語』と舞踊(2)	
5	5/30(木)		『ひらかな盛衰記』(2) 逆櫓	早稲田大学講師 原田真澄
6	6/6(木)		『ひらかな盛衰記』(3) 神崎揚屋	
7	6/13(木)	麻生市民館視聴覚室	『平家物語』と義太夫節人形浄瑠璃	国立国会図書館職員 伊藤りさ
8	6/20(木)	国立劇場	国立劇場歌舞伎鑑賞教室	白百合女子大学講師 安富 順
9	6/27(木)	麻生市民館第1会議室	『源平布引滝』実盛物語	歌舞伎研究家 大倉直人
10	7/4(木)		『一谷嫩軍記』(1) 陣門・組討	
11	7/25(木)	麻生市民館視聴覚室	『一谷嫩軍記』(2) 熊谷陣屋	
12	8/1(木)		文楽への誘い	武蔵野美術大学講師 小島智章

受講登録者数 44名 (男性 7名 女性 37名) 出席者総数 427名

後期

WS 11	昭和の思い出の名優 その2 - 2代目尾上松緑			
	【定員】44名 【受講料】2年・1年会員ともに13,500円 聴講生 14,600円 (資料代300円を含む)			
	【ワークショップ】音楽・芸能 【時間】13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	『思い出の名優シリーズ』第2回目は、2代目尾上松緑(1913～89)を取り上げます。松緑は7代目松本幸四郎を父に、長兄11代目川團十郎、次兄8代目松本幸四郎という役者一家に生まれました。青年期は6代目尾上菊五郎の薫陶を受け、時代物・世話物、舞踊、さらに現代演劇に優れた舞台を残しました。また舞踊家元藤間勘右衛門としても活躍し、日本舞踊界の発展に努めました。今期は松緑の世界を通して、戦後歌舞伎史・舞踊史を俯瞰したいと考えています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(木)	麻生市民館第1会議室	2代目松緑—その父と二人の兄	白百合女子大学講師 安富 順
2	10/10(木)	麻生市民館視聴覚室	初代尾上松緑と江戸歌舞伎	武蔵野大学講師 鶴飼伴子
3	10/24(木)	麻生市民館第1会議室	松緑の時代物(1)	白百合女子大学講師 安富 順
4	10/31(木)		松緑の時代物(2)	
5	11/14(木)	麻生市民館視聴覚室	松緑の世話物(1)	歌舞伎研究家 大倉直人
6	11/21(木)		松緑の世話物(2)	
7	11/28(木)	麻生市民館第1会議室	舞台の裏表から見た2代目松緑(1)	明治大学教授 神山 彰
8	12/5(木)		松緑の踊り	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ
9	12/12(木)	麻生市民館視聴覚室	舞踊家元4代目藤間勘右衛門の軌跡	明治大学教授 神山 彰
10	1/23(木)	麻生市民館第1会議室	舞台の裏表から見た2代目松緑(2)	
11	1/30(木)		文楽への誘い	
12	2/13(木)	麻生市民館視聴覚室	2代目松緑の映画	白百合女子大学講師 安富 順

受講登録者数 38名 (男性 3名 女性 35名) 出席者総数 387名

前期

講座 23	現代経済学—日本の現状を理解し、将来を展望するために			
	【定員】50名 【受講料】2年会員 4,520円 1年会員 5,060円 聴講生 6,680円 (資料代200円を含む。)			
	宮前(経済) 【時間】毎回14時00分～15時30分 (計6回)			
概要	本講座では、アベノミクスの下にある日本経済をマクロ経済学を使って理解し、次いで、産業や企業の新陳代謝とそれを引き起こすイノベーションについて考察します。最後に、宇沢弘文の提唱した社会的共通資本の考え方に基いて、地球環境問題・教育・都市について考えてみます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	宮前市民館 第4会議室	日本経済をデータとマクロ経済学を使って理解します	法政大学名誉教授 柳沼 壽
2	4/18(木)		アベノミクスにおける「三本の矢」の効果を考えます	
3	5/9(木)		日本の産業転換と企業の新陳代謝を追いかけます	
4	5/16(木)		イノベーションとその背景にある起業家精神を論じます	
5	5/30(木)		経済活動の大前提となる地球環境問題を取り上げます	
6	6/13(木)		教育と都市について社会的共通資本の観点から考えます	

受講登録者数 30名 (男性 24名 女性 6名) 出席者総数 146名

後期

講座 23	現代経済学—より良き社会に向けて			
	【定員】50名 【受講料】2年会員 4,600円 1年会員 5,150円 聴講生 6,800円 (資料代200円を含む)			
	宮前 【時間】毎回14時00分～15時30分 (計6回)			
概要	本講座では、日本の人口減少や経済の長期停滞と、その過程における格差問題やエネルギー問題について議論します。そして、将来の脱炭素社会に向けた行動や制度の在り方を考えてみます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(木)	宮前市民館 第4会議室	データに基づいて、人口減少と日本経済の長期的傾向を整理します。	法政大学名誉教授 柳沼 壽
2	10/17(木)		先進国共通の低成長経済について考えます。	
3	10/31(木)		近年関心を持っている日本の格差問題について考えます。	
4	11/7(木)		脱炭素社会に向けたエネルギー問題を取り上げます。	
5	11/28(木)		森林・河川を社会的共通資本の視点から考えてみます。	
6	12/5(木)		将来の脱炭素社会に向けて行動や制度の在り方を議論します。	

受講登録者数 19名 (男性 15名 女性 4名) 出席者総数 100名

前期

講座 24	メキシコ史—多様性の光と影、対米関係の苦悩			
	【定員】144名 【受講料】2年会員9,390円 1年会員10,470円 聴講生13,710円 (資料代750円を含む)			
世界史		【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)		
概要	メキシコは自然環境・民族・文化にみられる多様性が見事に共存した、世界でも数少ない近代国家であります。マヤ・アステカなど独自の古代文明を繁栄させたのちにヨーロッパ世界に征服されて現在の姿に至った歴史をご紹介します。予定です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(金)	川崎市生涯学習プラザ	メキシコ史への招待	中央大学名誉教授 国本伊代
2	4/19(金)		メソアメリカ古代文明とその崩壊—スペインによる征服	専修大学教授 井上幸孝
3	4/26(金)		二つの文明の出会いと結果	元大阪経済大学教授 桜井 三枝子
4	5/17(金)		スペイン統治 300年が作り上げたもの	中央大学名誉教授 国本伊代
5	5/24(金)		キリスト教布教の実態	元大阪経済大学教授 桜井 三枝子
6	6/7(金)		メキシコの独立と欧米による侵略	中央大学名誉教授 国本伊代
7	6/14(金)		19世紀後半のメキシコにおける経済発展と近代化	
8	6/21(金)		メキシコ大革命—その展開とその理想(1910～1940年)	
9	6/28(金)		一党支配体制の時代(1940年代～20世紀)	上智大学教授 岸川 毅
10	7/5(金)		民主化と多党政治の時代(21世紀)	東京経済大学教授 丸谷 雄一郎
11	7/12(金)		高度経済成長と経済破綻(第2次世界大戦から20世紀末)	
12	7/19(金)		なぜメキシコは「先進国」になれないのか(NAFTA, 移民問題、格差社会)	

受講登録者数 94名 (男性 72名 女性 22名) 出席者総数 973名

後期

講座 24	ドイツ現代史100年、1919～2019—動乱の震源地から安定の根拠地へ?			
	【定員】144名 【受講料】2年会員9,550円 1年会員10,650円 聴講生13,950円 (資料代750円を含む)			
世界史		【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)		
概要	今から100年前のドイツでは、第一次大戦の敗戦と革命の混乱の中から、民主制憲法を備えた共和国(通称ワイマール共和国)が誕生した。それから約半世紀の間、民主政の崩壊とナチス独裁、第二次大戦から東西冷戦の最前線へと、ドイツの国内情勢は、幾多の危機と激しい暴力に彩られ、対外的にも緊張と動乱をもたらした。しかし、1960年代から現在に至る約半世紀間の基調は、安定と繁栄であるように見える。ドイツ再統一という大変革ですら、流血なしに達成された。この対照性は、何に由来するのだろうか?ドイツは「生まれ変わった」のだろうか?この講義は、国内政治の展開を中心に据え、その時々国民意識や国際環境にも目配りしながら、波乱に富んだ100年間の歴史を辿る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	第一次大戦と革命—帝制の特徴、戦争目標、戦時の国民、ドイツ革命勃発	神奈川大学名誉教授 山田 徹
2	10/18(金)		ワイマール共和国の成立とその試練	
3	10/25(金)		ワイマール共和国の崩壊とナチスの権力掌握	東京女子大学名誉教授 芝 健介
4	11/1(金)		ナチズム体制の実態—国民はなぜ、どこまで支持したか	
5	11/15(金)		民主主義の新生とその展開—西ドイツの政治	東京大学教授 平島健司
6	11/22(金)		西ドイツ外交の変化と「過去の克服」	東京大学教授 石川健治
7	11/29(金)		ドイツの憲法を考える	
8	12/6(金)		「東ドイツ」という国の歴史	神奈川大学名誉教授 山田 徹
9	12/13(金)		ドイツ再統一の過程をふり返る	
10	12/20(金)		再統一後のドイツの歩み—政治はどう変わったか、「一つの国民」は生まれたか	
11	1/24(金)		欧州統合の深化と「危機」—ドイツの役割	津田塾大学教授 網谷龍介
12	1/31(金)		総括—ドイツの現状、ドイツ百年の歴史から何を学ぶか	神奈川大学名誉教授 山田 徹

受講登録者数 108名 (男性 79名 女性 29名) 出席者総数 1,083名

前期

講座 25	みどり学Ⅱ—木や草が生活とつながる面白さを極める				
	【定員】72名 【受講料】2年会員9,740円 1年会員10,820円 聴講生14,060円 (資料代200円、野外学習安全費用900円を含む)				
みどり学Ⅱ		【時間】講義:10時30分～12時00分、野外:10時30分～14時30分、5/17,5/24は8時00分～18時00分予定(計12回)			
概要	みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	4/12(金)	こどもの国	これもサクラ!あれもサクラ?品種のサクラ、変り者のサクラ見比べ。	B班実施・A班休み	森林インストラクター 武部 令
	4/19(金)			A班実施・B班休み	
3	4/26(金)	川崎市生涯学習プラザ	アメリカのみどり事情～バタフライガーデンと17年ゼミ～	A・B班実施	千葉大学准教授 野村昌史
4,5	5/17(金)	赤城自然園	森を彩るシャクナゲの競演赤城自然園(バス利用)	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	5/24(金)			B班実施・A班休み	
6	6/7(金)	川崎市生涯学習プラザ	神代ザクラと田木、畑木の過去・現在・未来	A・B班実施	日本花の会主幹研究員 和田博幸
7	6/14(金)	川崎市生涯学習プラザ	彩雪の不思議:雪を赤や緑に染める小さな植物	A・B班実施	千葉大学教授 竹内 望
8,9	6/21(金)	神代植物公園	植物多様性センターや水性植物園も楽しむ都立神代植物公園	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	6/28(金)			A班実施・B班休み	
10	7/5(金)	川崎市生涯学習プラザ	新しい植物の分類と、DNAからわかる植物の進化	A・B班実施	横浜国立大学准教授 倉田薫子
11	7/12(金)	川崎市生涯学習プラザ	唱歌「故郷」の生態学	A・B班実施	元麻布大学教授 高槻成紀
12	7/19(金)	川崎市生涯学習プラザ	ニュージーランドの自然～その特色とみどころ～	A・B班実施	宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講。※4/5(金)10時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

※第4,5回5/17,5/24は、バス借上げ代等が別途7,000円程集金。バスの手配は、富士急トラベルに依頼。

受講登録者数 69名 (男性 28名 女性 41名) 出席者総数 689名

後期

講座 25	みどり学Ⅱ—木や草が生活とつながる面白さを極める					
	【定員】72名 【受講料】2年会員9,900円 1年会員11,000円 聴講生14,300円 (資料代200円、野外学習安全費用900円を含む)					
みどり学Ⅱ		【時間】講義:10時30分～12時00分、野外:10時30分～14時30分、1/31,2/7は8時00分～18時00分予定(計12回)				
概要	みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)	
1,2	10/11(金)	俣野別邸と新林公園	箱根駅伝で名前が出る、遊行寺境内に樹齢600年のオスのイチヨウがあります その木の一枝にギンナンが実りました。途中下車してその秘密に迫ります	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治	
	10/18(金)			B班実施・A班休み		
3	10/25(金)	川崎市生涯学習プラザ	植物はいつ陸上に上がり、どのような進化を上げたか	A・B班実施	(公社)日本植物友の会副会長 山田隆彦	
4	11/1(金)		サクラの野生種クマザクラの発見と保全の取り組み	A・B班実施	森林総合研究所 勝木俊雄	
5	11/15(金)		明治神宮の杜の生い立ちと秘話「100年先を見据えた明治神宮の杜の造営」	A・B班実施	博士(生物環境調節学) 濱野周泰	
6	11/22(金)		ヨーロッパの自然と森	A・B班実施	東京農工大学名誉教授 福嶋 司	
7	11/29(金)		植物はなぜ葉を作るのか	A・B班実施	千葉大学教授 齊藤和季	
8	12/6(金)		ツバキの隆盛に人の影あり～なぜ日本人はツバキが好きなのか～	A・B班実施	森林インストラクター 武部 令	
9,10	12/13(金)		明治神宮	2020年に創建100年を迎える明治神宮と人が造った杜 世界に誇れる明治神宮の杜を散策しながら検証してみよう	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	12/20(金)				A班実施・B班休み	
11,12	1/31(金)	千葉県千倉(バス利用)	房総半島の先端で、早春に草花作りが盛んになった人の営みをたどります 氷河期が終わり、花作りができる環境を整えた地形と地震の爪痕もたどります	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治	
	2/7(金)			A班実施・B班休み		

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講。※9/27(金)10時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

※第11,12回1/31,2/7は、バス借上げ代等を別途7,000円程集金。バスの手配は、富士急トラベルに依頼。

受講登録者数 69名 (男性 29名 女性 40名) 出席者総数 677名

前期

講座 26	山の自然学			
	【定員】30名 【受講料】2年会員9,590円 1年会員10,670円 聴講生13,910円 (資料代200円、野外学習安全費用750円を含む)			
山の自然学		【時間】講義：13時00分～14時30分 野外：10時30分～14時30分予定、ただし5/24は8～18時予定(計12回)		
概要	植物はなぜそこにあるのか。これが講座『山の自然学』基本テーマである。そのためには植物の分布を地形・地質や水条件、自然史などから多面的に考察する必要がある。今回は、山の自然学の基本について引き続き体系的に紹介するほか、できるだけ野外にて地生態学的な視点から考察していきたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1,2	4/12(金)	神奈川県相模原市	相模原市・鶴野森付近の地形・地質と植物の観察	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
3	4/26(金)	川崎市生涯学習プラザ	地生態学の考え方2	
4,5	5/24(金)	山梨県河口湖町・鳴沢村	富士山・青木ヶ原樹海と風穴・氷穴を訪ねる(バス利用)	
6	6/7(金)	川崎市生涯学習プラザ	地生態学の考え方3	
7	6/14(金)	川崎市生涯学習プラザ	地生態学の考え方4	
8,9	6/21(金)	埼玉県和光市	和光市白子湧水群を訪ねる	
10	7/5(金)	川崎市生涯学習プラザ	日本の生物多様性保全をめぐる最近の話題	(株)地域環境計画 増澤 直
11	7/12(金)		日本アルプスの地生態学1	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
12	7/19(金)		日本アルプスの地生態学2	

※学習内容は長年みどり学を受講した方に向け。※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 ※4/5(金)の11時30分より小一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第4,5回5/24(金)は、バス借上げ代等が別途8,000円程集金。(バスの手配は富士急トラベルに依頼) 受講登録者数 31名 (男性12名 女性19名) 出席者総数 320名

後期

講座 26	山の自然学			
	【定員】30名 【受講料】2年会員9,750円 1年会員10,850円 聴講生14,150円 (資料代200円、野外学習安全費用750円を含む)			
山の自然学		【時間】講義：13時00分～14時30分 野外：10時30分～14時30分予定、ただし12/13は8～18時予定(計12回)		
概要	植物はなぜそこにあるのか。これが講座『山の自然学』基本テーマである。そのためには植物の分布を地形・地質や水条件、自然史などから多面的に考察する必要がある。今回は、山の自然学の基本について引き続き体系的に紹介するほか、できるだけ野外にて地生態学的な視点から考察していきたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/25(金)	川崎市生涯学習プラザ	北海道の地生態学1	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
2	11/1(金)		北海道の地生態学2	
3,4	11/8(金)	東京都青梅市	御岳山に登る	
5	11/15(金)	川崎市生涯学習プラザ	東北地方の地生態学1	
6	11/29(金)		東北地方の地生態学2	
7	12/6(金)		関東地方の地生態学	
8,9	12/13(金)	東京都千代田区～中央区	東京駅から佃島まで歩き、江戸時代の名残を探る	
10,11	1/17(金)	埼玉県秩父市	秩父ジオパークを訪ねる(バス利用)	
12	1/31(金)	川崎市生涯学習プラザ	まとめ	

※学習内容は長年みどり学を受講した方に向け。※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 ※9/27(金)の11時30分より小一時間程度オリエンテーション((野外学習についての連絡および野外学習を安全に運営するための費用の集金等)を実施。※第10,11回の1/17(金)は、バス借上げ代等が別途8,000円程集金(バスの手配は富士急トラベルに依頼)。

受講登録者数 35名 (男性11名 女性24名) 出席者総数 341名

前期

講座 27	現代アートほど面白いものはない			
	【定員】300名 【受講料】2年会員8,640円 1年会員9,720円 聴講生12,960円 (資料代は実費徴収)			
美術Ⅱ		【時間】毎回10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	現代アートは決して訳の分からないものではありません。20世紀美術の歴史展開をたどりながら、何を表現しようとして、どんな表現を試みたのかを詳しく解説していきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/5(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	物の概念を捉え直す：コンセプチュアルアート	武蔵野美術大学・東京造形大学講師 松井勝正
2	4/12(金)		色彩を自由に使う：アンリ・マティス	武蔵野美術大学教授 田中正之
3	5/10(金)		新しい表現の探求：パブロ・ピカソ	
4	5/17(金)		写実的描写を超えて：キュビズム	
5	5/24(金)		現代社会の未来を表す：イタリア未来派	
6	5/31(金)		芸術をぶち壊せ：ダダの登場と展開	
7	6/14(金)		無意識の世界の探求：シュルレアリスム	
8	6/21(金)		パリに集った外国人芸術家たち：エコール・ド・パリ	
9	6/28(金)		絵画の新しい描き方：ジャクソン・ポロックと抽象表現主義	
10	7/12(金)		もう一度芸術をぶち壊せ：ラウシェンバーグとジョーンズ	
11	7/19(金)		現代の生活を芸術に：アンディ・ウォーホルとポップ・アート	
12	7/26(金)		前衛芸術の行方：パブリックアートと社会関与型アート	武蔵野美術大学・東京造形大学講師 松井勝正

受講登録者数 158名 (男性53名 女性105名) 出席者総数 1,660名

後期

講座 27	イタリア・ルネサンス美術の「奇想の系譜」- マニエリスムを楽しもう			
	【定員】300名 【受講料】2年会員8,800円 1年会員9,900円 聴講生13,200円 (資料代は実費徴収)			
美術Ⅱ		【時間】毎回10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	日本美術の世界では「奇想の系譜」が人気を集めています。この「奇想」は本来、イタリア・ルネサンス期のマニエリスムに端を発します。当時はまた、宗教改革に代表されるように、新たな時代へと世界が変貌を開始する不安定なものでありました。それに芸術家たちはどのように対応したのでしょうか。今回は日本美術に劣らぬその怪しい世界を、是非ご堪能ください。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/27(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	マニエリスム前夜：ミケランジェロとその時代	多摩美術大学教授 諸川春樹
2	10/4(金)		ピエロ・ディ・コジモ：原始にもどった芸術家	
3	10/11(金)		ジュリオ・ロマーノ：ラファエッロの威光の影	
4	10/18(金)		ボントルモ：憂鬱な時代に憂鬱な芸術家	
5	10/25(金)		バルミジャニーノ：ひたすら神秘を求めて	
6	11/1(金)		ブロンズイーノ：君主に奉仕するマニエリスト	
7	11/15(金)		ロッソ・フィレンティナーノ：フランスに流出した才能	
8	11/22(金)		ヴァザーリ：宮廷芸術家の戦略	
9	11/29(金)		チェッリーニとジャンボローニャ：彫刻のマニエリスム	
10	12/13(金)		ティントレット：バロック時代の先駆者	
11	1/17(金)		エル・グレコ：マニエリスムの光と影	
12	1/24(金)		アルチンボルド：宮廷の幻想絵画(まとめをかねて)	

受講登録者数 194名 (男性56名 女性138名) 出席者総数 2,016名

前期

WS 10	パリとウィーンの世紀末モダニズム			
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに12,960円 聴講生14,040円 (資料代は実費徴収)			
	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	フランスの詩人ボードレールは、芸術は現代生活を描くべきだと「モダニズム」を主張しました。ここからクールベのリアリズムや印象派が生まれてきます。一方、目の前の光景でなく心の内面を重視する象徴派の画家たちも現れます。こうした新しい芸術動向には、ジャポニスムも大いに関わっていました。4月にクリムトや世紀末ウィーンの展覧会が予定されています。この機会に19世紀から20世紀にかけての芸術動向を、パリとウィーンを中心に紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/5(金)	新百合21ビルB2第2会議室	モダニズムとジャポニスム (ボードレール、クールベ、マネ)	元帝京平成大学教授 隠岐 由紀子
2	4/12(金)		マネの周りに集う若手画家たち (ドガ、ルノワール、モネなど)	
3	5/10(金)		全8回の印象派展 (パリの浮世絵師たち)	
4	5/17(金)		女流画家の活躍 (メアリ・カサットとベルト・モリゾー)	
5	5/24(金)		目の光景より、心の内側にあるもの (モロー、ルドン)	
6	5/31(金)		世紀末象徴派の画家たち (バラ十字展活動など)	
7	6/14(金)		1900年パリ万国博覧会の壮観 (アール・ヌーヴォー、女芸人たち)	
8	6/21(金)		1900年パリ万博でグランプリ: グスタフ・クリムト (大学壁画問題)	
9	6/28(金)		クリムトが描きたかったもの	
10	7/12(金)		世紀末ウィーン(分離派とクンストハウス)	
11	7/19(金)		エゴン・シーレの求めたもの	
12	7/26(金)		まとめ、意見交換 (最も心がふるえた作品は?)	

受講登録者数 45名 (男性 14名 女性 31名) 出席者総数 465名

後期

WS 12	ロマネスクの美術と建築—教会堂を「読む」方法—			
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員13,200円 聴講生14,300円 (資料代は実費徴収)			
	【ワークショップ】美術 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	ロマネスクの教会は、建築と絵画、彫刻が一体となった総合芸術です。本講座ではキリスト教図像学と建築図像学、二つの方法論に基づき、中世ヨーロッパの聖なる空間を読み解きます。90分の写真鑑賞・講義に加え、30分のディスカッションを予定しています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/27(金)	新百合21ビルB2第2会議室	1-1 方法論Ⅰ: キリスト教図像学—「洗礼者聖ヨハネ」の図像—	玉川大学教授 小倉康之
2	10/4(金)		1-2 方法論Ⅱ: 建築図像学—エルサレムの聖墳墓教会とロマネスクの複製建築—	
3	10/11(金)		1-3 方法論Ⅲ: 絵画と建築の図像学—ヴァチカンのサン・ピエトロ旧聖堂と壁画—	
4	10/18(金)		2-1 建築篇Ⅰ: イタリア (ロンバルディア)—ロマネスク建築の起源について—	
5	10/25(金)		2-2 建築篇Ⅱ: ドイツ (ラインラント)—神聖ローマ帝国と大聖堂—	
6	11/1(金)		2-3 建築篇Ⅲ: スペイン (カタルーニャ)—建築装飾とロマネスク様式の変遷—	
7	11/15(金)		2-4 建築篇Ⅳ: フランス (ブルゴーニュ)—クリュニーとシトー派の修道院—	
8	11/22(金)		3-1 絵画・彫刻篇Ⅰ: ロマネスクの写本芸術	
9	11/29(金)		3-2 絵画・彫刻篇Ⅱ: ロマネスク壁画の主題—栄光のキリスト—	
10	12/13(金)		3-3 絵画・彫刻篇Ⅲ: 修道院の回廊と柱頭彫刻について	
11	1/17(金)		3-4 絵画・彫刻篇Ⅳ: ロマネスクの彫刻—ゴシック、ルネサンスとの比較—	
12	1/24(金)		4 まとめ: ロマネスクからゴシックへ—総合芸術としての教会堂—	

受講登録者数 45名 (男性 13名 女性 32名) 出席者総数 485名

前期

講座 28	飛鳥・白鳳・天平の文化			
	【定員】300名 【受講料】2年会員9,390円 1年会員10,470円 聴講生13,710円 (資料代750円を含む)			
	エクセレントⅡ 【時間】毎回13時30分～15時00分 (計12回)			
概要	古代の中国大陸の隋・唐や朝鮮半島の高句麗・百濟・新羅からもたらされた文物を糧(かて)に日本古代の人々がどのように飛鳥・白鳳・天平の文化を創造し、古代国家を形成したかを考えます。そして、奈良の寺々をめぐる楽しさを発見するための講座でもあります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/5(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	プロローグ: 飛鳥・白鳳・天平の文化を考える	筑波大学名誉教授 根本誠二
2	4/12(金)		風土記の世界と仏教文化	東京医療保健大学教授 三舟隆之
3	5/10(金)		蘇我氏と仏教伝来	
4	5/17(金)		大化の改新と白鳳文化	
5	5/24(金)		飛鳥浄御原令と大宝律令	筑波大学名誉教授 根本誠二
6	5/31(金)		法隆寺と金堂の壁画	東京藝術大学客員教授 有賀祥隆
7	6/14(金)		役行者と修験道 ～「役行者絵巻」を中心に～	淑徳大学客員教授 小澤 弘
8	6/21(金)		長屋王の生活と仏教	筑波大学名誉教授 根本誠二
9	6/28(金)		藤原氏と仏教文化	
10	7/12(金)		平城京と南都七代寺	
11	7/19(金)		平城京の学芸と諸芸	八洲学園大学教授 秋吉正博
12	7/26(金)		エピローグ: 国分寺国分尼寺と東大寺大仏 ～古代文化・仏教の転換～	筑波大学名誉教授 根本誠二

受講登録者数 210名 (男性 123名 女性 87名) 出席者総数 2,099名

後期

講座 28	平安時代の社会と文化			
	【定員】300名 【受講料】2年会員9,550円 1年会員10,650円 聴講生13,950円 (資料代750円を含む)			
	エクセレントⅡ 【時間】毎回13時30分～15時00分 (計12回)			
概要	延暦13年(794)桓武天皇は山城国葛野へ遷都し平安京と命名、以来福原遷都の間を除き、明治2年の東京遷都まで千余年にわたり都であった。平安時代は、平安遷都から鎌倉幕府成立までの約400年であるが、名前通りの平安な時代ではなく、むしろ権力闘争の騒擾や戦いの時代といふべき時代であった。この時代に成立した文化とその社会的背景について紹介する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/27(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	平安京造都とその思想	京都造形芸術大学講師 佐々木 創
2	10/4(金)		平安密教・浄土教と芸術文化	
3	10/11(金)		菅原道真と天神さん～縁起絵巻と信仰	
4	10/18(金)		『更級日記』から平安後期を考える	大東文化大学講師 石川 久美子
5	10/25(金)		『御堂関白記』と藤原道長	国際日本文化研究センター教授 倉本一宏
6	11/1(金)		平家の公達と詩歌管弦	鶴見大学講師 平藤 幸
7	11/15(金)		軍記物語の怨霊と鎮魂	
8	11/22(金)		唐様から和様へ	
9	11/29(金)		宮廷女性と化粧	ポーラ文化研究所シニア研究員 村田孝子
10	12/13(金)		平安朝の年中行事	お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 研究協力員 内田澗子
11	1/17(金)		平安京で生活する人々	
12	1/24(金)		平安朝の争乱と武士の誕生	日本大学教授 関 幸彦

受講登録者数 147名 (男性 85名 女性 62名) 出席者総数 1,481名

前期

講座 29	西暦末尾が「9」の年には 歴史的な大事件が 頻発！ — 底流にある経済的要因を追ってみる			
	【定員】144名 【受講料】2年会員9,140円 1年会員10,220円 聴講生13,460円 (資料代500円を含む)			
経済	【時間】毎回13時00分~14時30分(計12回)			
概要	近現代では、西暦の「9」で終わる年に、世界史的大事件が発生することが少なくありません。偶然なのか？ それとも、何らかの必然性が「底流」に潜んでいるのか？ 社会に生じる諸問題について、「底流」とは経済問題のこと。それをトコトン探っていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(金)	川崎市生涯学習プラザ	1789年、フランス革命勃発 — そこにいたる18世紀ヨーロッパ事情を考える	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
2	5/17(金)		1799年、ナポレオン時代開始から1848年ヨーロッパ諸革命にいたる激変を検討	
3	5/24(金)		1899年、米西戦争講和から米比戦争へ、さらにポーア戦争、清末中国動乱へ	
4	5/31(金)		1919年、第一次大戦収束につきパリ講和会議、ヨーロッパ各国で社会不安が激増	
5	6/7(金)		1929年、スターリン独裁体制始動、ニューヨーク発世界大恐慌、激動時代を考察	
6	6/14(金)		1939年、フランコ独裁体制始動、ノモンハン事件、第二次大戦勃発を考える	
7	6/21(金)		1949年、NATO発足、ソ連核保有、中華人民共和国樹立、東西ドイツ分裂確定	
8	6/28(金)		1959年、キューバ革命、ソ連ロケット初の月到着、冷戦を考察	
9	7/5(金)		1969年、中ソ国境衝突、安田講堂攻防戦、南ベトナム臨時革命政府樹立・戦争激化	
10	7/12(金)		1979年、米中国交樹立、イラン革命、サッチャー政権成立、ソ連がアフガン侵攻	
11	8/2(金)		1989年、天安門事件、東欧で一連の革命、ベルリンの壁崩壊、米ソ・マルタ会談	
12	13:00-14:30 15:00-16:30		1999年、プーチン時代のはじまり、日本は金融再編(みずほ、三井住友)へ始動	

受講登録者数 144名 (男性 102名 女性 42名) 出席者総数 1,393名

後期

講座 29	2019年の世界情勢を深読みする — 底流にある経済的要因をとらえて			
	【定員】144名 【受講料】2年会員9,300円 1年会員10,400円 聴講生13,700円 (資料代500円を含む)			
経済	【時間】毎回13時00分~14時30分(計12回)			
概要	2019年の世界は「先が見通しづらい」と不安を感じている人が 少なくないようです。その背景には、経済事情の大きな変化が隠されています。それを様々な角度から読み解いていきます。情勢の変化により、順序や内容に変更が生じる場合があります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	アメリカと中国との貿易摩擦 — アメリカの側から考えると・・・	駒澤大学名誉教授 瀬戸岡 紘
2	10/18(金)		中国とアメリカとの貿易摩擦 — 中国の側から考えると・・・	
3	10/25(金)		E Uは崩壊への道を歩みはじめたのか？ — プレグジットを深読みする	
4	11/1(金)		ロシアとウクライナの対立 — 双方の言い分とその歴史的・経済的背景は？	
5	11/15(金)		日本とアメリカ — 双方の国民意識のズレを分析する	
6	11/22(金)		日本と中国 — 日本は大丈夫か？	
7	11/29(金)		なぜ各国で極右政党や「ミトランプ」が支持を拡大しているのか？	
8	12/6(金)		なぜ「核」開発が止められないのか？ — イラン、北朝鮮、等々のゆくえ	
9	12/13(金)		労働力不足と移民・難民問題 — もしかして今世紀最大の問題になるのか？	
10	12/20(金)		AI(人工知能)は労働力不足を解消できるのか、それとも・・・	
11	1/24(金)		医療と福祉、そして膨らむ財政問題 — 各国はどうしようとしているのか？	
12	1/31(金)		世界の金融資本 — その見えざる威力を垣間見る！	

受講登録者数 150名 (男性 114名 女性 36名) 出席者総数 1,490名

前期

WS 11	経済大国「中国」の実態—脅威なのか？崩壊に向かうのか？ ※討議・発表中心			
	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員ともに13,460円 聴講生14,540円 (資料代500円を含む)			
経済	【時間】毎回15時00分~17時00分(計12回) 内容により18時まで延長する場合があります。			
概要	現代の世界経済を理解するには、アメリカ経済と中国経済の把握が欠かせません。特に中国経済に対しては、脅威論と崩壊論という両極端の見方が並立しており、その実態を冷静に客観的に分析する必要があります。今回は、最初に世界経済における中国の位置を確認し、それをふまえて中国経済の実態を学んでいきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(金)	川崎市生涯学習プラザ	学習の解説/講師によるオリエンテーション	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
2	4/19(金)		世界経済の中で大きな存在感—GDP/貿易量	
3	4/26(金)		成長の軌跡—改革開放路線から民営企業の急成長へ	
4	5/17(金)		統計はどこまで信頼できるのか？—その見方、考え方	
5	5/24(金)		様々な金融リスク—人民元国際化の苦悩	
6	6/7(金)		投資過剰経済のツケ—不動産バブル体質の行方	
7	6/14(金)		広がる地域間格差—内陸部のギリシャ化のジレンマ	
8	6/21(金)		都市と農村の格差—労働市場のゆがみ、農民工の将来	
9	6/28(金)		国有企業改革と台頭する民営企業の行方	
10	7/5(金)		共産党体制での成長の持続は？—権威と民とイノベーション	
11	7/12(金)		今後の国際関係—対米関係と日本の対応策は？	
12	7/19(金)		まとめ/講師による総括	

*テキストA:「世界経済入門」(野口悠紀雄著、講談社現代新書、¥800円+税)。

テキストB「中国経済講義」(梶谷懐著、中公新書、¥880円+税)。

受講登録者数 40名 (男性 33名 女性 7名) 出席者総数 428名

後期

WS 13	米中衝突と世界経済の行方 ※討議・発表中心			
	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員ともに13,700円 聴講生14,800円 (資料代500円を含む)			
経済	【時間】毎回15時00分~17時00分(計12回) 内容により18時まで延長する場合があります。			
概要	アメリカと中国の貿易戦争、覇権争いは世界経済に何をたらすでしょうか。このワークショップでは、まずトランプ政権誕生の理由、アメリカ経済の現状を学び、それをふまえて米中衝突の歴史的背景と経過、長期化が予想される覇権争いの構造、日本経済・世界経済に及ぼす影響などについて総合的に考えていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	学習の解説/講師によるオリエンテーション	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
2	10/18(金)		トランプ政権誕生の背景①—金融危機との関連で	
3	10/25(金)		同上②—オバマ政権の経済政策/対外政策との関連で	
4	11/1(金)		同上③—アメリカ経済の現状と課題との関連で	
5	11/15(金)		米中貿易戦争の勃発と本格化	
6	11/22(金)		ブレイクタイム	
7	11/29(金)		戦後自由貿易体制とアメリカ貿易政策	
8	12/6(金)		終わりのない米中の覇権争い—先端技術/知財/軍事	
9	12/13(金)		日米貿易摩擦の歴史と日米 FTA	
10	12/20(金)		貿易戦争と表裏一体のグローバル金融危機	
11	1/24(金)		米中貿易戦争と日本経済に与える影響	
12	2/7(金)		総括/講師による学習のまとめ	

*テキストA:「トランプ政権とアメリカ経済」(萩原伸次郎著、学習の友社、¥1,500円+税)。テキストB「トランプ貿易戦争」(木内登英著、日本経済新聞出版社、¥1,800円+税)。

受講登録者数 29名 (男性 24名 女性 5名) 出席者総数 314名

前期

講座	懐かしの名作を語る			
30	【定員】72名 【受講料】2年会員 8,940円 1年会員 10,020円 聴講生 13,260円 (資料代 300円を含む)			
	映像・メディア	【時間】毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	「懐かしの名作を語る」は、①「この人に会いたい」②「日本の未来を考える」③「名画・名優を語る」各4本、計12本で編成します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(金)	川崎市生涯学習プラザ	『山根基世、美を語る』:NHK時代に愛した、「新・日曜美術館」「土曜・美の朝」などを語る	フリーアナウンサー/元 NHK アナウンス室長(理事待遇) 山根基世
2	4/19(金)		『森達也、今 一番語りたいこと』:護憲派の異色ドキュメンタリー映画監督が、旬の話題を語る	映画監督 /明治大学特任教授 森達也
3	4/26(金)		『名男優・三船敏郎を語る』:ウ・エネチア国際映画祭で2度受賞している邦画の名男優を語る	映画の語り部 /元 NHKBS 映画支配人 渡辺俊雄
4	5/10(金)		『D・リーニ監督 戦場にかかる橋を見て語る』:第30回アカデミー賞で作品賞など7賞を受賞した洋画の名作を語る	ドキュメント映画「いのち」監督 元 NHK プロデューサー 林勝彦
5	5/17(金)		『名女優・マリル・ストロップを語る』:アカデミー賞で3度受賞している洋画の名女優を語る	映画の語り部 /元 NHKBS 映画支配人 渡辺俊雄
6	5/24(金)		『倉澤治雄、放射性廃棄物処分・原発問題を語る』:最大の難問を、日テレのNNNドキュメントを通して語る	元日本テレビ報道局解説主幹/科学ジャーナリスト 倉澤治雄
7	5/31(金)		『柴田鉄治 原発報道の失敗と未来を語る』:朝日新聞記者として原発開発初期から、歴史を見てきた長老が語る	元朝日新聞社社会部長・科学部長/科学ジャーナリスト 柴田鉄治
8	6/7(金)		『林勝彦、再生可能エネルギーを語る』:自作のNHKスペシャル「エネルギーシフト～欧州の電力革命」を通して語る	ドキュメント映画「いのち」監督 元 NHK プロデューサー 林勝彦
9	6/15(土)		『高橋哲哉、フクシマを語る』:福島県出身の哲学者、高橋哲哉が原発震災と人権を語る	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授 高橋哲哉
10	6/21(金)		平成から令和へ	前高知県知事 橋本 大二郎
11	7/5(金)		『黒澤明監督生きるを見て語る』:第4回ベルリン国際映画祭特別賞など受賞した邦画の名作を語る	ドキュメント映画「いのち」監督 元 NHK プロデューサー 林勝彦
12	8/2(金)		『星野道夫と見た風景』:著名な自然・動物写真家で、随筆家でもあった夫を妻が語る	星野道夫事務所管理者 星野直子

受講登録者数 72名 (男性 53名 女性 19名) 出席者総数 655名

後期

講座	懐かしの名作を語る			
30	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,100円 1年会員 10,200円 聴講生 13,500円 (資料代 300円を含む)			
	映像・メディア	【時間】毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	今期は、「この人に会いたい」「日本の未来を考える」「名画・名優を語る」各4本の計12本で編成します。現在進行中のものから歴史的名作まで、映像とメディアにかかわる番組制作者、アナウンサー、ジャーナリスト、評論家が次々に登場し、語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	『チコちゃんに叱られる』:担当者が、人気番組の裏舞台を語る	NHK制作局チーフ・プロデューサー 水高 満
2	10/18(金)		『私が歩んだ道』:NHK時代の名作「その時歴史は動いた」や、大学教授としての講義は何を教えてきたか?	元 NHK アナウンサー(理事待遇) 松平定知
3	10/25(金)		『謎の国 ロシアを徹底解剖する』:現在もシベリアや、ベトロ/プロフスク等に通い、得た不思議の国の最新情報を語る。	ジャーナリスト / 元 NHK 解説委員 小林和男
4	11/1(金)		『メディアと著作権』:新聞、テレビ、ネット等と著作権の現状を語る。	弁護士、日本科学技術ジャーナリスト会議理事 横浜国立大学講師 中道 徹
5	11/15(金)		『日本の防衛』を語る	東京新聞論説委員 半田 滋
6	11/22(金)		『いほ、旬の話』を語る	ジャーナリスト 高野 孟
7	11/29(金)		政治には夢と愛が必要だ～NHK選挙取材31年の記者が語る日本の未来	元 NHK 記者 大阪日日新聞記者 相澤冬樹
8	12/6(金)		『日本の科学技術』を語る	科学技術振興機構顧問/東京工業大学名誉教授・元学長 相澤益男
9	12/13(金)		『クリント・イーストウッド』を語る	映画の語り部 元 NHKBS 映画支配人 渡辺俊雄
10	12/20(金)		『山根大夫』名匠 溝口健二監督の代表作を語る	ドキュメント映画「いのち」監督 元 NHK プロデューサー 林勝彦
11	1/24(金)		『吉永小百合』:「おはん」や「キューポラのある街」等、多数の受賞歴がある人気女優を語る。	映画の語り部 元 NHKBS 映画支配人 渡辺俊雄
12	1/31(金)		『E.T.』:スティーブン・スピルバーグの名作を語る。	ドキュメント映画「いのち」監督 元 NHK プロデューサー 林勝彦

受講登録者数 80名 (男性 57名 女性 23名) 出席者総数 731名

前期

2019年後期から開講しました。

後期

講座	未知に挑んだ科学者たち			
31	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,300円 1年会員 10,400円 聴講生 13,700円 (資料代 500円を含む)			
	新しい科学の世界Ⅱ	【時間】毎回 15時00分～16時30分 (計12回)		
概要	科学技術の進歩は、直線的なものではなく、ある日突然「どんでん返し」のようなことが起こって、新しい世界が開けるのです。『大陸が動く』『人が宇宙へ飛び出す』みんなそうでした。科学技術の歴史のなかから、そんなドラマのある人を探し出して、科学とは何か、を考えてみよう、というのが2019年後期から始まる新しい科学講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	新講座を始めるスタートに際して	日本科学技術ジャーナリスト会議会長 佐藤年緒
2	10/18(金)		聴覚障害をもつとせよ宇宙への夢を追い続けたツイオルコフスキー	日本科学技術ジャーナリスト会議理事 大江秀房
3	10/25(金)		ビッグバン宇宙論を実証したペンジアスとウィルソン	法政大学経済学部教授(物理学教室) 藤田貢崇
4	11/1(金)		地磁気の逆転は、こうして解明された	東京工業大学名誉教授 河野 長
5	11/15(金)		不可能を可能にした i P S細胞	東京大学名誉教授、元岐阜大学学長 黒木 登志夫
6	11/22(金)		ユカワはなぜ偉大だったのか——『湯川秀樹日記』y'の謎	前北海道大学客員教授、元朝日新聞科学部長 尾関 章
7	11/29(金)		電波天文学を開いた森本雅樹・海部宣男博士	国立天文台准教授 縣 秀彦
8	12/6(金)		私を揺さぶった統計物理学の巨人たち	国際基督教大学名誉教授、東京工業大学名誉教授 元日本物理学会会長 北原和夫
9	12/13(金)		キューリー夫人から米沢富美子博士へ	朝日新聞科学コーディネーター 高橋 真理子
10	12/20(金)		大気・海洋相互作用の発見	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 教授 升本順夫
11	1/17(金)		地球温暖化の危機とIPCCの活躍	日本科学技術ジャーナリスト会議会長 佐藤年緒
12	1/24(金)		南極点に挑んだアムゼン・スコット・白瀬	元国立極地研究所長 渡辺興亜

*1/31(金)に科学講座コーディネーター(元朝日新聞科学部長・論説委員)柴田 鉄治先生による講演「ウェーゲナーの『大陸移動説』からプレートテクトニクスの誕生へ」を開催。

受講登録者数 52名 (男性 44名 女性 8名) 出席者総数 521名

前期

講座 31	いま問い直す、地域再発見 Ⅲ—多摩川と川崎の人々			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,290円 1年会員 10,370円 聴講生 13,610円 (資料代 550円、野外学習安全費用 100円を含む)			
概要	歴史(川崎学) 【時間】毎回10時30分~12時00分(計12回) 研究途上や最新の研究内容によって地域を再発見する企画です。地域の歴史を掘り起こす方法を学ぶことにもつながるでしょう。前期は自然と人間の関わりを中心に、多摩川と人々の暮らしを取り上げます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(土)	川崎市生涯 学習プラザ	多摩川の自然—関東山地中央部を水源とし、東京湾に注ぐまで、多様な自然を形成している	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
2	4/20(土)		多摩川の信仰伝承—寄り神と水神信仰について	成城大学名誉教授 田中宣一
3	5/11(土)		交通と多摩川—街道と渡し場・舟について	
4	5/18(土)	市民 ミュージアム	多摩丘陵と人々の営み—集落の変遷を中心に 市民ミュージアムの展示や収蔵遺物を見ながら	川崎市市民ミュージアム学芸員 小栗一夫
5	5/25(土)	川崎市生涯 学習プラザ	中世多摩川の治水と利水—鎌倉時代の築堤・用水工事	國學院栃木短期大学准教授 菱沼一憲
6	6/8(土)		多摩川流域の中世の石造物文化	戦国史研究会会員 中西望介
7	6/22(土)	川崎市生涯 学習プラザ	多摩川流域の新田開発	立正大学講師 斉藤 司
8	6/29(土)		河川敷の形成と人々の暮らし	元川崎市平和・人権担当職員 島田秀雄
9	7/6(土)		長十郎梨のひろがり	法政第二高等学校教諭 大湖賢一
10	7/13(土)		二ヶ領用水・久地円筒分水のはなし	国土交通省国土技術政策総合研究所 主任指導官 和田一範
11	7/20(土)		南武線と人々の暮らし	明治大学講師 渡辺賢二
12	7/27(土)	深大寺城跡	深大寺城跡とその周辺 —鎌倉街道の渡河点を睨み、小沢城と対峙する中世城郭	戦国史研究会会員 中西望介

※野外学習を安全に運営するための費用を初日に集金。 受講登録者数 61名 (男性 41名 女性 20名) 出席者総数 588名

後期

講座 32	いま問い直す、地域再発見Ⅳ—自然と人間の関係「川崎の丘陵部・谷戸」を中心に			
	【定員】72名 【受講料】2年会員 9,450円 1年会員 10,550円 聴講生 13,850円 (資料代 550円、野外学習安全費用 100円を含む)			
概要	歴史(川崎学) 【時間】毎回10時30分~12時00分(計12回) 研究途上や最新の研究内容によって地域を再発見する企画です。地域を掘り起こす方法を学ぶことにもつながるでしょう。後期は自然と人間の関わりを中心に、「川崎の丘陵・谷戸」における人々の暮らしを取り上げます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(土)	川崎市生涯 学習プラザ	縄文のころ	前川崎市市民ミュージアム学芸員 小栗一夫
2	10/19(土)		考古学から見た多摩丘陵の古代牧	元横浜市埋蔵文化センター調査研究員 坂本 彰
3	10/26(土)	野外	多摩丘陵に遺された横山道を歩く	戦国史研究会会員 中西望介
4	11/2(土)	川崎市生涯 学習プラザ	土豪・地侍の一戦(いくさ)・和平交渉・金融・信仰	
5	11/16(土)	野外	多摩川の渡河点を見下ろす百草園に古代・中世から近代を学ぶ—真慈悲寺・百草城・松連寺・百草園	明治大学講師 渡辺賢二 戦国史研究会会員 中西望介
6	11/30(土)	川崎市 生涯学習 プラザ	谷戸の暮らし—映像と講演「うつつ世の静寂(しじま)に」	ささらプロダクション代表・文筆家 小倉 美恵子
7	12/7(土)		長尾村鈴木藤助日記から見た戊辰戦争	聖心女子大学講師 小林紀子
8	2/14(土)		枳形山の戸隠不動堂	成城大学名誉教授 田中宣一
9	12/21(土)		民家と年中行事	
10	1/11(土)		多摩丘陵に広く分布する神社—杉山神社から見えてきた事	都筑・橋樹研究会会員 小股 昭
11	1/18(土)		川崎市地域文化財の指定を受けて その1 —多摩丘陵を抜きにして戦争は出来なかった(1) 東部 62部隊	地域史研究者 大泉雄彦
12	1/25(土)	川崎市地域文化財の指定を受けて その2 —多摩丘陵を抜きにして戦争は出来なかった(2) 登戸研究所	明治大学講師 渡辺賢二	

*初回(10/5)はコーディネーターの中西望介講師の話と事務連絡を実施。

受講登録者数 53名 (男性 36名 女性 17名) 出席者総数 510名

前期

101	水の未来—環境から政治経済まで			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,260円 1年会員 2,530円 聴講生 3,340円 (資料代 100円を含む) 短期集中 【時間】毎回16時30分~18時00分(計3回)			
概要	いよいよ明らかになる気候変動、世界的に水需要の増加、そして国内では水のインフラをどうするかなど、水を巡って様々な危機が差し迫ったものとなってきています。水問題の正しい認識と解決に向けて、水文学から政治経済的視点、そして人間の尊厳の問題を通して多角的に語っていただきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	新百合 21ビルB2 多目的ホール	地球環境で見た、水・食料・エネルギー —「ウォーターフットプリント」、「ヴァーチャルウォーター」とは?	東京大学生産技術研究所教授 沖 大幹
2	4/18(木)		水危機の虚実 — 水マネージメントの民営化問題と水紛争	
3	6/13(木)		水問題の解決に向けて — 市民として何ができるのか	

受講登録者数 35名 (男性 25名 女性 10名) 出席者総数 92名

102	レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500年—その実像に迫る			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,260円 1年会員 2,530円 聴講生 3,340円 (資料代 100円を含む) 短期集中 【時間】毎回16時30分~18時00分(計3回)			
概要	2019年はレオナルド・ダ・ヴィンチの没後500年にあたります。これを記念して、本講座では三回にわたって彼をとりあげます。とくに、講演者自身が携わった最近のレオナルド研究の実態をみていただくことで、これまで知られていない「万能の人」の実像に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/30(木)	新百合 21ビルB2 多目的ホール	レオナルド研究最前線 <サルヴァトル・ムンディ>	東京造形大学教授 池上英洋
2	6/20(木)		90分で概観するレオナルドの生涯と作品	
3	7/11(木)		レオナルドの知られざる側面を探る	

受講登録者数 173名 (男性 61名 女性 112名) 出席者総数 442名

後期

101	アガサ・クリスティの英国			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,300円 1年会員 2,575円 聴講生 3,400円 (資料代 100円を含む) 短期集中 【時間】毎回16時30分~18時00分(計3回)			
概要	英国に生まれ、ミステリーの傑作を数多く残したアガサ・クリスティ(1890-1975)。作品の舞台となった英国の各地を、現地を訪れた英文学者の講義、そして美しい映像とともにめぐります。ミス・マープル、ポワロら登場人物の足跡と、作者の生涯が交差するイングランドの風景や建物、また歴史と文化を3つのルートでたどります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(木)	新百合 21ビル B2 多目的 ホール	ロンドンから故郷のデヴォンへ 『パティントン発4時50分』『邪悪の家』『運命の裏木戸』『ABC殺人事件』ほか	昭和女子大学名誉教授 平井杏子
2	10/17(木)		ダート川を遡り、別荘グリーンウェイへ 『スタイルズ荘の怪事件』『死者のあやまち』『五匹の子豚』『そして誰もいなくなった』ほか	
3	10/24(木)		ロンドンをめぐり、終焉の地ウオリングフォードへ 『満潮に乗って』『パートラム・ホテルにて』『ひらいたランプ』『葬儀を終えて』ほか	

受講登録者数 103名 (男性 26名 女性 77名) 出席者総数 254名

102	いま、海で何が起きているか			
	【定員】300名 【受講料】2年会員 2,300円 1年会員 2,575円 聴講生 3,400円 (資料代 100円を含む) 短期集中 【時間】毎回16時30分~18時00分(計3回)			
概要	海と深いかわりを持つ日本人。その海でいよ汚染や酸性化、海面上昇などの環境問題、水産資源の減少や捕鯨規制、海底資源開発など多くの課題が持ち上がっている。本講座ではそのうち、海のプラスチック汚染、捕鯨問題、海に生きる人々の課題を探り上げその現状を解説する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	11/14(木)	新百合 21ビル B2 多目的 ホール	捕鯨問題を解剖する—国際捕鯨委員会(IWC)脱退への道のり	東京海洋大学教授 森下丈二
2	11/28(木)		海は誰のものか—資源をめぐる民俗知	山梨県富士山世界遺産センター 所長 秋道智彌
3	12/12(木)		世界が目指す海洋プラスチックごみ問題—日本の周辺海域の実態は	東京海洋大学准教授 内田圭一

受講登録者数 36名 (男性 24名 女性 12名) 出席者総数 81名

●○ 2019年度 交流館協力講座(前・後期)および子育て支援講座(前期) ○●

本講座の運営には、東京応化科学技術振興財団の「研究交流促進助成」の一部が使用されました

交流館協力講座 前期

201	日本の災害史をかえりみる—江戸から平成まで			
	【定員】70名 【受講料】2年会員 4,420円 1年会員 4,960円 聴講生 6,580円 (資料代100円を含む)			
交流館協力 【時間】毎回14時00分～15時30分 (計6回)				
概要	日本列島は、地震、津波、洪水、火事、火山噴火など数々の災害をこうむってきた歴史があります。そうした災害をテーマとして、当時の情報システムや、残された記録を探りながら、被災状況を知る研究成果や、当時の防災対策などについて紹介し、同時に復旧・復興について考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/29(水)	東海道 かわさき宿 交流館	災害と復旧・復興～江戸と明治ではどのように違ったのか～	立命館大学歴史都市防災研究所 客員研究員 北原糸子
2	6/5(水)		地震と情報～安政の江戸大地震と瓦版・絵巻～	松戸市立博物館学芸員 富澤達三
3	6/12(水)		関東大震災～神奈川の石碑が語る被害と復興～	名古屋大学教授 武村雅之
4	6/19(水)		幕末にあった江戸大震災 ～被害と震度分布を江戸市中と川崎宿で比較～	早稲田大学理工学術院総合研究所 招聘研究員 中村 操
5	6/26(水)		災害都市江戸と地下室(穴蔵)	成城大学民俗学研究所研究員 小沢 詠美子
6	7/3(水)		津波にどう立ち向かうか～むかしといま～	立命館大学歴史都市防災研究所 客員研究員 北原糸子

受講登録者数 49名 (男性 36名 女性 13名) 出席者総数 239名

交流館協力講座 後期

201	歴史から読み解く万葉集の謎			
	【定員】70名 【受講料】2年会員 4,500円 1年会員 5,050円 聴講生 6,700円 (資料代100円を含む)			
交流館協力 【時間】毎回14時00分～15時30分 (計6回)				
概要	文学作品の『万葉集』を歴史の立場から読み解くというのは、無稽かもしれません。ですが、額田姫王・藤原鎌足・草壁皇子・大伴家持・有間皇子・中臣宅守・弟上皇子らの歌を通して『万葉集』が認識した歴史とそのわけを読み解き、また特異な古代社会の雰囲気も適宜明らかにしたいと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(水)	東海道 かわさき宿 交流館	額田姫王は大海人皇子の末練に悩んでいたか	早稲田大学エクステンションセンター 講師 松尾 光
2	10/9(水)		鎌足は、采女の安見児を妻として得られたか	
3	10/16(水)		日並知皇子が万葉集にしか見られないわけは	
4	10/23(水)		名負いの氏を掲げた家持は時代遅れだったか	
5	10/30(水)		万葉集が有間皇子・弟上皇子らに託したものは	
6	11/6(水)		万葉ひとは、見た夢をどのように考えていたのか	

受講登録者数 39名 (男性 18名 女性 21名) 出席者総数 208名

子育て支援講座 前期

202	0歳～6歳 子育ての輪 (パートII) 『子どもが豊かに育つ環境をつくろう』			
	【定員】50名 【受講料】4,860円 保育ボランティア付き1回につき200円 (受講申込みの際に申込み) (資料代は実費徴収)			
子育て支援 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計6回)				
概要	都市近郊は高層マンションの建設が進み、若い子育て世代が流入して、活気ある街を形成しています。しかし、都市は働く大人にとって生活しやすい設計になっていません。一方で、土や水、植物など子どもの成長や人間性を育む自然が消えていきます。都市化する環境のなかで子どもを豊かに育てる知恵とヒントに出会う講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	6/6(木)	川崎市生涯学習プラザ	乳幼児のからだのしくみと病気 子どもも親も楽になる自然治癒力を生かした看病	八王子中央診療所 所長 山田 真
2	6/13(木)		集団生活と予防接種 予防接種・迷って悩んでもいいんだよ	ワケントーク全国事務局長 青野典子
3	6/20(木)		コミュニティが形成されていない街での子育て 密室育児の扉を開く「私の叱り方これでいいの」	東京都内保健所心理相談員 長田美江
4	6/27(木)		都市のなかに冒険遊び場をつくる 子どもは遊びを通して生きる喜びと命を実感する	日本冒険遊び場づくり協会 評議員 天野秀昭
5	7/4(木)		子どもの生活を豊かにする幼稚園・保育園選び 登園しぶり、登園拒否で訴える子どもの心を理解する	子ども相談室「モモの部屋」主宰 心理カウンセラー 内田良子
6	7/11(木)		父親の社会学 「本当の幸せ」をデザインしよう	首都大学東京教授 宮台真司

*この講座に限り、団体・グループでの受付をした。託児サービスあり (保育対象：8カ月以上の子ども15名まで)。

受講登録者数 40名 (男性 2名 女性 38名) 出席者総数 192名

●○ 2019年度 子育て支援講座(後期)および連携講座(アジア航測・後期) ○●

子育て支援講座 後期

202	小学生から思春期 子どもに時間を返そう パートII 『思春期の子どもが豊かに育つ環境をつくろう』			
	【定員】50名 【受講料】4,950円 保育ボランティア付き1回につき200円 (受講申込の際に申込) (資料代は実費徴収)			
子育て支援 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計6回)				
概要	少子化が進む中で、10代の自殺、小・中学生の不登校は統計をとり始めて以来、最高の人数になっています。子どもの貧困もその野を広げ子どもが生きにくい時代になりました。子どもが物心両面で安心して学び育つ環境を作るために私たちができることは何か、ともに考え子どものいのちの居場所を見直しましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(木)	川崎市生涯学習プラザ	子どもと先生の立場からみる 学校の移りかわり 平成の教育を振り返る	小学校教員、学校マガジン「おは」編集人 岡崎 勝
2	10/17(木)		いじめで子どもを死なせない 子どもの命を救う 大人の気づきと言葉 後半Q & A	元日本テレビ報道局解説委員、フリーキャスター 岸田雪子
3	10/24(木)		共に生きる社会は 共に学ぶ教室から生まれる インクルーシブ教育は子どもたちの自尊感情を育む	大阪経済法科大学 客員研究員 一木玲子
4	10/31(木)		義務教育と子どもの学ぶ権利 教育の機会均等について考える	中央大学教授 池田賢市
5	11/14(木)		子どもの社会学 思春期にむかう子どもたちの「本当の幸せ」とは	首都大学東京教授 宮台真司
6	11/21(木)		不登校は文化の森の入口 家を居場所に豊かに暮らす知恵と学び 後半Q & A	子ども相談室「モモの部屋」、心理カウンセラー 内田良子

*この講座に限り、団体・グループでの受付をした。託児サービスあり (保育対象：8カ月以上の子ども15名まで)。

受講登録者数 38名 (男性 2名 女性 36名) 出席者総数 184名

上記の講座の運営には、東京応化科学技術振興財団の「研究交流促進助成」の一部が使用されました。

連携講座(アジア航測) 後期

302	生物から自然を診る—環境を指標する生物たち			
	【定員】50名 【受講料】6,600円 (資料代を含む)			
連携 (アジア航測) 【時間】毎回15時00分～16時30分 (計6回)				
概要	生物の生育・生息と環境には密接な関係があります。生物のもつ生態的特性から生物と森や水辺など自然資源との関係を診ていくことにより、生物を指標とした環境のとらえ方を学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/23(水)	アジア航測(株) 新百合本社 4階会議室	生物指標序論 生物の生態と環境の関係を診る	(株)環境指標生物 代表取締役 新里達也
2	10/30(水)		トンボの生態と水辺環境の関係を診る	アジア航測(株) CSR推進室 松沢孝晋
3	11/6(水)		森林がもたらす文明盛衰の歴史	アジア航測(株) 国土保全ソリューション事業部 矢部三雄
4	11/13(水)		植物から環境を診る	東京農業大学名誉教授 中村幸人
5	11/20(水)		奥山を指標する大型猛禽類	アジア航測(株) ベンチャー共創室 高柳茂暢
6	11/27(水)		里山を指標する猛禽 サシバ	岩手大学講師 東 淳樹

受講登録者数 48名 (男性 30名 女性 18名) 出席者総数 231名

連携講座(アジア航測)の前期日程表は特別講座66ページをご覧ください。

前期

301	イタリア ロマン主義オペラの黎明～ドニゼッティとベッリーニ～			
	【定員】150名	【受講料】8,100円	(資料代を含む)	
大学連携		【時間】毎回 11時00分～12時30分 (計6回)		
概要	イタリア・ロマン主義オペラの扉を開いたドニゼッティとベッリーニを「オペラ史・演出・歌唱」の観点から紐解きます。二人の作曲家の歴史的立場と創作活動・特色について、二大作品を実際に演出した演出家による作品論、両者の作品に特有の歌唱表現・技法の奥義を語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/8(水)	昭和音楽大学 北校舎 ラ・サーラ・スカラ	ドニゼッティ ～その生涯と作品の特色～	昭和音楽大学教授 (オペラ史) 小畑恒夫
2	5/22(水)		ドニゼッティ「ルチア」の演出 ～2017年12月藤原歌劇団公演 演出家による～	昭和音楽大学講師 (演出家) 岩田達宗
3	6/5(水)		ベッリーニ ～その生涯と作品の特色～	昭和音楽大学教授 (オペラ史) 小畑恒夫
4	6/19(水)		ベッリーニ「ノルマ」の演出 ～2017年7月藤原歌劇団公演 演出家による～	昭和音楽大学講師 (演出家) 栗國 淳
5	7/3(水)		両作曲家の曲を歌う難しさ、楽しさ ①	昭和音楽大学准教授 (声楽) 鈴木 とも恵
6	7/17(水)		両作曲家の曲を歌う難しさ、楽しさ ② (実演 昭和音楽大学 大学院生)	

* 案内：昭和音楽大学オペラ公演 2019(10月開催予定)の優待販売。 受講登録者数 86名 (男性 36名 女性 50名) 出席者総数 448名

後期

301	イタリア・オペラの巨人ヴェルディ ～ドラマと音楽の融合			
	【定員】150名	【受講料】8,250円	(資料代を含む)	
連携 (昭和音大)		【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計6回)		
概要	19世紀イタリア最大の作曲家ヴェルディ。国家統一運動を含む激動の半世紀に創造された彼のオペラは、今日でも世界の劇場の主要レパートリーであり、またイタリアの魂の現れとも言われます。音楽史、演出、歌唱、指揮など多様な立場からその特色と魅力に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(火)	昭和音楽大学 北校舎 ラ・サーラ・スカラ	ヴェルディとリソルジメント (民族独立のエネルギー) 《ナブッコ》から《レニャーノの戦い》まで	昭和音楽大学教授 (オペラ史) 小畑恒夫
2	10/15(火)		ヴェルディとフランス演劇 (心理を描くオペラ) 《リゴレット》と《ラ・トラヴィアータ》を中心に	
3	10/29(火)		ヴェルディとフランス風グランド・オペラ (大規模作品) 《シチリアの晩鐘》から《ドン・カルロス》《アイダ》など	
4	11/12(火)		演出家から見たヴェルディ	昭和音楽大学講師 (演出家) 岩田達宗
5	11/26(火)		指揮者から見たヴェルディ *伴奏 稲葉和歌子	昭和音楽大学客員教授 (指揮) 星出 豊
6	1/21(火)		声楽家から見たヴェルディ *歌唱あり 伴奏:水野彰子	昭和音楽大学教授 (声楽) 折江忠道

* 講座受講者には昭和音楽大学オペラ公演 2019 のチケットを優待販売。 受講登録者数 119名 (男性 53名 女性 66名) 出席者総数 608名

前期一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
A	健康	生活習慣病から様々な病まで —この備えをして健康で100歳まで生きる	聖マリアンナ医科大学教授 池森敦子ほか
B	福祉	傾聴ボランティア講座	NPO 法人日本傾聴ボランティア協会事務局 山田豊吉
C	教育	発達障がいを理解する—思春期から青年期まで	児童精神神経科医 石川憲彦ほか
D	企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その18	市内企業の代表と研究者ほか
E	生活	みんなで考えたい「家族」について	日本社会事業大学学長 神野直彦ほか

A	生活習慣病から様々な病まで—この備えをして健康で100歳まで生きる			
	【定員】70名	【受講料】4,480円	(資料代は実費徴収)	
健康		【時間】毎回 14時00分～15時30分 (計5回)		
概要	生活習慣病は食生活、運動習慣、ストレス、喫煙、飲酒等の生活習慣の乱れが様々な疾患を引き起こします。最近では、テレビなどのマスメディアがこの病を取り上げ、多くの方々が関心を持つようになりました。本講座では生活習慣病を中心に、この病が糖尿病、脂質異常症、高血圧等とどう関連があるのか、健康診断や人間ドックの検査値の見方、食生活の改善、運動療法、さらには薬物療法について学びます。受講者が健康に向けて意識を変え、予防に向けて実際に行動に移せるように、講師陣が実践的に解説します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	6/4(火)	川崎市生涯学習プラザ	生活習慣病に伴う腎臓病における尿検査の重要性	聖マリアンナ医科大学解剖学(機能組織) 教授 池森敦子
2	6/11(火)		健康診断の検査項目と異常値があった場合の対処法	聖マリアンナ医科大学 / 大学病院 健康診断センター長 内科学(循環器内科) 病院教授 原 正壽
3	6/18(火)		生活習慣病を予防して健康に過ごそう! ～知っておきたい食生活の基礎知識～	聖マリアンナ医科大学病院 栄養部 部長 柴田みち
4	6/25(火)		生活習慣病をふせぐ足腰をつくる～100歳まで自分の足であるために、知っておきたいロコモティブシンドローム～	聖マリアンナ医科大学整形外科 病院教授 赤澤 努
5	7/16(火)		薬物治療は始めるべきか? 始めたら止められないのか?	聖マリアンナ医科大学薬理学 教授 松本直樹

受講登録者数 64名 (男性 39名 女性 25名) 出席者総数 269名

B	傾聴ボランティア講座				
	【定員】40名	【受講料】9,720円	(資料代は実費徴収)		
福祉		【時間】毎回 13時00分～17時00分 (計10回)			
概要	傾聴とは、相手の話に耳を傾け、一生懸命、あるいは熱心に聴くことです。また、相手の話を一生懸命、あるいは熱心に聴くためには、相手の存在を認めるといった基本的な人への向かい合い方(態度)も必要になってきます。相手の話を否定しないで、どんなふうにも聴けるか、練習をします。傾聴は、人間関係の基本です。				
回	月/日(曜)	時間	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/8	13:00～15:00	川崎市生涯学習プラザ	(講義)よい聴き手になるために～傾聴の意味と意義～	NPO 法人 日本傾聴ボランティア協会 事務局 山田豊吉
2	(水)	15:00～17:00		(演習)初めての出会い、「傾聴モードで聴く」…話す喜び、聴く喜び	
3	5/15	13:00～15:00		(RP)傾聴のスキル「繰り返し」、「質問」、「共感的な励まし」支持	
4	(水)	15:00～17:00		(RP)傾聴のスキルを使って、総合練習① ロールプレイ実習	
5	5/22	13:00～15:00		(RP)傾聴のスキルを使って、総合練習② ロールプレイ実習	
6	(水)	15:00～17:00		(RP)実践に向けて総合練習 ①「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
7	5/29	13:00～15:00		(RP)実践に向けて総合練習 ②「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
8	(水)	15:00～17:00		(講義&RP)認知症高齢者への関わり方及びロールプレイ実習	
9	6/5	13:00～15:00		(講義)傾聴ボランティア活動の仕方(個人宅&各種の高齢者施設等)	
10	(水)	15:00～17:00		先輩の傾聴ボランティアの方のお話	

受講登録者数 41名 (男性 5名 女性 36名) 出席者総数 375名

C	発達障がいを理解する—思春期から青年期まで			
	【定員】70名	【受講料】4,860円	保育ボランティア付き 保育料：1回につき200円 保険料：800円 (受講申込みの際に申込み) (資料代は実費徴収)	
教育		【時間】毎回 10時00分～12時00分 (計5回)		
概要	発達障がいについて理解をするための講座です。今回は主に13歳頃から青年期の方の発達障害の基礎知識、当事者や家族が抱える困難について学び、発達障がいへの理解を深め、周りの大人はどのように支えればよいか考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/18(木)	川崎市生涯学習プラザ	発達障がいのある子どもの思春期以降の状況	児童精神神経科医 石川憲彦
2	4/25(木)		子どもは子どもの中で育つ ～特別支援学校 特別支援学級 普通学級での教員経験から～	障害児を普通学校へ・全国連絡会事務局長 高木 千恵子
3	5/9(木)		発達に偏りのある中高生へのサポート ～NPO法人フットーロの支援の実際を含めて～	特定非営利活動法人 フットーロ LD 発達相談センター かながわ 所長 安住 ゆう子
4	5/23(木)		その人なりの自立の実現に向けて ～環境づくり、就労について考える～	ダンウェイ株式会社 代表取締役社長 高橋陽子
5	6/3(月)		ライフステージに寄り添う支援	早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 教授 高橋 あつ子

* 託児サービスあり。(保育対象：1歳以上のお子さま 6名まで) 受講登録者数 62名 (男性 10名 女性 52名) 出席者総数 269名

△▼△ 2019 年度前期 地域協働講座一覧 および 講座日程表 △▼△

地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その18				
【定員】 70名 【受講料】 8,220円 (資料代は実費徴収)				
企業連携 【時間】 座学 13時30分～15時00分 現地3回の開始 / 終了時間は例外あり (計10回)				
概要 川崎は京浜工業地帯の中核都市として、日本経済を牽引してきました。また、モノづくり企業、先端技術の開発・研究機関を多く抱える元気な都市です。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、明るい未来を展望します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市生涯学習プラザ	中原区の魅力とまちづくり-中原区民の意識と小杉周辺の移り変わり	川崎市中原区役所区長 向坂(サギサカ)光浩
2	4/18(木)		建設業が石炭売れるの? 川崎モデルから生まれた石炭物語 - 大企業の知財を使って新しい事業展開へ	宝養生資材(株) 代表取締役 吉村政城 経理部 吉村 千恵子 川崎市産業振興財団 西谷 亨
3	4/25(木)	川崎区	ライフサイエンス分野における世界最先端の研究開発エリア、キングスカイフロント - ここ川崎から世界が、未来が変わる。	川崎市臨海部国際戦略本部担当係長 佐藤麻乃 川崎市建設緑政局羽田連絡道路建設担当係長本田卓士
4	5/9(木)	川崎市生涯学習プラザ	ものづくりに熱い人と知り合いたい! Passion for Manufacturing! - デジタルとアナログを組み合わせて、精密板金の技術でつながる町工場	(株)ヒラミヤ 代表取締役 平宮健美
5	5/16(木)	県立川崎図書館	ものづくり情報ライブラリー-県立川崎図書館の機能と役割 - 電子ジャーナルから社史まで ものづくり技術を支える	県立川崎図書館 館長 堀端保聖 企画情報課長 矢島 薫
6	6/13(木)	川崎市生涯学習プラザ	地域プロスポーツにおけるパートナーシップの考え方 - 川崎を拠点とするバスケットチーム「川崎プレバサウンダース」	(株)ディー・エヌ・エー 川崎プレバサウンダース 営業部長 板橋大河
7	6/20(木)	王禅寺処理センター 梶ヶ谷貨物ターミナル駅	全国初の鉄道を活用した廃棄物鉄道システム - クリーンかわさき号が一般家庭ごみを運ぶ	川崎市環境局 施設部 処理計画課 担当係長 小林孝至
8	6/27(木)	川崎市生涯学習プラザ	脳と社会の架け橋を作る - 脳・コンピューター間インターフェイス技術とこれから	芝浦工業大学 電子工学科生体電子工学研究室 教授 加納 慎一郎
9	7/4(木)		映像のまち・かわさき-ロケ地かわさき 撮影現場こぼれ話	特定非営利活動法人かわさき MOVEARTOO(オーエン)隊 事務局長 寺川香苗
10	7/18(木)		IT研究のフロンティア - 脳の機能を模した超低消費電力デバイスから、量子コンピューターまで	日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所 新川崎事業所長 山道 新太郎

*第7回目の見学は、バスの借り上げ費用等で、別途2000円程集金。 受講登録者数 55名(男性 47名 女性 8名) 出席者総数 472名

みんなで考えたい「家族」について - 現代の家族が抱える問題とこれから				
【定員】70名 【受講料】 4,110円 (資料代は実費徴収)				
生活 【時間】 毎回10時30分～12時00分 (計5回)				
概要 少子高齢化社会による人口減社会、格差拡大が招く貧困問題など「家族」を取り巻く社会状況は複雑化、深刻化しています。新たな社会状況を踏まえた「家族」をどうとらえたいのか、夫婦・親子の関係をどう考えればいいのか、と一緒に考える場にしませんか。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/10(金)	川崎市生涯学習プラザ	現代の家族が抱える問題と社会状況	日本社会事業大学 学長 神野直彦
2	5/24(金)		子育てと家族	学校マガジン「おそい・はやい・ひくい・たかい」 編集人 岡崎 勝
3	6/7(金)		老年期の家族関係	お茶の水女子大学名誉教授 / 一般社団法人シニア社会学会 会長 袖井孝子
4	6/28(金)		映画の中の家族像	日本映画大学映画学部映画学科 学科長 緒方 明
5	7/5(金)		「家族」とセーフティネット	日本社会事業大学 学長 神野直彦

受講登録者数 27名(男性 7名 女性 20名) 出席者総数 108名

△▼△ 2019 年度後期 地域協働講座一覧 および 講座日程表 △▼△

後期 一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
A	教育	大人の発達障がいへの理解と支援	早稲田大学教授 高橋 あつ子ほか
B	健康	最新医学を正しく学び、健康で100歳まで生きる	聖マリアンナ医科大学教授 新井文子ほか
C	生活	シニアライフの問題解決講座	終活ジャーナリスト、ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 金子稚子ほか
D	企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その19	市内企業の代表と研究者ほか
E	まちづくり	武蔵小杉界隈今昔ものがたり-歴史散策・古民家カフェ・そしてまちづくり	川崎地名研究会会長 菊地恒雄ほか

大人の発達障がいへの理解と支援				
【定員】 70名 【受講料】 5,300円 (資料代等は実費徴収)				
教育 【時間】 10時00分～12時00分 (計5回)				
概要 発達障がいの理解については、社会的にまだ誤解されやすい状況があります。青年期・成人期の発達障がいについて、基本的な理解を深めるとともに、学校・職場・家庭での対応について学びます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(月)	川崎市生涯学習プラザ	発達障がいの基本的理解 - 大人の発達障がいの特徴、疑似体験ワークショップ	早稲田大学 大学院 教育学研究科 高度教職実践専攻 教授 高橋 あつ子
2	10/28(月)		本人に合った支援のあり方について考える - 家庭、職場で、周りの人ができること。相談事例から	川崎市発達相談支援センター 所長 阿佐野 智昭
3	11/18(月)		就労について - 仕事で困難にぶつかったとき。就労支援の現場から	(株)Kaizen Kaizen 川崎 サービス管理責任者 安間香織
4	11/25(月)		当事者として、保護者として	放課後児童デイサービス スタッフ 陶山 智子
5	12/9(月)		共に生きる社会について考える - 企業、川崎市の取り組み	発達障害を手掛かりとしたユニバーサルデザインコンサルタント 橋口 亜希子 ソフトバンク株式会社 CSR部 CSR1課 課長 木村幸絵

受講登録者数 22名(男性 2名 女性 20名) 出席者総数 91名

最新医学を正しく学び、健康で100歳まで生きる				
【定員】 70名 【受講料】 4,480円 (資料代等は実費徴収)				
健康 【時間】 毎回14時00分～15時30分 (計5回)				
概要 心身ともに自立し、健康的に生活できる期間を意味する「健康寿命」が、WHO(世界保健機関)より提唱されて以来、世界各国ではこれをどのように延ばすか日々研究が進められています。2016年の統計では、日本国民の「健康寿命」と「平均寿命」の差は男性が8年、女性が12年で、その差は以前より縮まりながらも、今後開いていくことが予想されています。本講座では「健康寿命」を延ばすために最新研究で分かっていた生活習慣や、誰もが罹患する可能性がある「がん」の新たな治療といわれる免疫療法、さらにゲノム(全遺伝情報) 編集技術等について様々な領域の最新研究にアプローチしていきます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	11/12(火)	川崎市生涯学習プラザ	移植、免疫療法、ゲノム編集などわかりやすく解説します。	聖マリアンナ医科大学 内科学(血液・腫瘍内科)教授 新井文子
2	11/19(火)		メタボ対策からサルコペニア対策へのギアチェンジ - 筋肉と筋力を低下させないための生活の工夫 -	聖マリアンナ医科大学内科学(代謝・内分泌内科)教授 田中 逸
3	11/26(火)		健康長寿と漢方医療について	聖マリアンナ医科大学内科学(総合診療内科)客員教授 崎山武志
4	12/3(火)		「対策から健康長寿」がんの早期発見で健康寿命を延ばす。	聖マリアンナ医科大学内科学(消化器・肝臓内科)病院教授 安田 宏
5	12/10(火)		「老化のメカニズム」最新研究から分かった健康寿命を延ばす生活習慣について	聖マリアンナ医科大学 難治性疾患病態制御学 大学院教授 遊道 和雄

受講登録者数 63名(男性 37名 女性 26名) 出席者総数 267名

シニアライフの問題解決講座				
【定員】 50名 【受講料】 4,480円 (資料代等は実費徴収)				
生活 【時間】 毎回10時30分～12時00分 (計5回)				
概要 シニアライフを安心して過ごすために、シニアライフにまつ様々な課題やその対処法を学ぶ講座です。超高齢社会を迎え、自分ができること、家族ができること、そして社会ができることを改めて考え直してみよう。新たな生き方が見えてくるかもしれません。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/23(水)	川崎市生涯学習プラザ	人生100年時代をどう生きるか - ライフプランの作り方を学ぶ	(一社)神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会 (株)社会保険研究所 企画部長 木村和生
2	10/30(水)		高齢者就労・生きがい就労を学ぶ - 様々な就労形態、起業など	東京都市大学講師 / 社会保険労務士 曲尾 実
3	11/13(水)		高齢期のマネープラン、相続・贈与対策を学ぶ - 財産の管理と運用・詐欺対策など	RIA JAPAN おカネ学(株) 代表取締役 立教セカンドステージ大学 講師 安東隆司
4	11/20(水)		福祉、医療の基本を学ぶ - 介護施設、介護サービスなど	NPO法人 すずの会代表 鈴木恵子
5	11/27(水)		アクティブ・エンディング - 自分らしい最期を迎えるには	終活ジャーナリスト/ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 金子稚子

登録者数 50名(男性 26名 女性 24名) 出席者総数 209名

△▼△ 2019年度後期 地域協働講座一覧 および 講座日程表 △▼△

D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その19				
【定員】 70名 【受講料】 8,980円 (資料代等は実費徴収)				
企業連携 【時間】 座学 13時30分～15時00分 現地3回の開始 / 終了時間は例外あり (計10回)				
概要	川崎は京浜工業地帯の中核都市として、日本経済を牽引してきました。また、モノづくり企業、先端技術の開発・研究機関を多く抱える元気な都市です。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、明るい未来を展望します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/10(木)	川崎市生涯学習プラザ	持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた環境分野の問題点ープラスチック海洋汚染について	横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授 環境学博士 青 正澄
2	10/17(木)	川崎市生涯学習プラザ	NEDOにおけるAIの社会実装プロジェクトのご紹介	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) ロボット・AI部 主査 坂元清志 / 主査 登 一生
3	10/31(木)	川崎市農業技術支援センター	川崎の農業と農業行政についてー県内初の自治体による新品種開発「のらぼう菜」	川崎市農業技術支援センター 所長 井上久子 係長 古山和弘
4	11/14(木)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の大動脈ー南武線の歴史と役割ー多摩川の砂利の産出と鉄道の導入	NPO法人高津区文化協会 会長 鈴木 穆
5	11/21(木)	川崎市生涯学習プラザ	バーチャルリアリティで工場内部を探索ー世界最先端の3Dレーザースキャナーで立体図面	ポロボプラント(株) 代表取締役 前川光久
6	11/28(木)	JAXA 調布航空宇宙センター	A班・13:00～14:30 B班・15:00～16:30 スペース・ミッション・シミュレーター、YS-11のコックピットなどを見学	JAXA 調布航空宇宙センター職員
7	12/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	「カワサキ ハロウィン」23年間の歴史ー地域連携による成長の足跡	(株) チッタ エンタテインメント 常務取締役 土岐一利
8	12/19(木)	新川崎・創造のもり	「かわさき」から生み出す新しい医療のかたちとライフサイエンス産業の礎ー細胞社会:細胞の個性を見れば、新しい医療のかちが見えてくる!	ヨダカ技研(株) 代表取締役 平藤 衛
9	1/23(木)	川崎市生涯学習プラザ	ITの力で介護現場の負担軽減と安全を提供ー大企業の高度技術のつたえ見守りセンサー「e伝之介くん」の開発秘話	コアフューテック株式会社代表取締役 松本正己
10	1/30(木)	川崎市生涯学習プラザ	映像・画像から人を理解する技術ー顔認証と行動解析	日本電気(株) バイオメトリクス研究所 主任研究員 西村祥治

受講登録者数 57名 (男性 44名 女性 13名) 出席者総数 487名

E 武蔵小杉界隈今昔ものがたりー歴史散策・古民家カフェ・そしてまちづくり				
【定員】 50名 【受講料】 4,480円 (資料代等は実費徴収)				
まちづくり 【時間】 毎回10時30分～12時00分 (計5回)				
概要	中原街道の宿場町として栄えた小杉の歴史の講義・散策からはじまり、井田小学校郷土資料室生みの親の郷土愛溢れる講義も伺います。そして、日本民家園では、古民家巡りのあと、小杉ゆかりの旧原家の古民家カフェで一服。最終回は、21世紀の武蔵小杉のまちづくりを担う住民の皆さんの意欲的な取組を伺いながら、参加者とともにまちづくりへの思いを語り合います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(金)	川崎市生涯学習プラザ	小杉の今昔を学ぶ(座学)	川崎地名研究会 会長 菊地恒雄
2	10/11(金)	武蔵小杉周辺	小杉今昔の散策	
3	10/25(金)	井田小学校	井田小学校郷土資料室見学と井田地域の歴史を学ぶ	一般財団法人 川崎市立学校教職員互助会 専務理事 菊池 眞
4	11/15(金)	川崎市立日本民家園	古民家の野外博物館「日本民家園」で古民家巡りと旧原家の「古民家カフェ」を訪れる。	ボランティアガイド
5	11/29(金)	川崎市生涯学習プラザ	パネルディスカッション 「小杉の底力でまちづくり」	パネリスト ①協同組合武蔵小杉商店街 副会長 川島邦博 ②NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント 副理事長 松尾 寛、事務局長 塚本りり コーディネーター 中原区役所地域振興課 地域コミュニティ強化担当 担当係長 稲葉 理一郎

* 第2回、第3回、第4回は現地集合。第4回の見学には、別途入園料を徴収。

受講登録者数 12名 (男性 6名 女性 6名) 出席者総数 102名

